
GIRLS und PANZER
Master Modeling Guide 2
ガールズ&パンツァー マスターモデリングガイド
HOBBY JAPAN MOOK
015
212
TAMIYA COLOR
ACRYLIC PAINT
X-20A
THINNER
05
Mr.COLOR
92
ブライトレッド
gaia color

CONTENTS













file: 001

M4 シャーマン 75mm 砲搭載型
［サンダース大学付属高校］



Medium Tank M4 Sherman
[Saunders University High School]

TAMIYA 1/35 scale plastic kit
U.S. MEDIUM TANK M4 SHERMAN EARLY PRODUCTION use
modeled & described by Takuji YAMADA

file:001 設定画

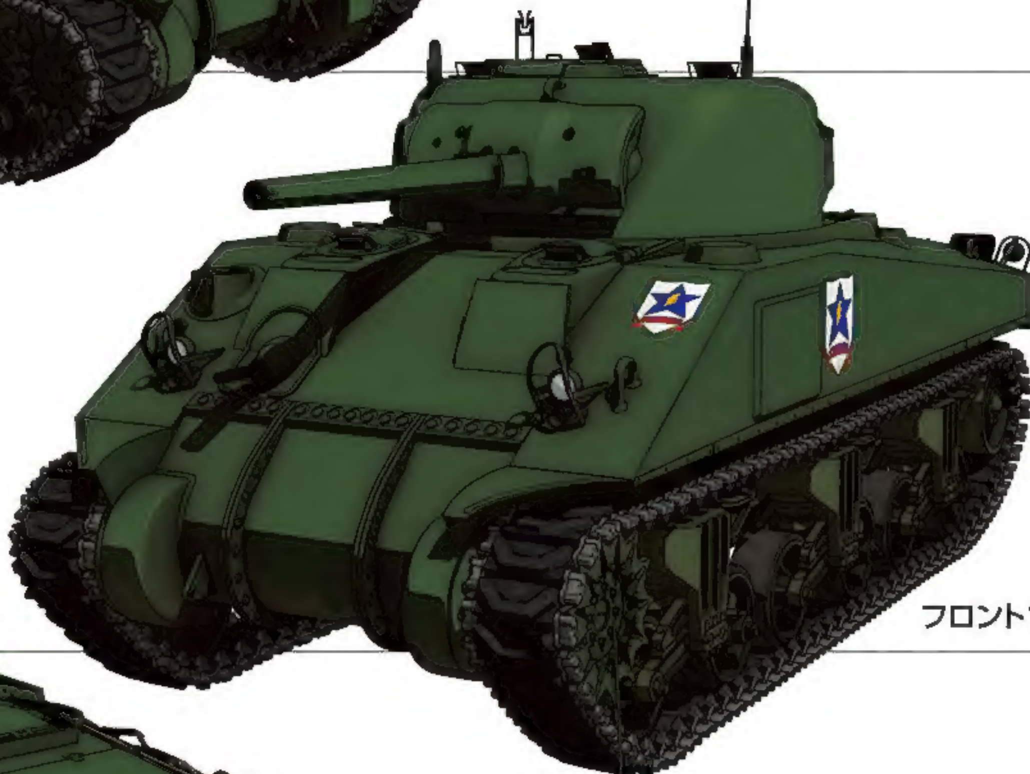
劇場版／最終章版共通

[スペック]

国籍	アメリカ
製造	アメリカン・ロコモティーブ社他5社工場にて製造
乗員	5名
エンジン	コンチネンタルR975C1 航空機用9気筒星型空冷ガソリン
重量	30.3t（戦闘重量）
全長	5.89m
車体長	5.89m
全幅	2.62m
全高	2.74m
履帯幅	42.06cm
超壕能力	2.29m
渡渉水深	1.02m
変速機	前進5速後進1速
最高速度	39km/h（路上）/19km/h（不整地）
航続距離	193km（路上）
主砲	75mm戦車砲 M3 L/40（主砲弾：97発）
副武装	12.7mm機関銃 M2×1、7.62mm機関銃 M1919A4×1
装甲	13～89mm
生産数	6,748輌（M4/75mm）全タイプ合計49,234輌



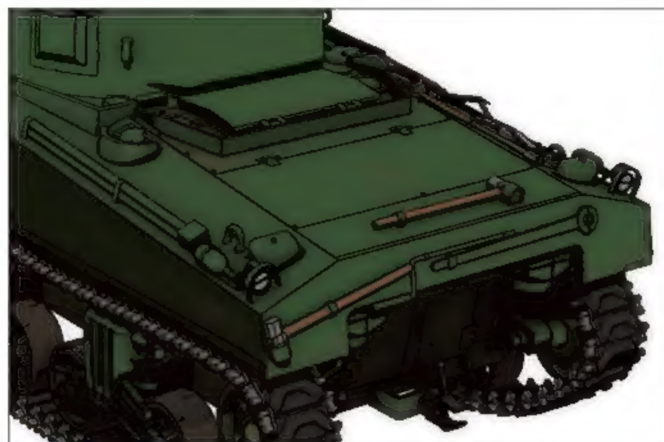
フロント2



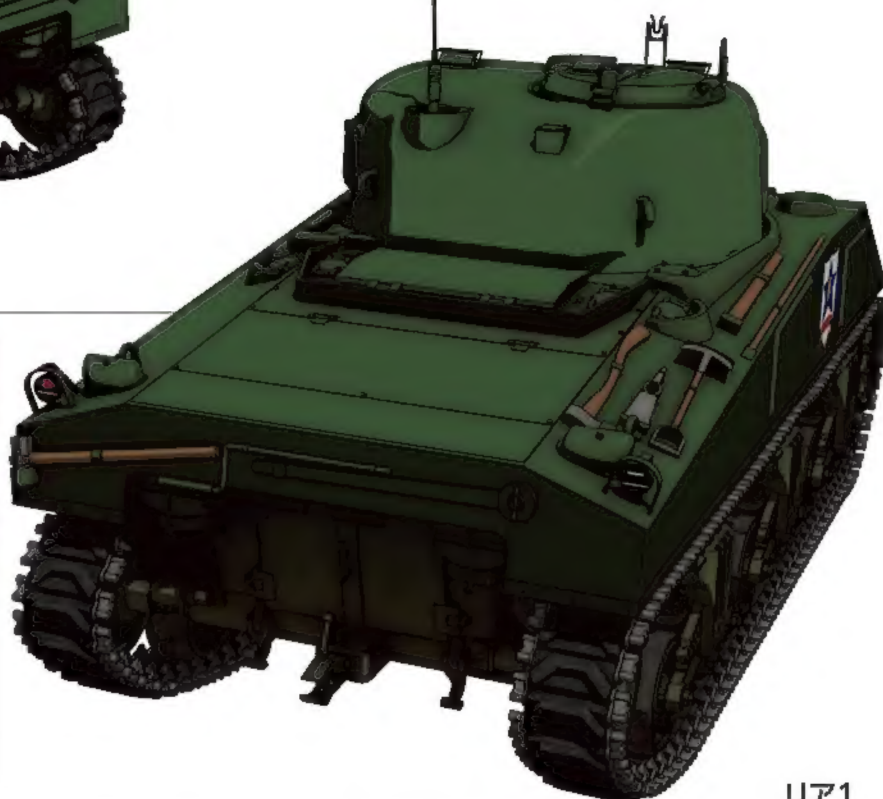
フロント1



リア2



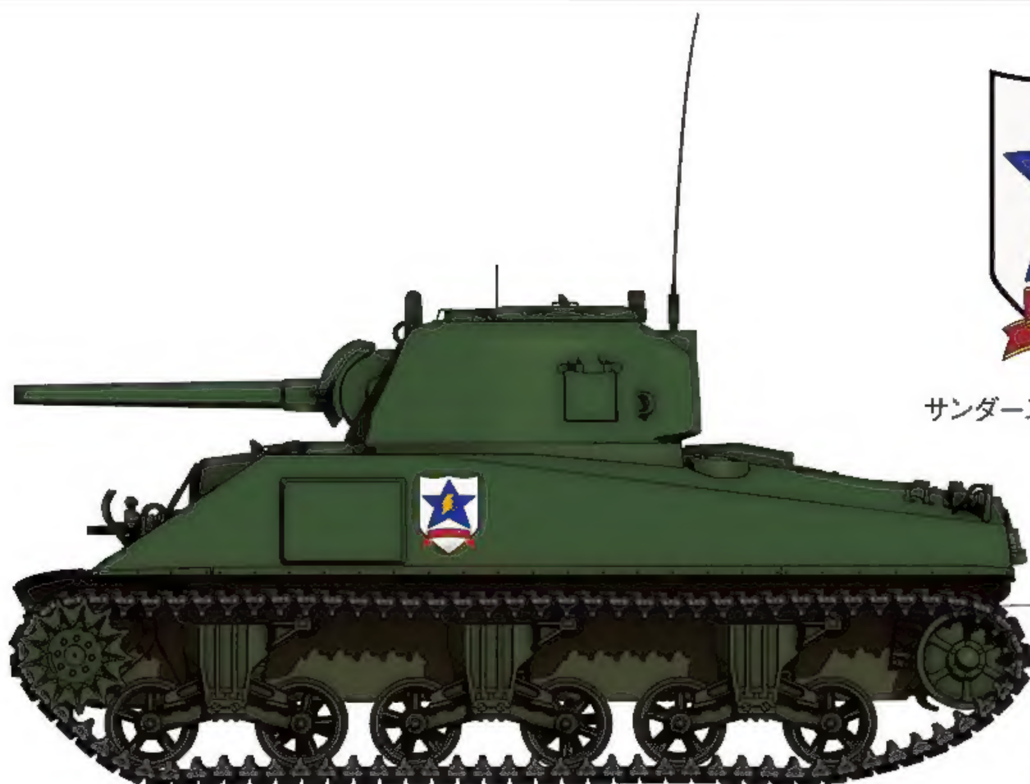
TV版 車体後方



リア1



サンダース大学付属高校 校章



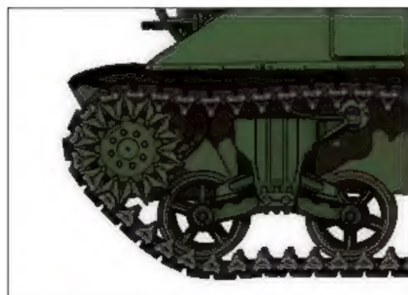
左側面

正面

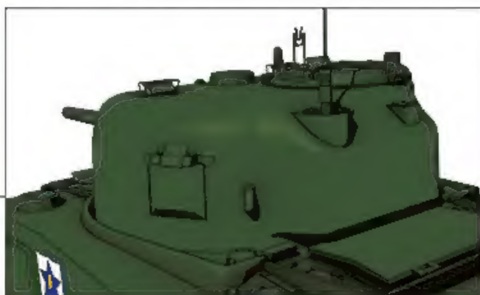


右側面



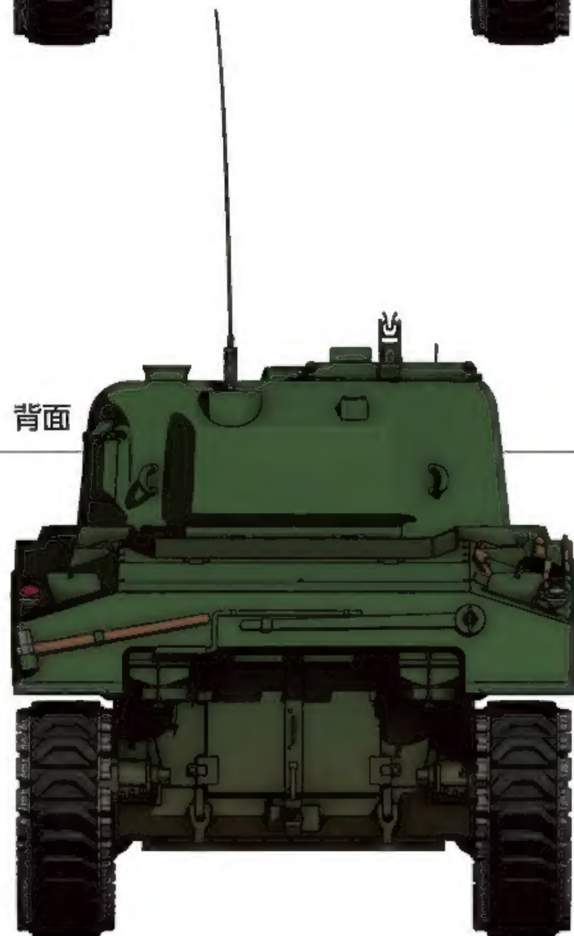


TV版 起動輪



砲塔後方

背面

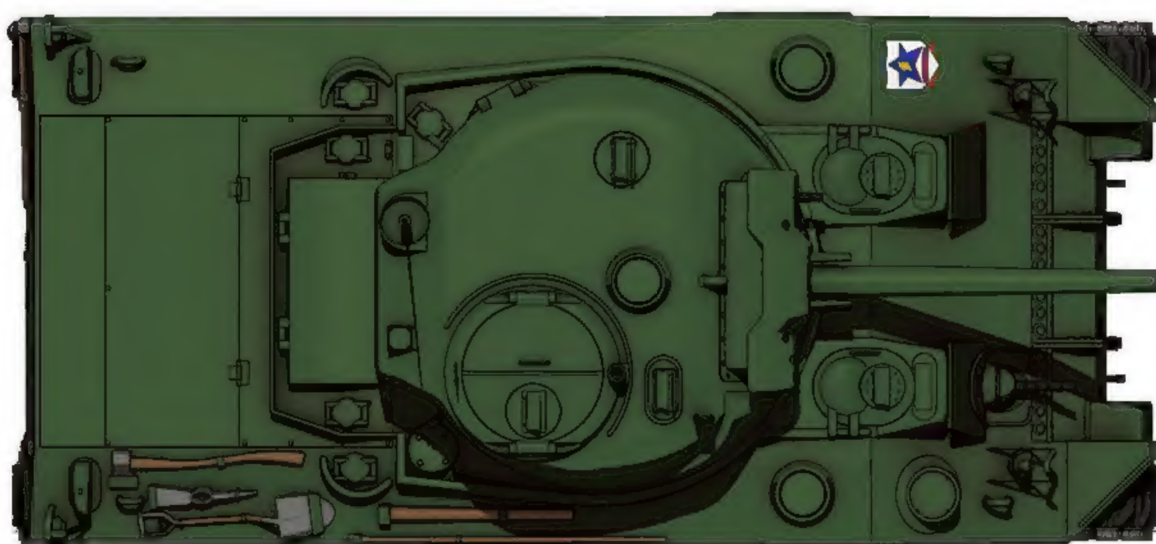




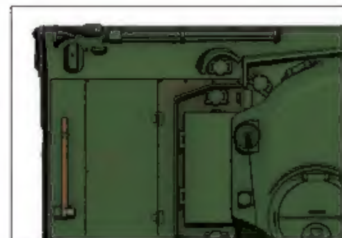


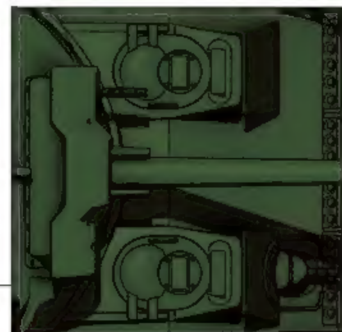
起動輪／誘導輪

file:001
設定画

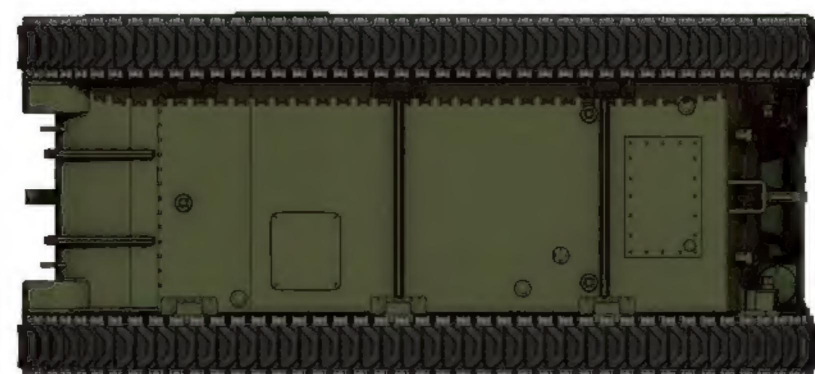


天面

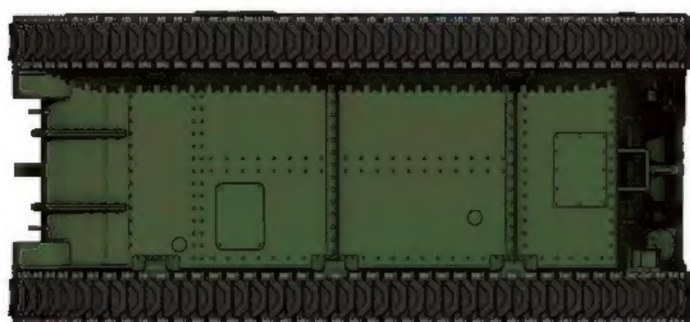




TV版 車体後方天面および
車体前方ハッチ

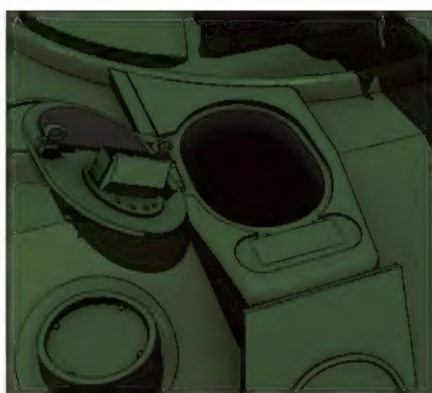


底面



TV版 底面

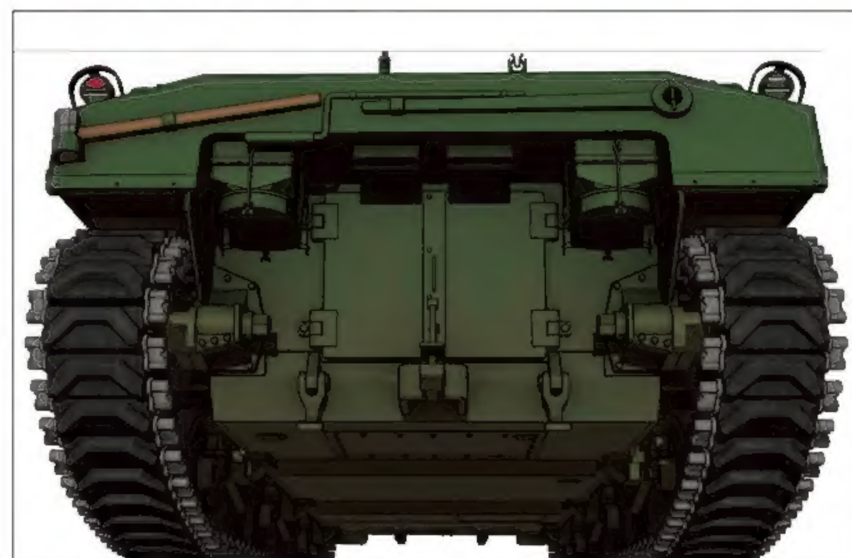




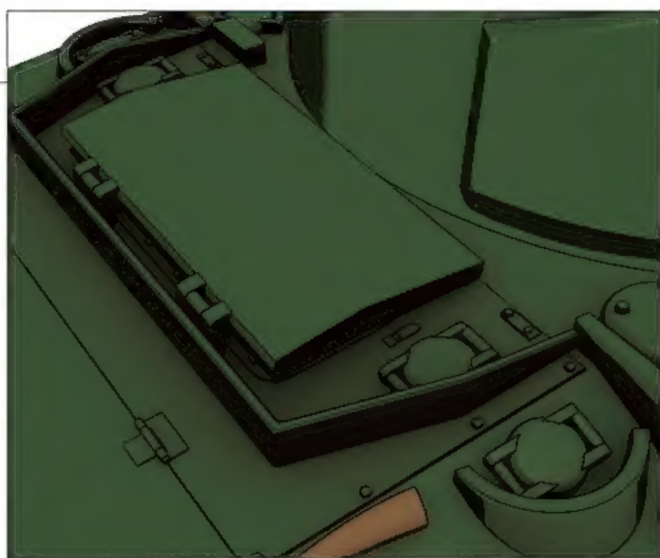
車体前方ハッチ 閉／開



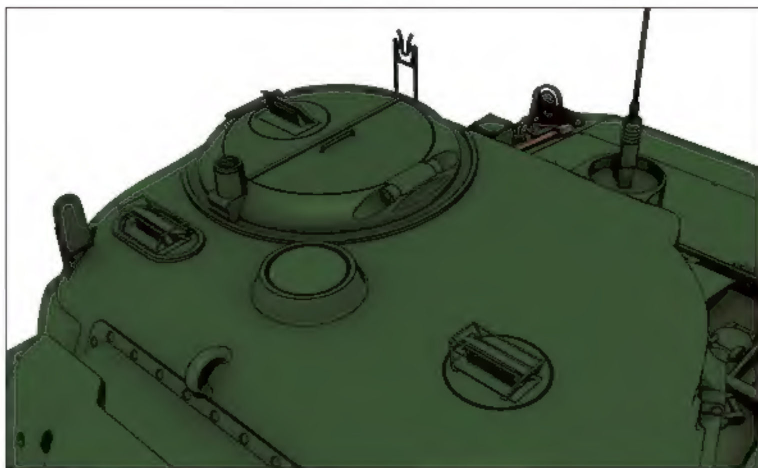
TV版 車体前方ハッチ

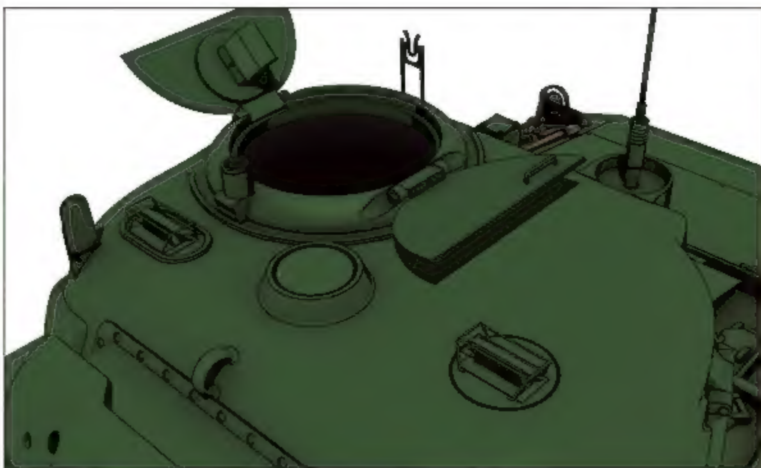


リアパネル

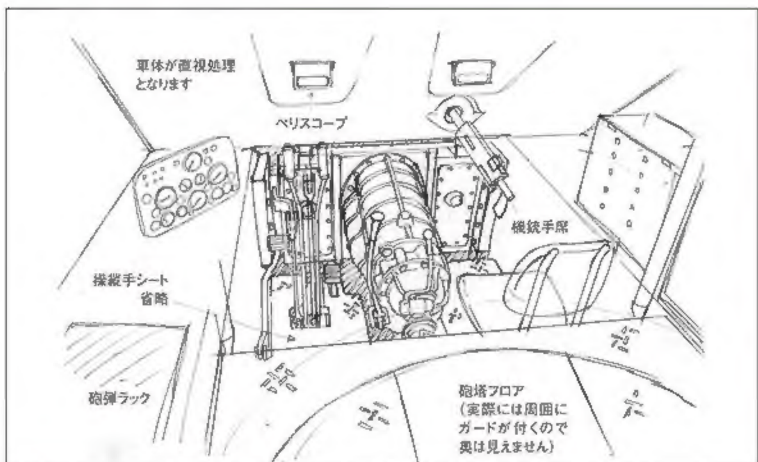


砲塔付近後方

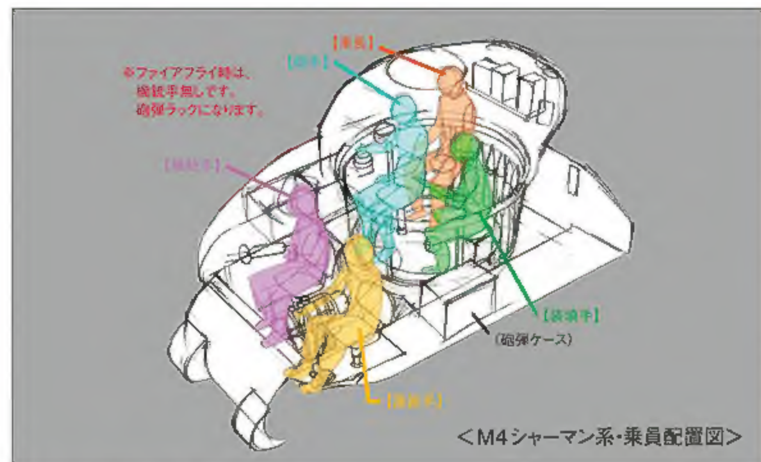




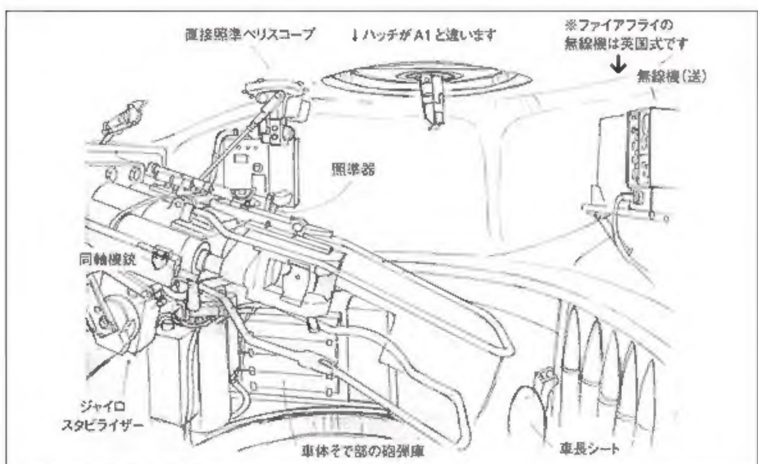
キューポラ 閉／開



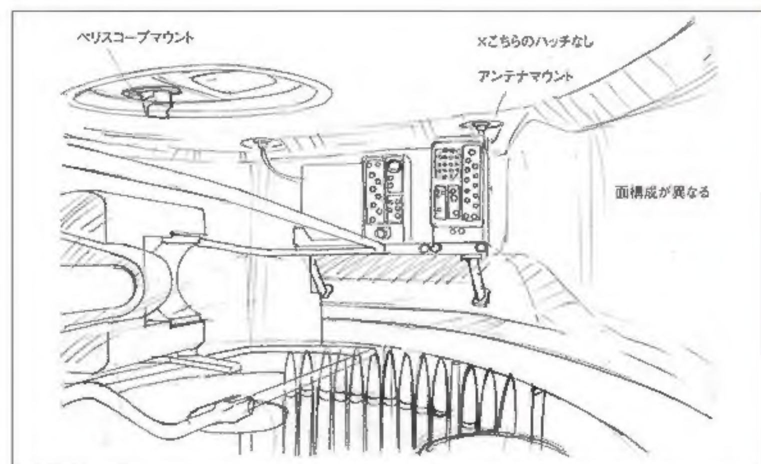
操縦席



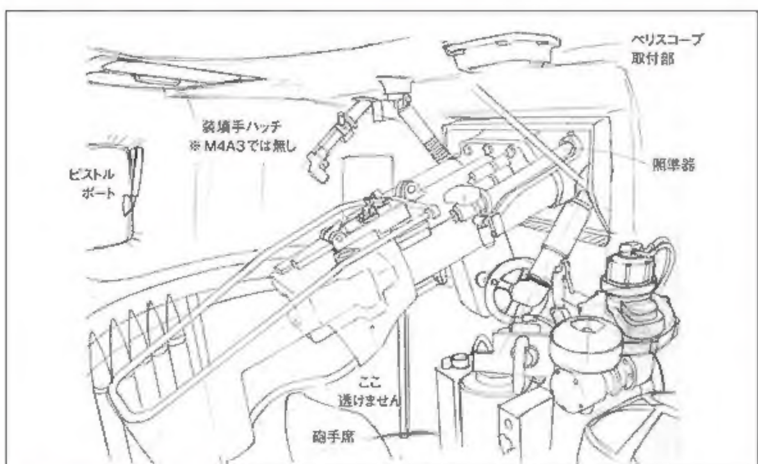
車内乗員配置図



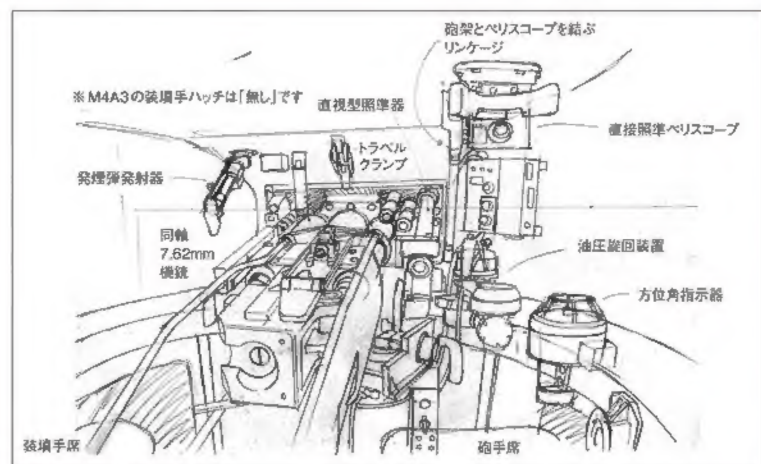
砲塔内部を左側より



砲塔内部 後方



砲塔内部を右側より



砲塔内部 前方

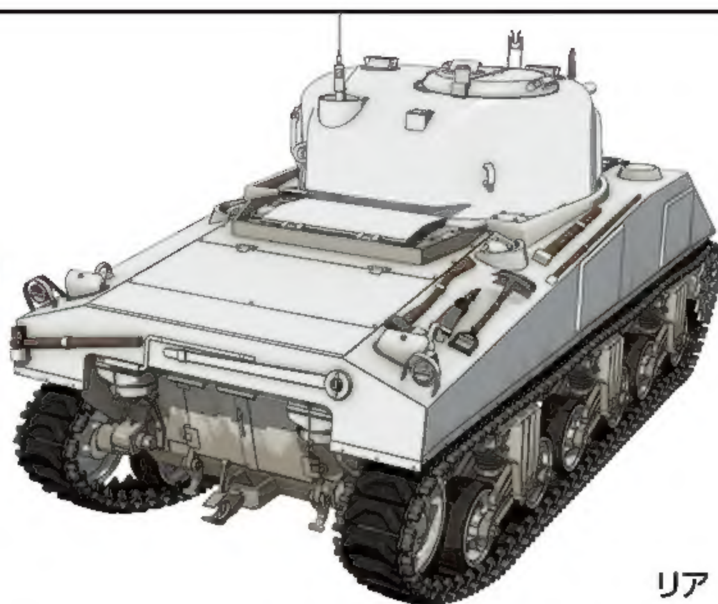
※車内設定画は一部シャーマン・ファイアフライと共通の資料を使用しています

file:001 設定画

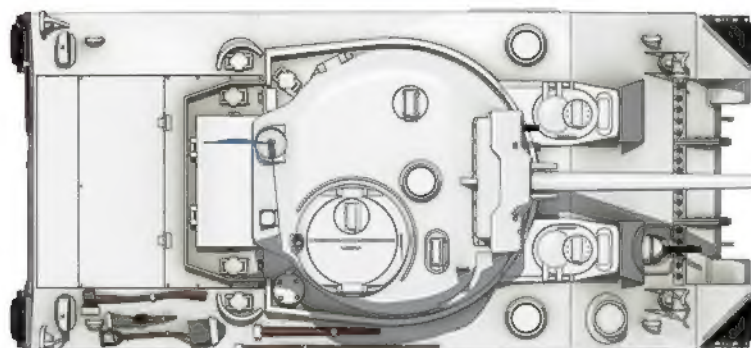
劇場版 大学選抜演習仕様



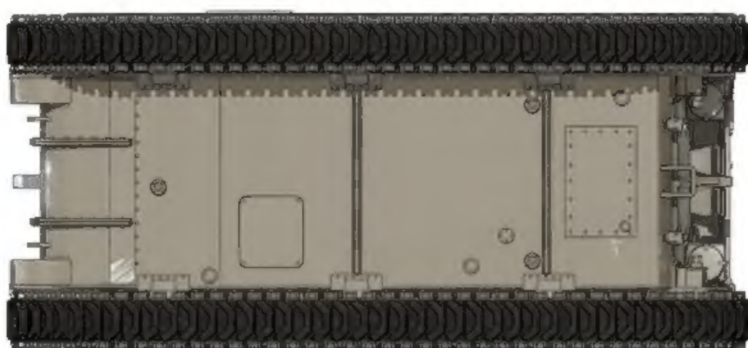
フロント



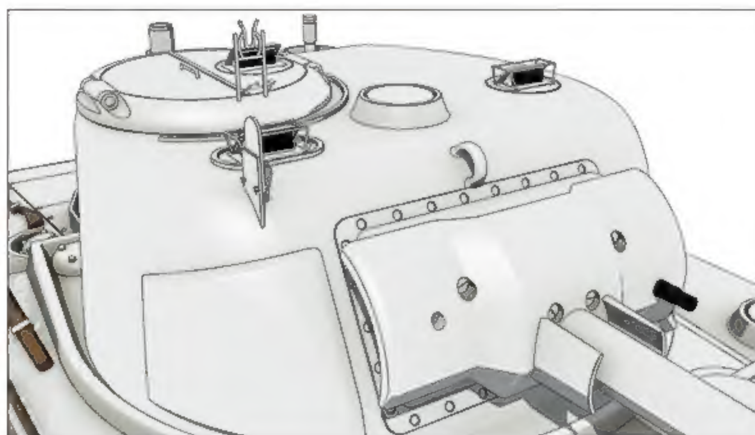
リア



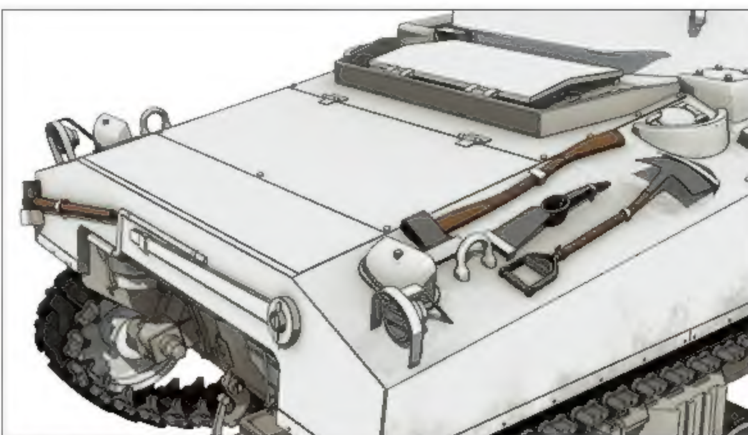
天面



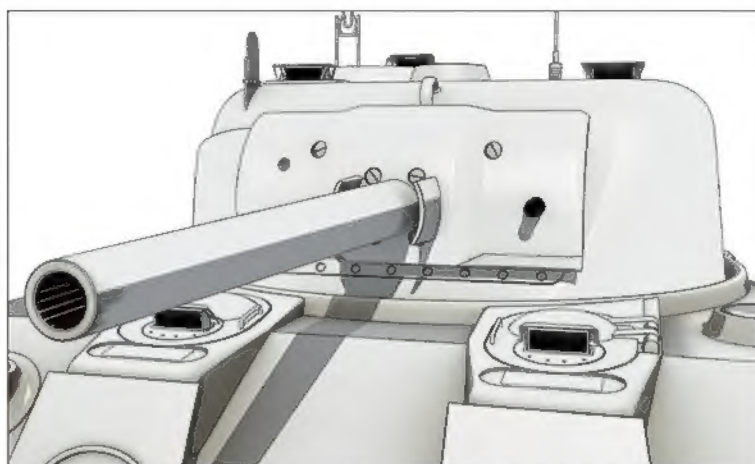
底面



砲塔



車体後方



主砲



フラッグ



フラッグ対比（『ガールズ&パンツァー 劇場版』より）

劇中車製作ポイント

ケイ車としてだけでなく、サンダース大学付属高校のメンバーが広く使用しているM4シャーマン。実車と大きな差異はないものの、車体各部の補助装甲板のサイズが微妙に異なるなど『ガールズ&パンツァー』独自のポイントもある。製作にはタミヤの1/35キットを使用。別売りのサスペンションや3Dプリントのパーツも併用して精度を高めている。



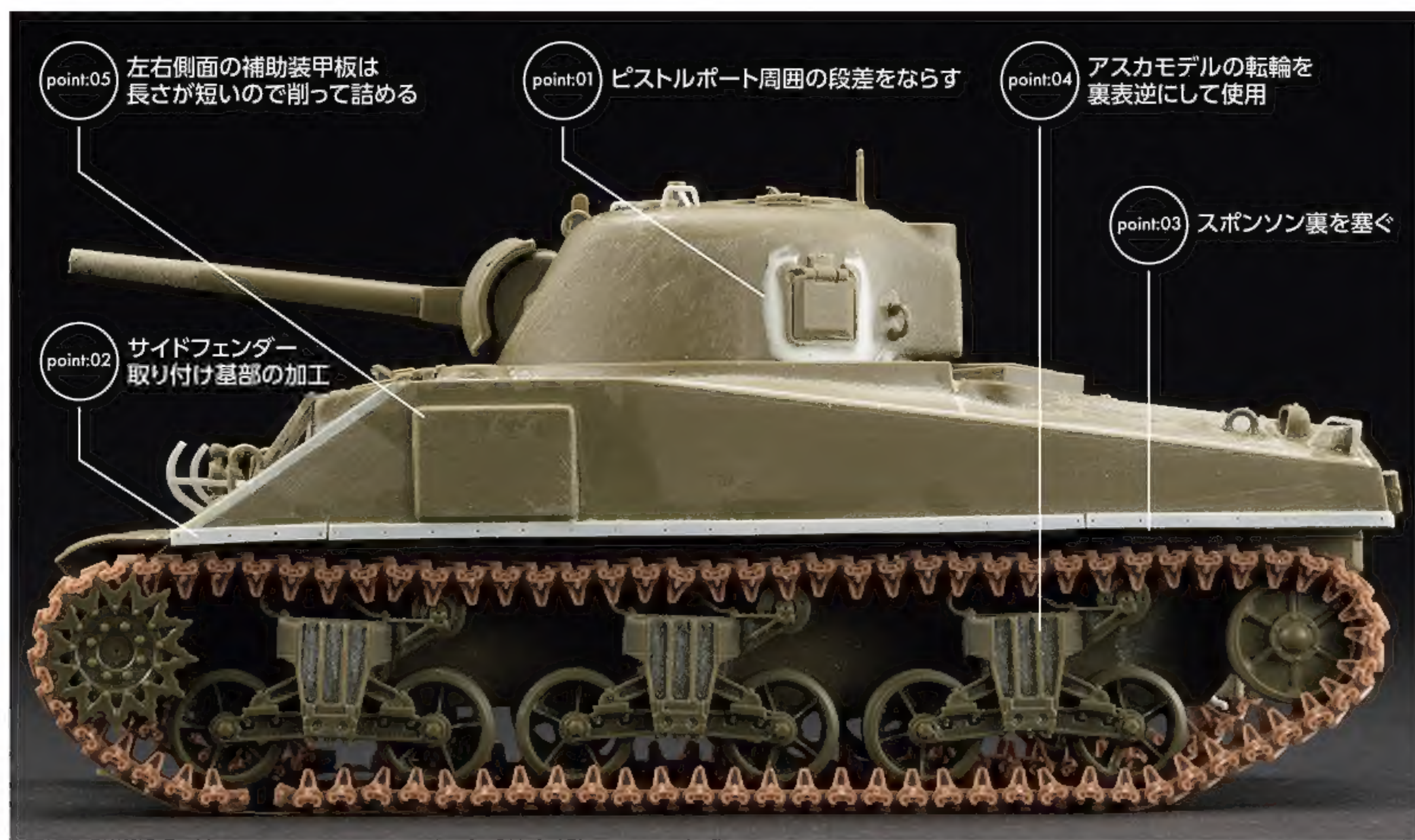


使用キット

アメリカM4シャーマン戦車初期型
●発売元／タミヤ●3740円●1/35、約17.5cm●プラキット

SK-48 M4シャーマン戦車用履帯 T48型(可動式)
●発売元／モデルカステン●3520円●1/35●プラキット

file:001
劇中車製作ポイント



point:01 ピストルポート周囲の段差をならす

砲塔左側にあるピストルポートは、キットでは段差がありますが設定ではなだらかになっています。砲塔にピストルポートを埋め込むようにしながら段差をならしました



point:02 サイドフェンダー取り付け基部の加工

キットにもモールドはありますがサイズが異なっており、取り付け穴も開いてないので作り直ししています。0.3mmプラ板を1/35実寸大設定画を参考に細切りにし、囲うように貼り付けてフェンダー基部を新造しました。0.2mmほどのピンバイスで取り付け穴を彫り込んでいます



point:03 スポンソン裏を塞ぐ



キットは左右スポンソン下部が空洞になっています。パーツ合わせでプラ板を切り出し、フタをしました

point:04 アスカモデルの転輪を裏表逆にして使用



サスペンションはアスカモデルの「垂直懸架サスペンションセットA（初期型）」に交換してディテールアップ。転輪はキット指定だとグリスアップポイントのモールドがあるので、裏表逆にするのが『ガールズ＆パンツァー』仕様に近くなります。タミヤの転輪ならそのままでOK

point:05 左右側面の補助装甲板は長さが短いので削って詰める



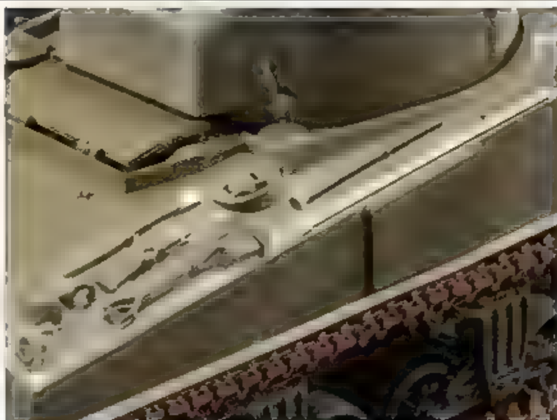
車体左右に3枚ある補助装甲板は、1/35実寸大設定画と並べてみると寸法が異なっています。これらも設定画合わせで切り詰めて小型化。フチは緩く斜めに面取りします





point:06 車載装備の変更

車体右後方の装備品の加工です。バールはシンプルで平らな棒状なのでプラ板で新造。斧は柄が長めなのでプラ材を貼り足し、削り出して形状を合わせます。バール、ツルハシの柄にはプラ板の細切りで車載ラックも追加で再現しました



point:07 プラ板で底部にディテールを追加

1/35実寸大設定画を基にプラ材各種でモールドを再現していきます。リベット部分はプラストラクト製の極細プラ棒をスライスして貼ると経済的です。なお中心の穴は作例の運搬等で台座に固定するためのネジ穴です。劇中再現そのものとは無関係です



file:001

劇中車製作ポイント

スジ彫りを入れて
フランジの合わせ目を再現

point:11 手すりを真鍮線に

point:08 ハッチペリスコープの
向きを90度変更

タイダウン(凸モールド)
を削る

point:10 溶接痕をすべて埋める

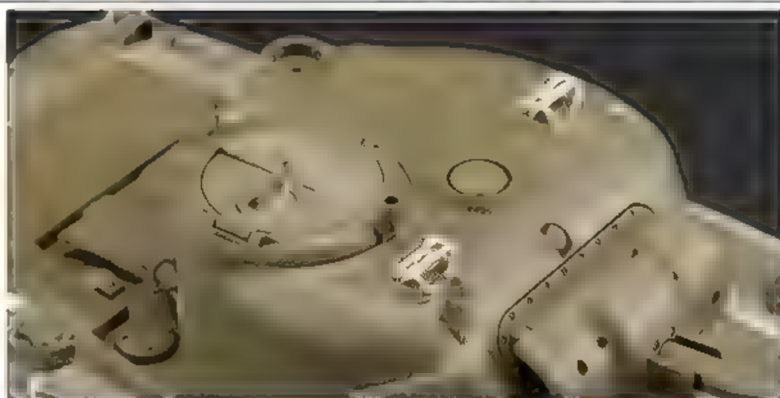
point:08 ペリスコープにガード追加

point:09 アンテナ基部を
新造する

ガードを切り取り
位置変更

point:08 ペリスコープにガード追加/ハッチペリスコープの向きを90度変更

砲塔天面前方のペリスコープにはガードがありますので、タミヤ「1/35 M4A3E8 シャーマン イージーエイト(ヨーロッパ戦線)」に付属のパーツを流用して再現します。ハッチに付いたペリスコープはプラ板でベース部分を追加し、正面向きに取り付けます



point:09 アンテナ基部を新造する

アンテナは金属線にて再現。キット付属のアンテナ基部とは形状が違いますので、プラパイプとスプリングで作り直しています



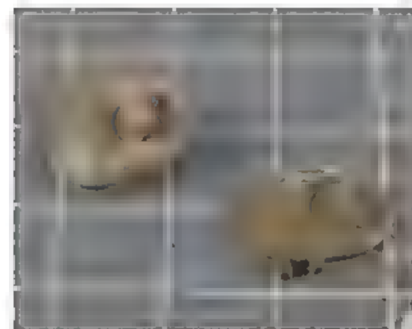
point:10 溶接痕をすべて埋める

「ガールズ&パンツァー」版は溶接痕がなくフラットな車体が特徴です。キットの溶接痕を埋めて平滑にします。車体を囲むように全体に走っているので、パテ埋めして丁寧に整形。1番最初に行っておくのが良いでしょう



point:11 手すりを真鍮線に

前方ハッチ、キューポラなどの手すりは強度や質感向上のため真鍮線に交換しておきましょう





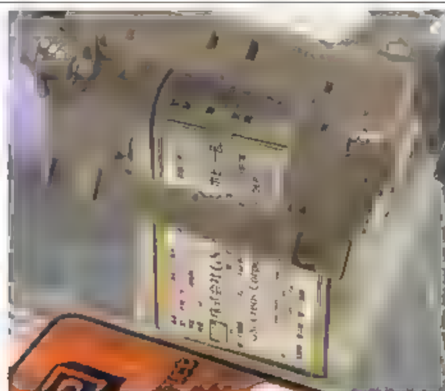
point:12 ライトガード、レンチ留め具を3Dプリントパーツで再現

車体前後のライトガード、レンチの留め具は市販の3Dプリントパーツでディテールアップしました。手作りは非常に困難なので、こういった手段が取れるのはありがたいですね。今回はMJミニチュアズ「ライトガードセット（MJEZ35004）」を使用



point:13 ネジを追加

『ガルパン』版の誘導輪基部（B9、B10パーツ）にはボルトが追加されています。モールドを削り、プラストラクトの0.8mmプラ棒で再現しました



point:14 牽引具などの追加／マフラーをアスカモデルのキットから流用

車体下部はシャックルがあるのでベースも含めてプラ材でスクラッチして再現。アスカモデルのキットなどから流用しても良いでしょう。エアクリーナーのシャフト(D26パーツ)もプラ板でディテールを追加。ハッチ手すりは真鍮線にしています。マフラーは車体下からはみ出しており、口も斜め向きになっているので、アスカモデルのキットから流用したマフラーを継ぎ足すことで形状を再現しました





FINISH MODEL

完成作例

タミヤ 1/35 スケール プラスチックキット
アメリカ M4 シャーマン戦車初期型 ほか使用

M4 シャーマン 75mm 砲搭載型 [サンダース大学付属高校]

製作 山田卓司

▲▼隊長のケイ、そして多くのサンダース大学付属高校のメンバーが使用するM4シャーマン 75mm砲搭載型。サンダース校を象徴する車輌と言ってよいだろう。無加工とはいかないまでも、『ガールズ＆パンツァー』版再現のための加工点、工作量はともに控えめで作りやすいので、複数作ってシャーマン軍団結成にチャレンジしてみてはいかがだろうか



▲溶接痕と下部の牽引具をオミット、装甲板の小型化など、車体前面は細かいながら『ガルパン』版の特徴が集まる箇所。必須ではないが作例ではライトガードをディテールアップしており、全体の印象を引き締めている



▶側面はフェンダーがなく、またフェンダー基部が実車より太くなるのが外観の特徴。正面と同じく装甲板が小さいのもポイント。作例はサスペンションをアスカモデルのディテールアップパーツに置き換えて完成度を高めている

▲砲塔のペリスコープにガードが付いているのも特徴。プラストラクトの極細プラ棒などで自作してもよいが、他キットから流用するのがもっとも簡単だろう。車外装備品も柄の長さなど微妙な違いがあるので注意

file:001

ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

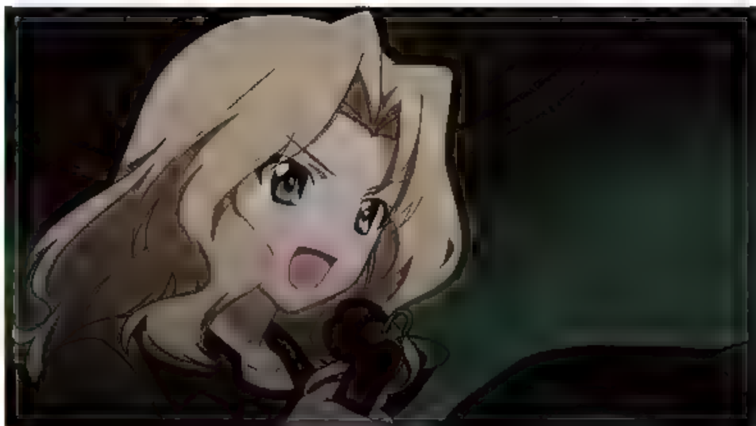
scene:01

『ガールズ&パンツァー』第5話「強豪・シャーマン軍団です!」より

シャーマン軍団登場!

いよいよ開始される戦車道全国高校生大会。大洗女子学園の最初の相手は、豊富な資金と多数の戦車を有するサンダース大学付属高校。隊長のケイは試合前に朗らかな挨拶をするものの、初戦からシャーマン・ファイアフライを投入するなど手加減のない布陣で大洗に立ちはだかる。サンダース側のフラッグ車はM4A1シャーマン 76mm砲搭載型。ほか8輌はM4シャーマン 75mm砲搭載型である。



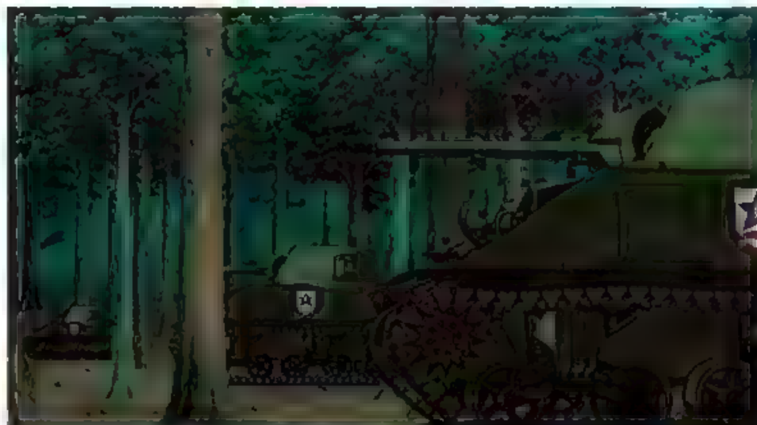


scene:02

『ガールズ&パンツァー』第5話「強豪・シャーマン軍団です!」より

「今日のアリサの勘、ドンピシャね!」

試合序盤。M4A1車長のアリサは妙に冴えた指示を出し、偵察中の敵M3リーを6輌のM4で早くも包囲する。救援に向かったⅣ号戦車D型と八九式中戦車も3輌のM4で迎撃。3対9という劣勢にみほは森からの脱出を指示するが、先回りしていた2輌のM4がそれを阻む。みほは怯まず敵戦車と混ざるように進撃させ、辛うじて味方を無事に脱出させた。











scene:03

『ガールズ&パンツァー』第5話「強豪・シャーマン軍団です!」より

盗聴を逆利用されて…?

あまりに的確すぎる敵の動きを訝しんだみほは、アリサが通信を盗聴していたことに気付く。大洗はこれを逆手に取り、「ジャンクション地点で待ち伏せする」という嘘の通信を流し、サンダースをおびき出す作戦に。八九式が砂ぼこりを立てて逃げ、それにつられた2輌のM4が本当の待ち伏せ地点に誘導されてしまう。ここは名もなきサンダースの面々と、車内ディテールにも注目したい場面だ。





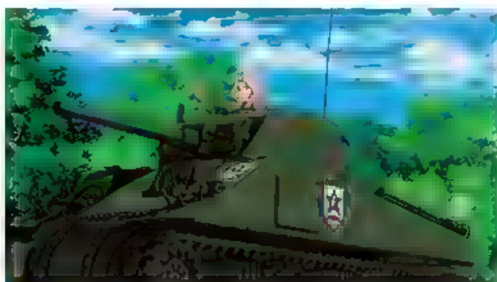
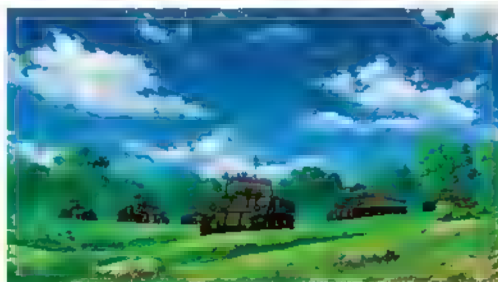


scene:04

『ガールズ&パンツァー』第５話「強豪・シャーマン軍団です!」および
第６話「一回戦、白熱してます!」より

「何もないよぉ～!?」

待ち構えていたⅢ号突撃砲F型によりM4が1輌撃破。アリサは大洗に気付かれているとは露知らず、「高地に陣取ってファイアフライを倒す」というさらなる嘘の通信によって、M4A1以外をすべて高地に差し向けてしまう。そしてM4A1は八九式に発見され、完全孤立のフラッグ車が位置を知られるという窮地に。焦ったアリサは八九式を撃破しようと追い回すものの、合流してきた大洗全車から追われる事態になってしまった。「戦いはフェアプレイで、っていつも言ってるでしょ!」

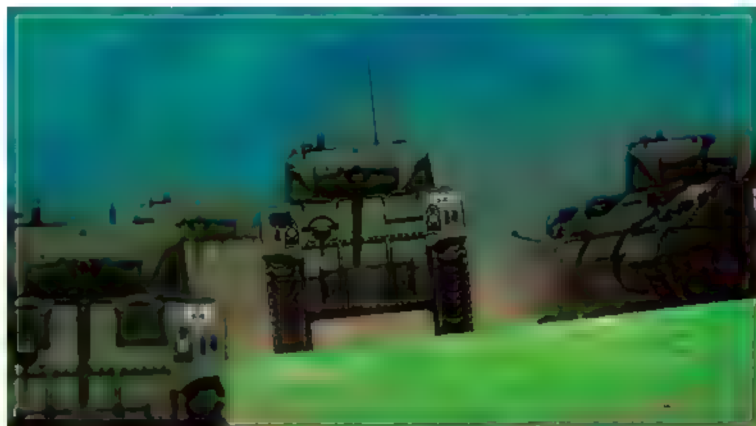




scene:05

『ガールズ&パンツァー』第６話「一回戦、白熱してます!」より

追いかけっこを制したのは…

ケイはアリサの救援に向かうが、彼女の非を省みて大洗と同数になるよう4輌だけを参戦させる。試合はM4A1を追う5輌の大洗車、それをさらに追う3輌のM4とファイアフライ、という前代未聞の追いかけっこの様相に。ファイアフライの主砲がM3、八九式を撃破し大洗も見る間に消耗。サンダース側の熾烈な攻撃が大洗フラッグ車の喉元まで迫ったが、あんこうチーム渾身の一撃がM4A1を捉え、ぎりぎりのところで大洗が勝利となった。

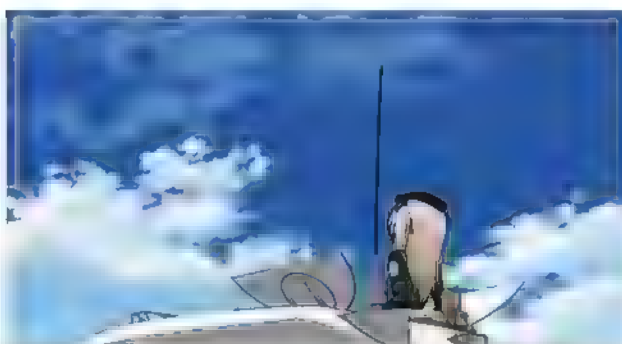
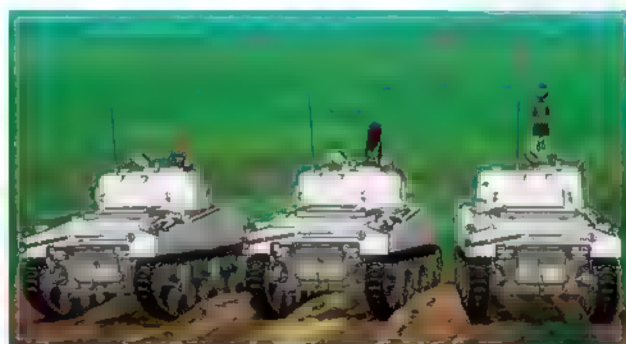


scene:06

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

大学選抜チーム登場

大洗の存続を賭けて試合することになった大学選抜チーム。初登場の演習シーンでは、隊長の愛里寿と3人の中隊長はそれぞれ白いM4に搭乗。それ以外の戦力は不明だが、相手の戦車は戦力的に格上のはずのアニマルシリーズであり、愛里寿たちの実力を暗に示している。

file:001

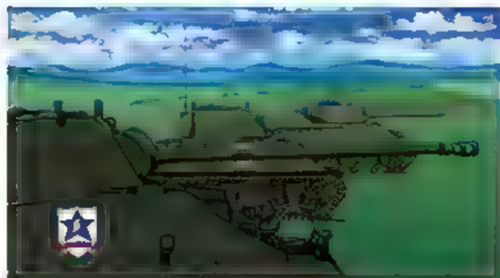
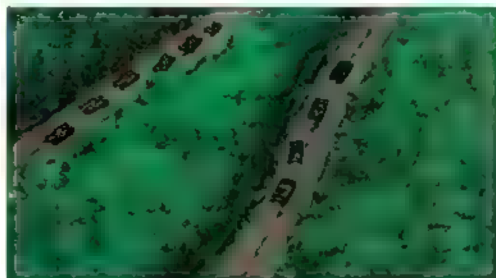
ディテール参考、ディオラマ製作のための**劇中ピックアップ**

scene:07

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

大洗の危機に、サンダース参上!

圧倒的不利な条件で大学選抜と戦わねばならない大洗に、ライバル校たちがつぎつぎと加勢。サンダースもケイのM4、アリサのM4A1、ナオミのファイアフライが助太刀に参戦した。試合序盤は知波単学園各車とウサギさんチームのM3によるあさがお中隊に所属。サンダースの面々はリーダー格として中隊を引っ張った。

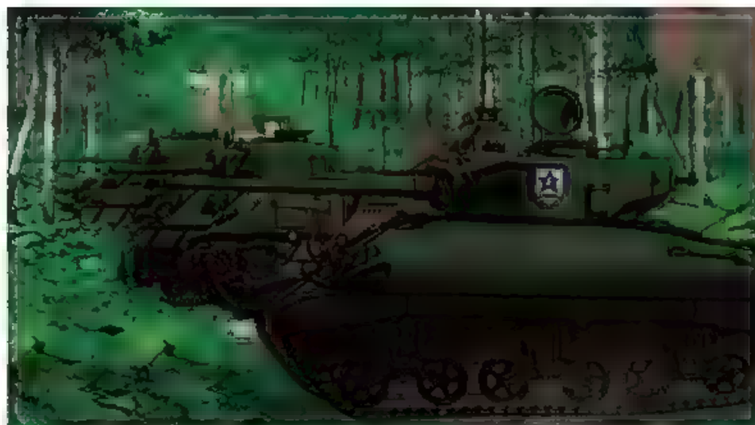
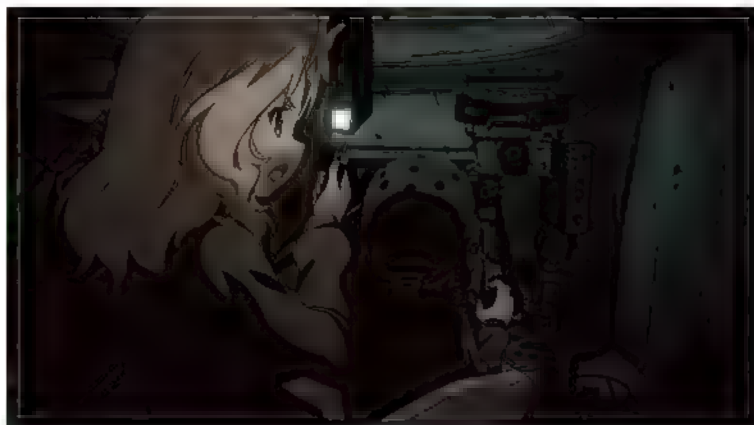
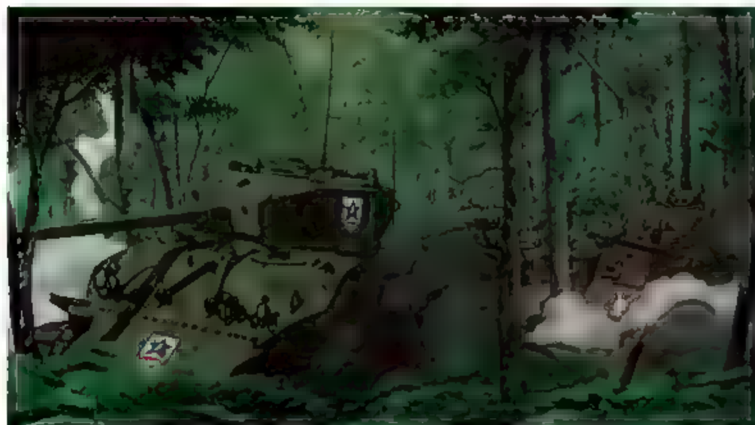




scene:08

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

アズミ中隊の猛攻

あさがお中隊はアズミ中隊と遭遇。敵側は中央高地を目指すひまわり中隊の背後を突くため、あさがお中隊を突破しようとする。戦力的に脆弱な知波単側を狙う敵のパーシング部隊。ケイも敵の動向を読んで指示を飛ばすものの、その先を行くような敵の対応に動きを封じられてしまう。サンダースとウサギさんチームは撃破こそされなかったものの、ほとんど力を発揮することができないまま敵を逃がしてしまった。その後あさがお中隊は敵部隊の偵察を続け、アリサがカール自走臼砲の存在を示唆する。

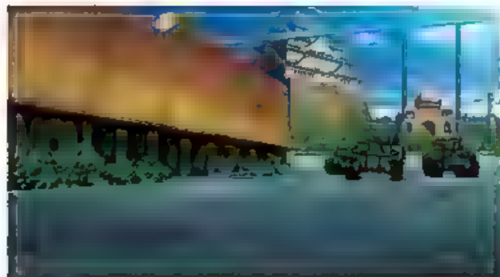
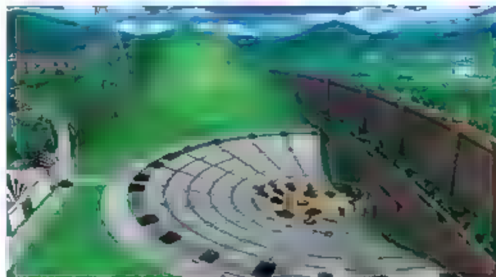





scene:09

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

遊園地跡での戦い

遊園地内でもサンダースは3輌で行動。敵主力が東通用門から侵入してくると迅速に応援に向かい、ダージリンとともに現場を指揮しながら戦った。敵の策で野外音楽堂に包囲されてしまうものの、うさぎさんチームの活躍でこれも脱出。聖グロリアーナ女学院のメンツとともにニュルンベルクの城塞エリアに向かう。

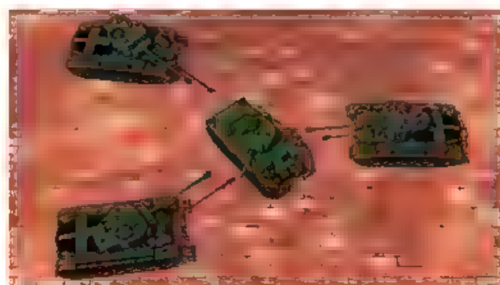

scene: 10

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

強敵に挑むもあえなくリタイア

ニュルンベルクの城塞エリアでチャーチルがT28重戦車を倒し、試合も終盤。センチュリオンと合流を目指す敵中隊長のパーシングに、サンダースの3輌が果敢に挑む。しかし敵の常軌を逸した機動と華麗な連携により、M4A1、ファイアフライが撃破。ケイのM4も三方を鮮やかに囲まれ、一斉射撃を受けて撃破された。





scene: 11

『ガールズ&パンツァー 最終章』第2話および第3話より

無限軌道杯第1回戦突破、第2回戦も順調に?

冬の無限軌道杯、サンダースは第1回戦で青師団高校と激突。相手の機動性に翻弄されることなく、ファイアフライがフラッグ車を仕留めて勝利する。そして第2回戦の相手は継続高校。戦車の戦力的にも有利で、多くがサンダースの勝利を予想していたが…?



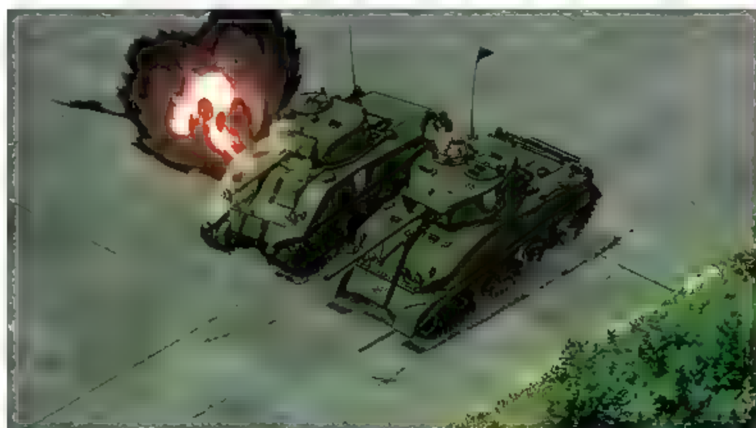
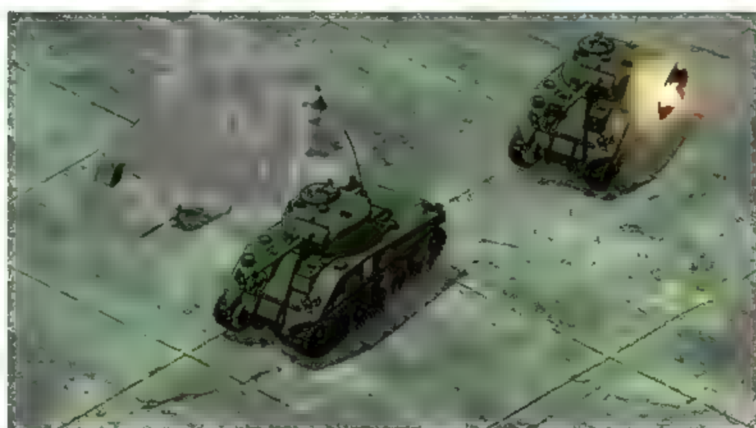


scene: 12

『ガールズ&パンツァー 最終章』第3話より

謎の遠距離狙撃で大番狂わせ

T-26の数を順調に削っていくサンダース。しかし継続の動きに何か不穏なものが。継続フラッグ車で隊長車のBT-42が履帯を外し、機動性を上げてサンダースフラッグ車のM4A1を翻弄する。T-26の奇襲からM4が盾になって凌ぎ、援軍も駆けつけてサンダースが優位に。M4A1も含めた7輌でBT-42を追う。だがそれは継続側によるキルゾーンへの誘導であった。ナオミが所在不明の敵1輌を危惧したその瞬間、山間からの遠距離狙撃がM4A1を直撃。車体をボロボロするほどのダメージに白旗を上げ、継続の勝利となった。姿も見えなかった謎の敵に、ナオミは苦々しい表情を浮かべるしかなかった。


KIT CHOICE

製作におすすめのアイテム

item:01 タミヤ アメリカ M4シャーマン戦車（初期型）(1/48)

アメリカ M4シャーマン戦車（初期型）
●発売元／タミヤ●2090円
●1/48、約11.9cm●プラキット





※画像は「ガールズ&パンツァー」仕様に近くなるよう、本来の組み立て指示とは異なる組み方をしています

◀▼タミヤミリタリーミニチュアの1/48シリーズ。戦車模型ファンには言わずもがなだが、高い完成度と組みやすさを両立しつつ、価格も非常に安価で、気軽に模型製作を楽しめるのが最大の特徴。複数作って並べたいサンダース大学付属高校のシャーマンにはたいへん適した素材であろう



▲シャーシ部分がダイキャストとなっており、手乗りサイズだが重量感があるのも特徴。このため一部に瞬間接着剤を使用するが、パーツ構成が非常に考えられているので強度面の不安はほぼない



item:02

ガールズ&パンツァー 劇場版 おてごろ模型戦車道 M4シャーマン 75mm砲搭載型 サンダース大学付属高校

▼プラッツが発売している公式キットで、「1/56おてごろ模型戦車道」シリーズの第3弾。イタレリ製1/56キットの成型色を変更し、デカールを付属させたもの。厳密には車体が初期型ではないが、容易に組み上がりディテール感も良好だ



ガールズ&パンツァー 劇場版 おてごろ模型戦車道
M4シャーマン 75mm砲搭載型 サンダース大学付属高校
●発売元／プラッツ●4620円●1/56、約10.5cm●プラキット



◀工作点については作例で紹介した箇所をほぼそのまま適用できる。1／35と比べて、砲塔の機銃架と車体後方の斧がない点には注意。また砲塔のハッチは説明書の指示と左右逆に組もう

file: 002

T-34/85

[プラウダ高校]



Medium Tank T-34/85

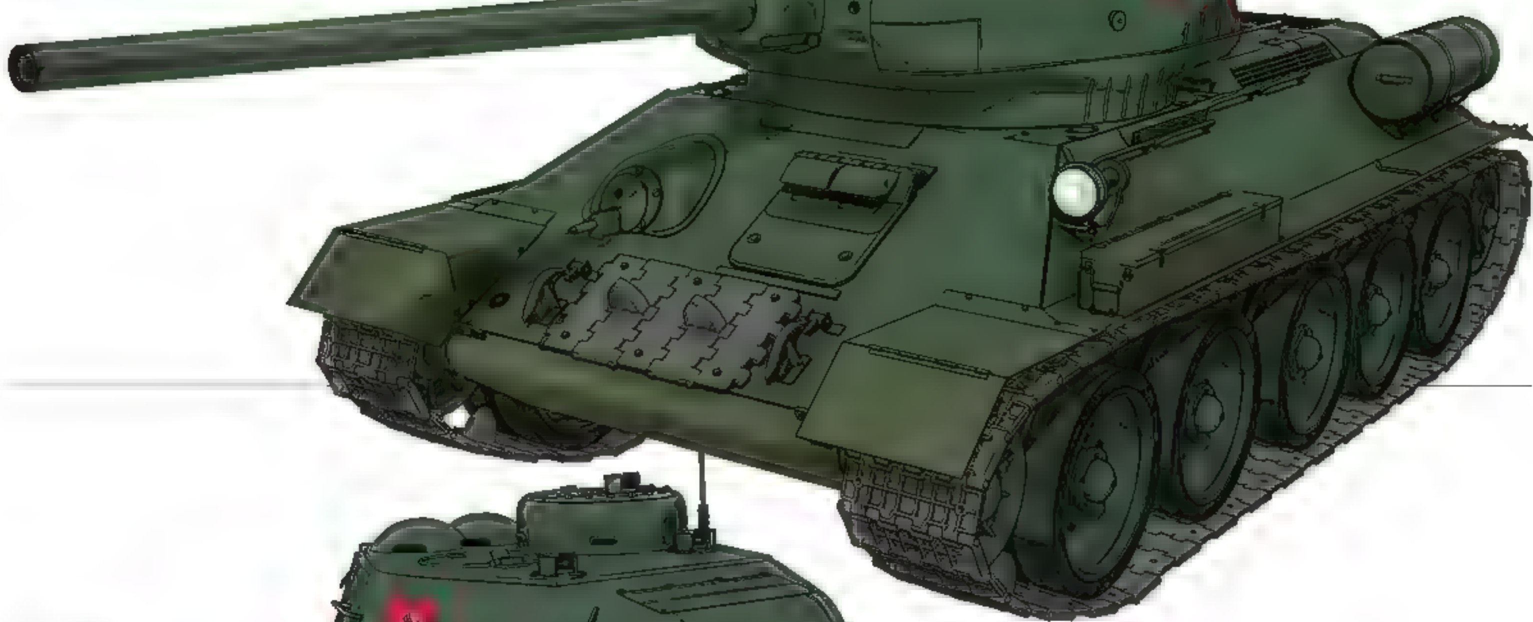
[Pravda Girls' High School]

PLATZ 1/35 scale plastic kit
modeled & described by Takuji YAMADA

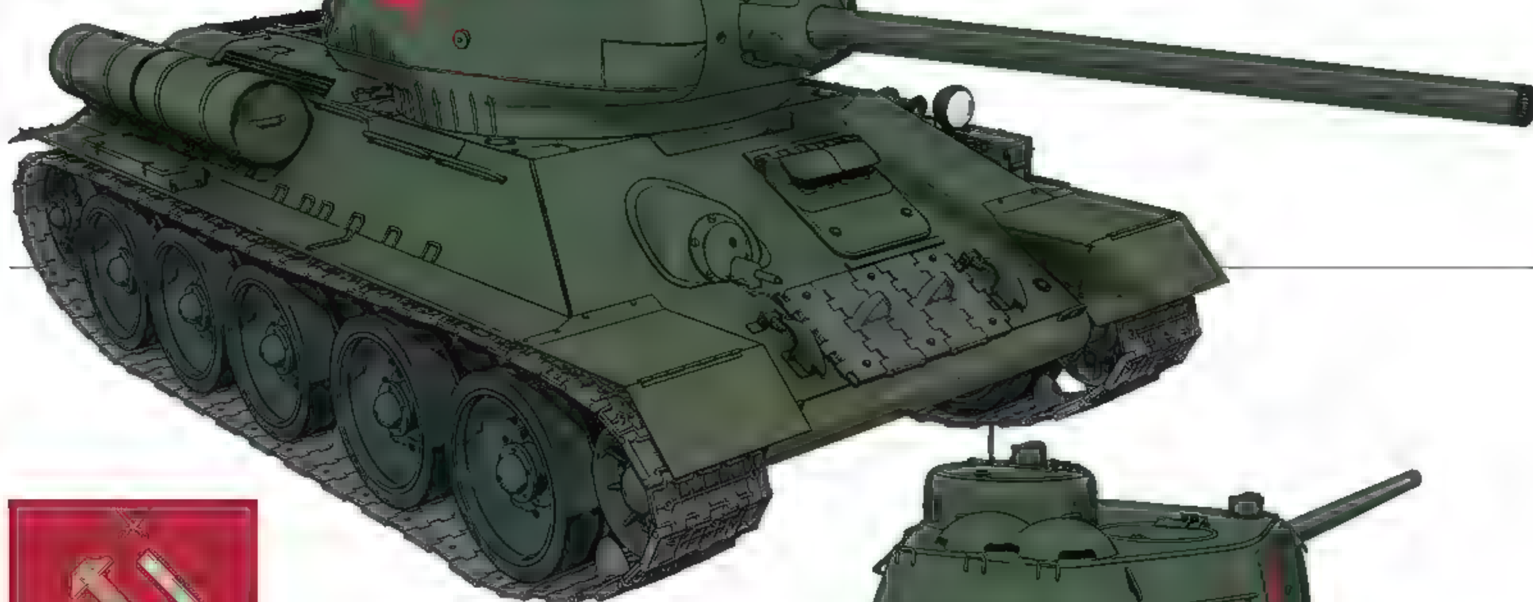
file:002
設定画

劇場版&最終章版共通

フロント1



フロント2





プラウダ高校 校章

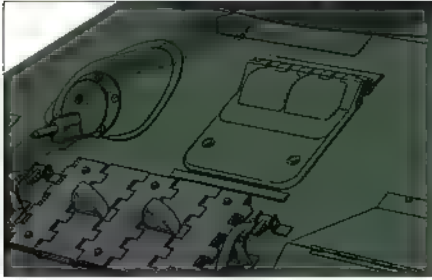


[スペック]

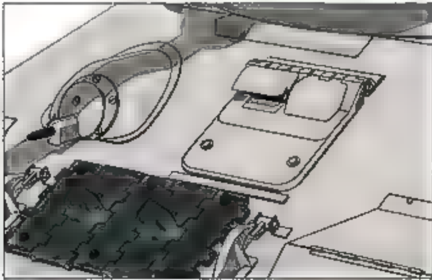
国籍	ソ連
製造	第183工場(ハリコフ機関車工場)他
乗員	5名
エンジン	V-2-34 V型12気筒液冷ディーゼル
重量	32.0t
全長	8.10m
車体長	6.10m
全幅	3.00m
全高	2.72m
履帯幅	50~55cm
超壕能力	2.5m
渡歩水深	1.3m
変速機	前進4速後進1速
最高速度	50.0km/h(路上)/29.9km/h(不整地)
航続距離	300km(路上)
主砲	54.6口径 85mm 戦車砲Z S-S-53(主砲弾 56発)
副武装	7.62mm DT機関銃×2
装甲	16~90mm
生産数	25,899輌(1946年までのソ連生産分)

リア1

TV版 車体前方クラッペ



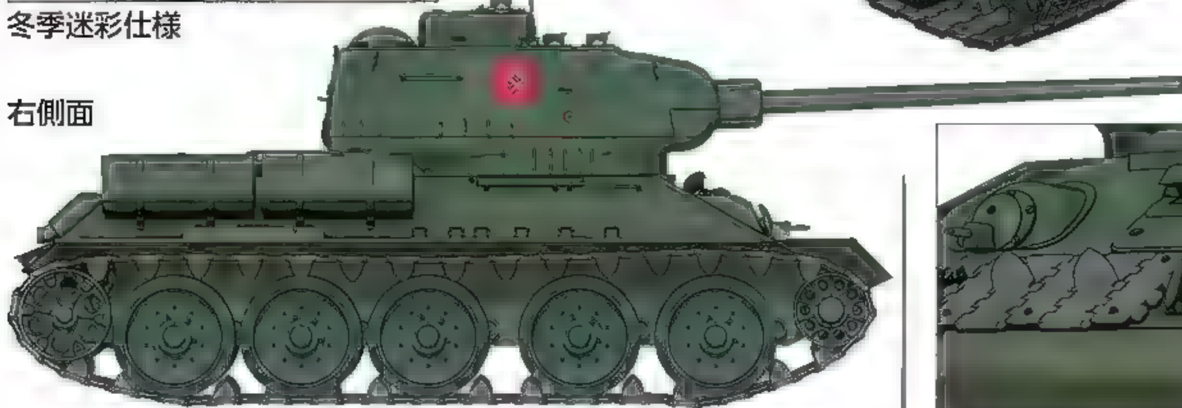
前大会仕様



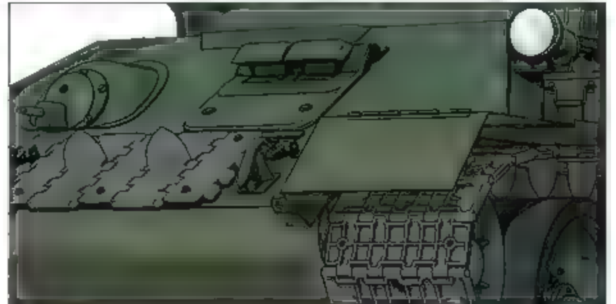
冬季迷彩仕様

リア2

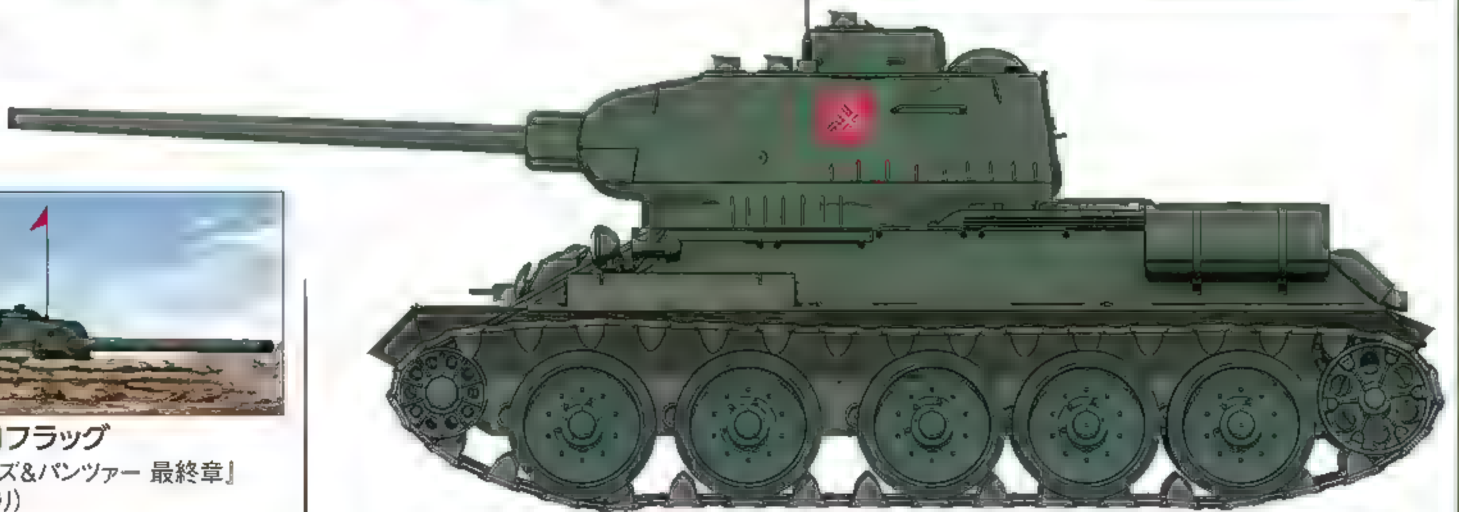
右側面



車体前方、クラッペ内部



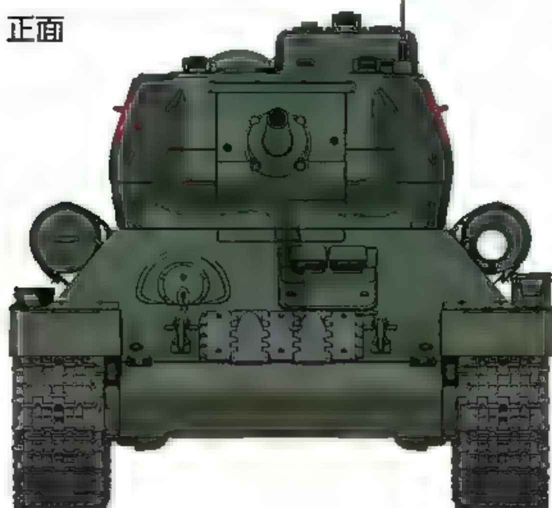
左側面



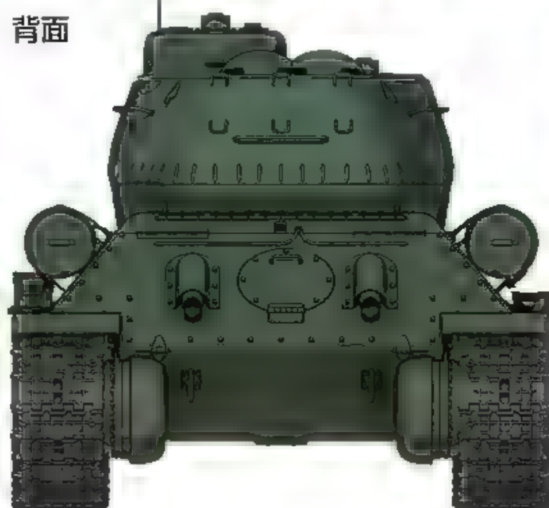


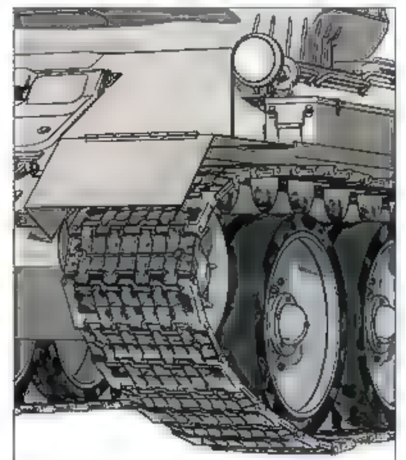
最終章版 フラッグ
(『ガールズ&パンツァー 最終章』第3話より)

正面



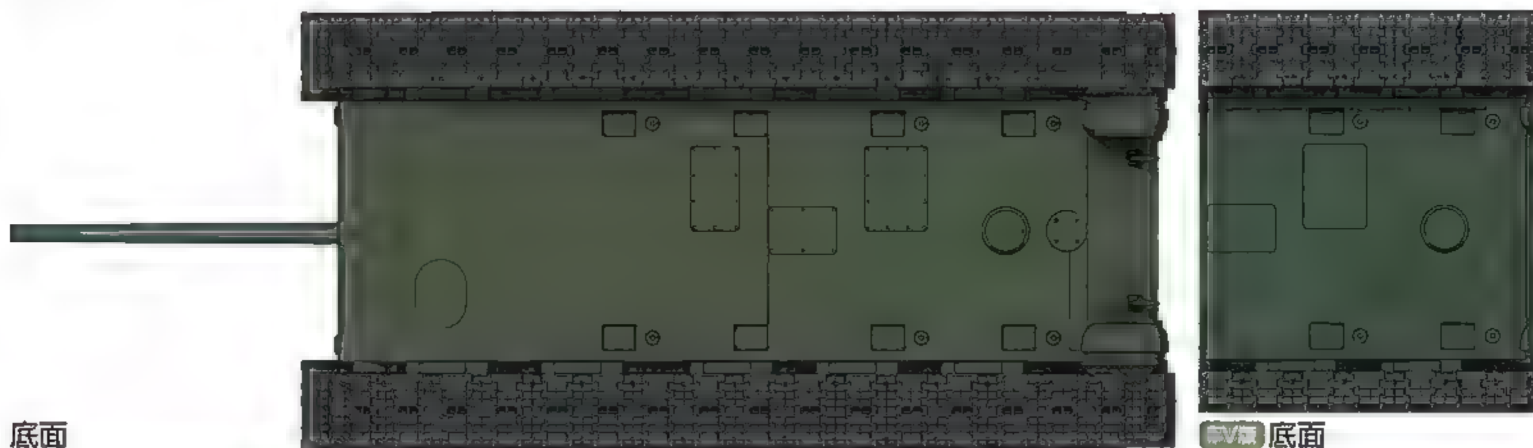
背面



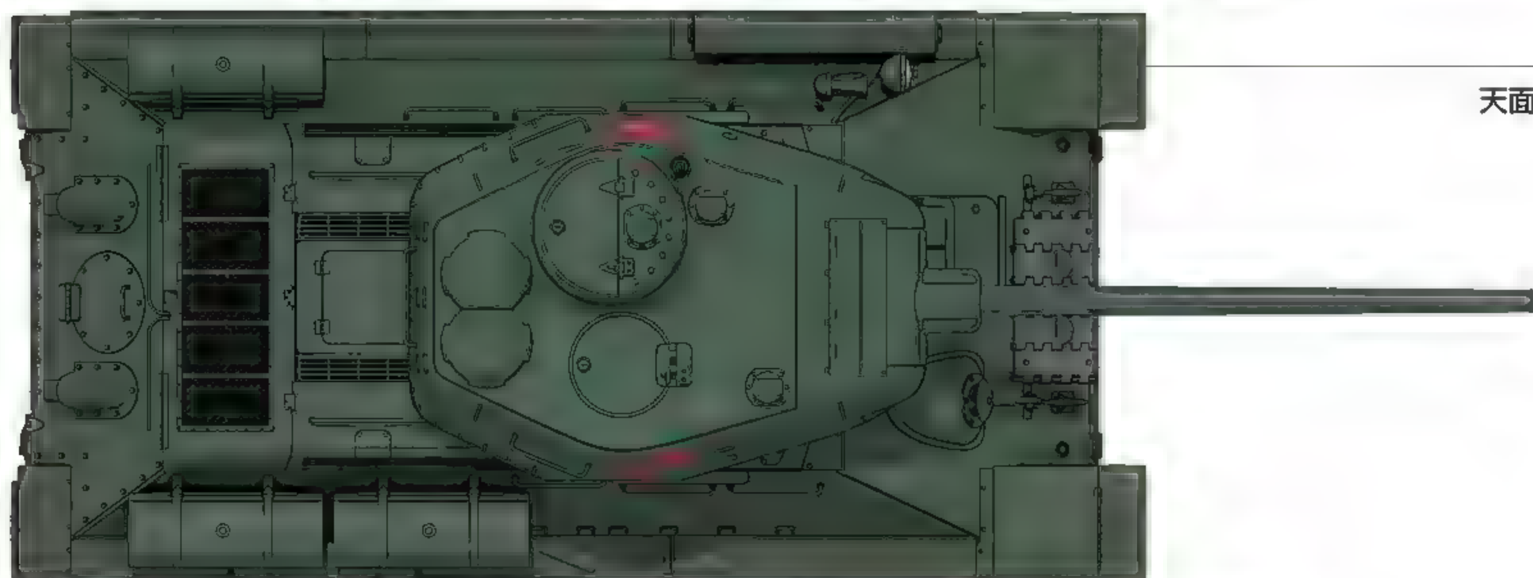


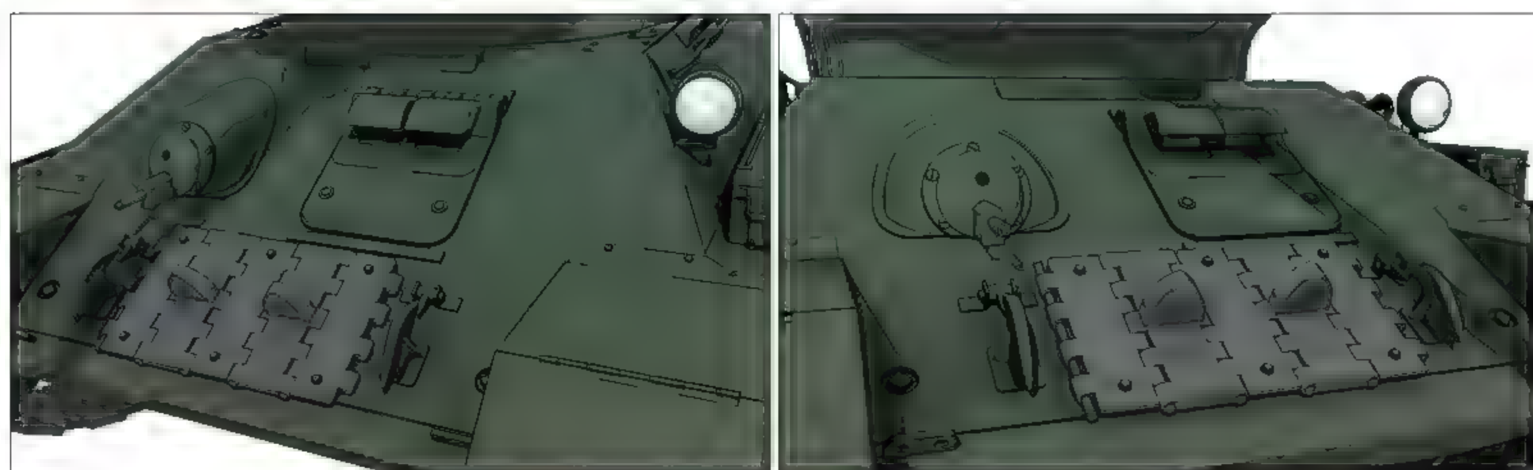
TV版 履帯

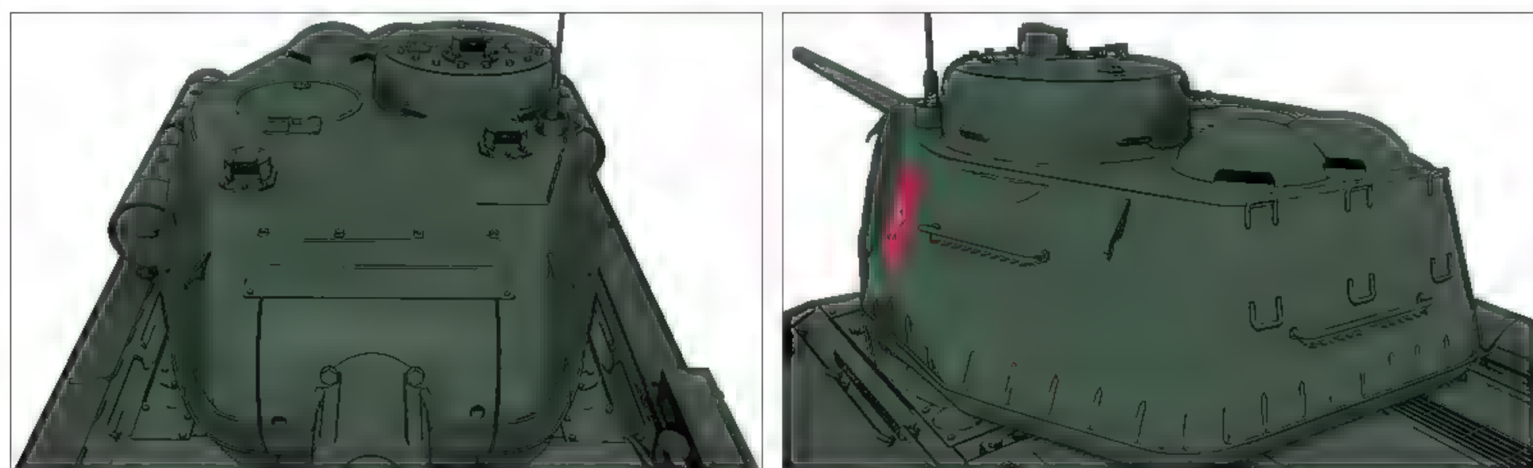
file:002
設定画


底面

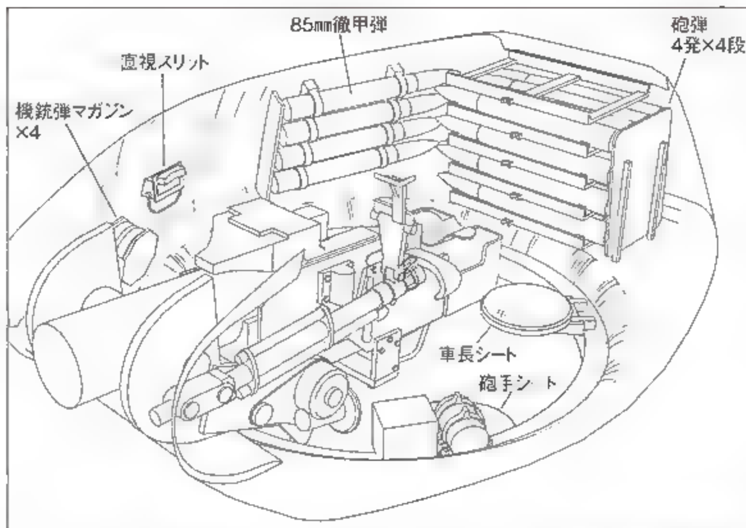
底面


天面

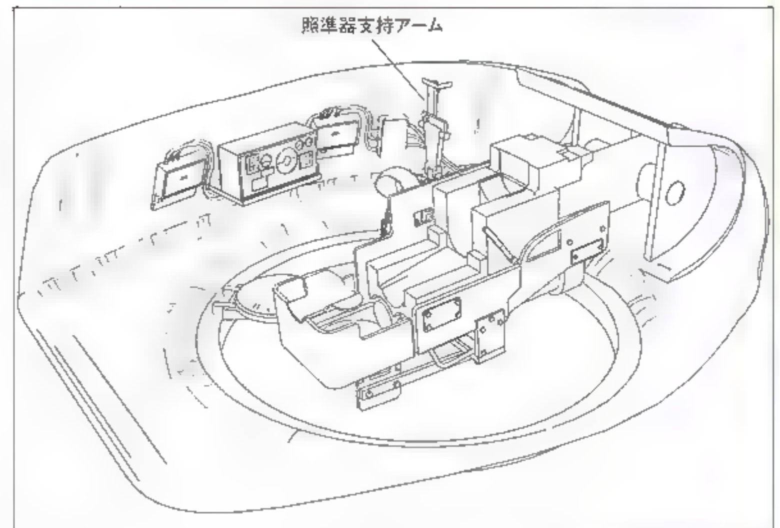

車体前方


砲塔前方

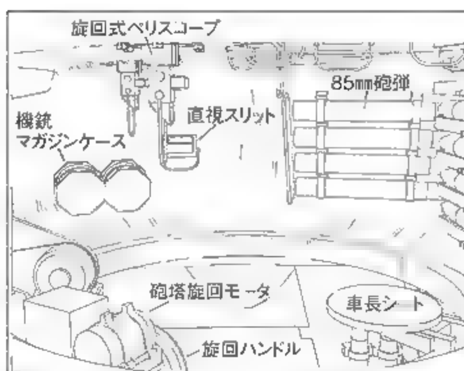
砲塔後方



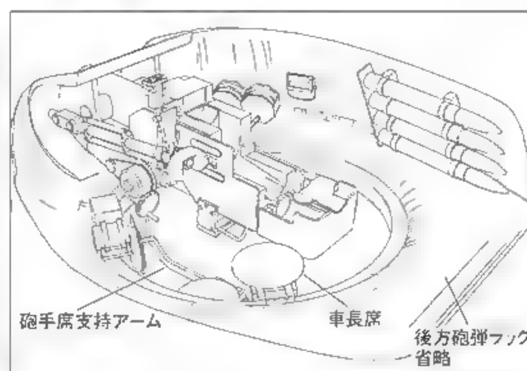
砲塔内部左前方



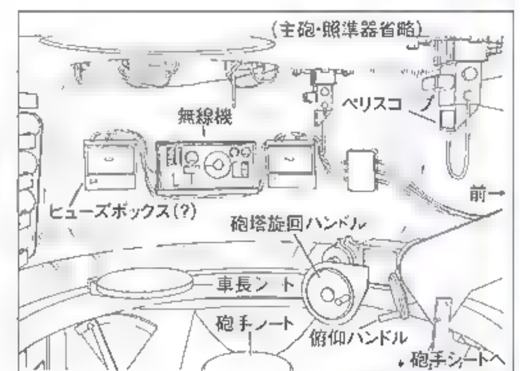
砲塔内部右後方



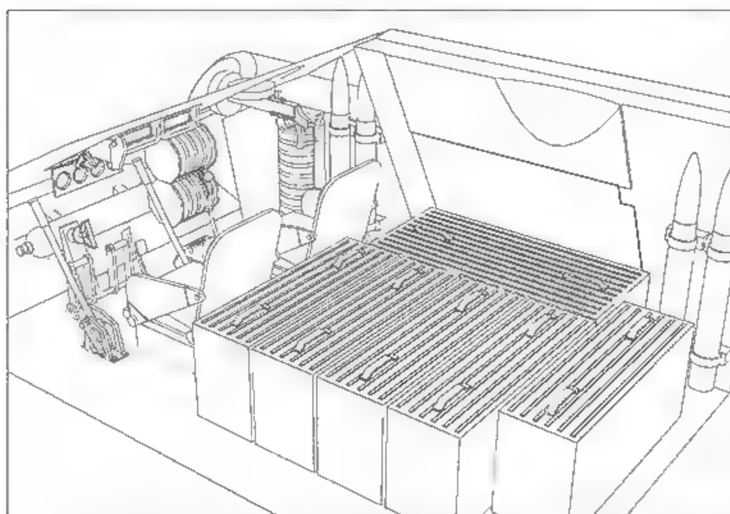
砲塔内部右側



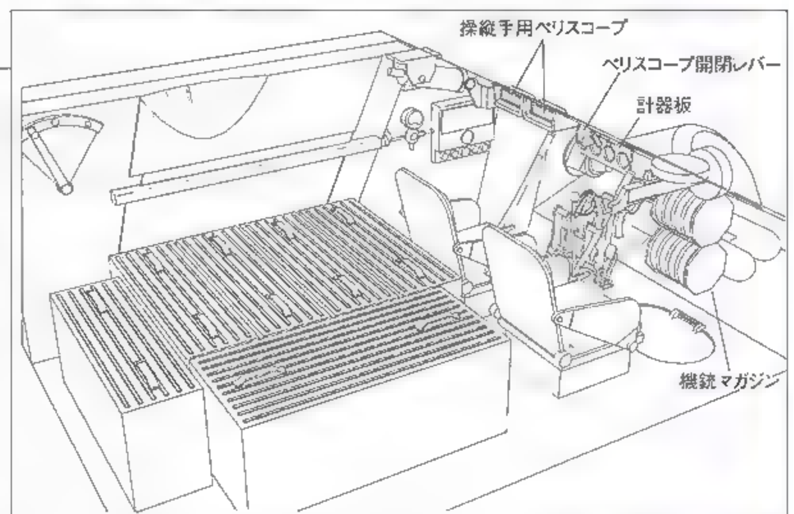
砲塔内部左後方



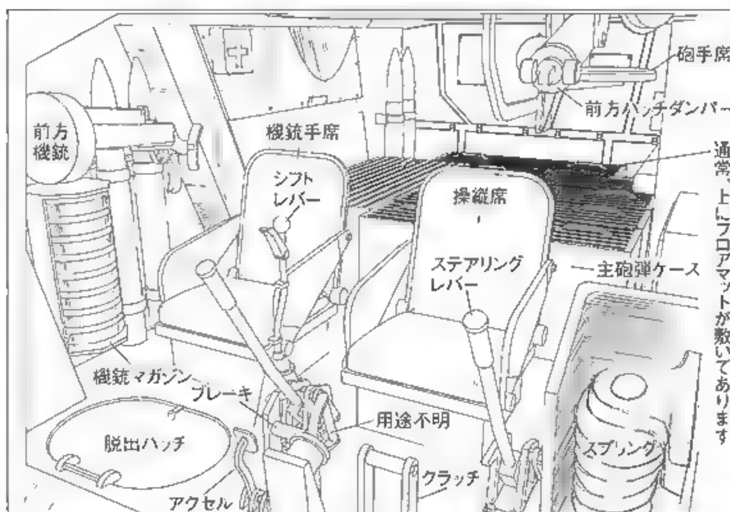
砲塔内部左側



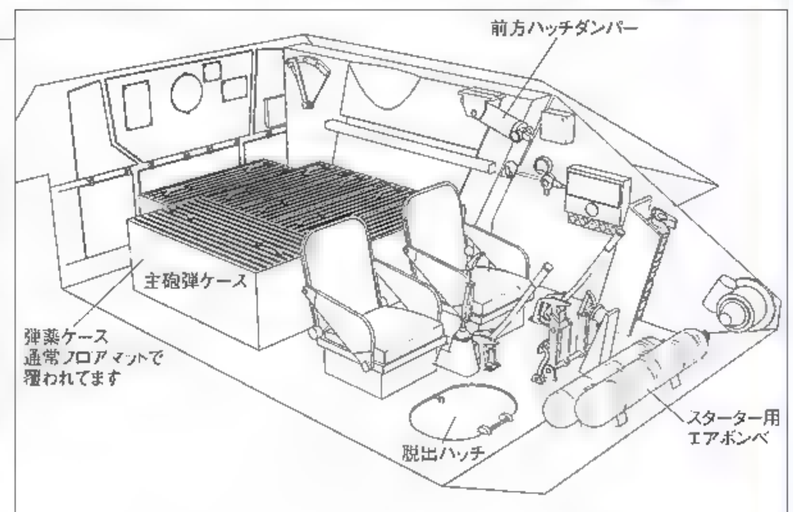
車体内部左後方



車体内部右後方



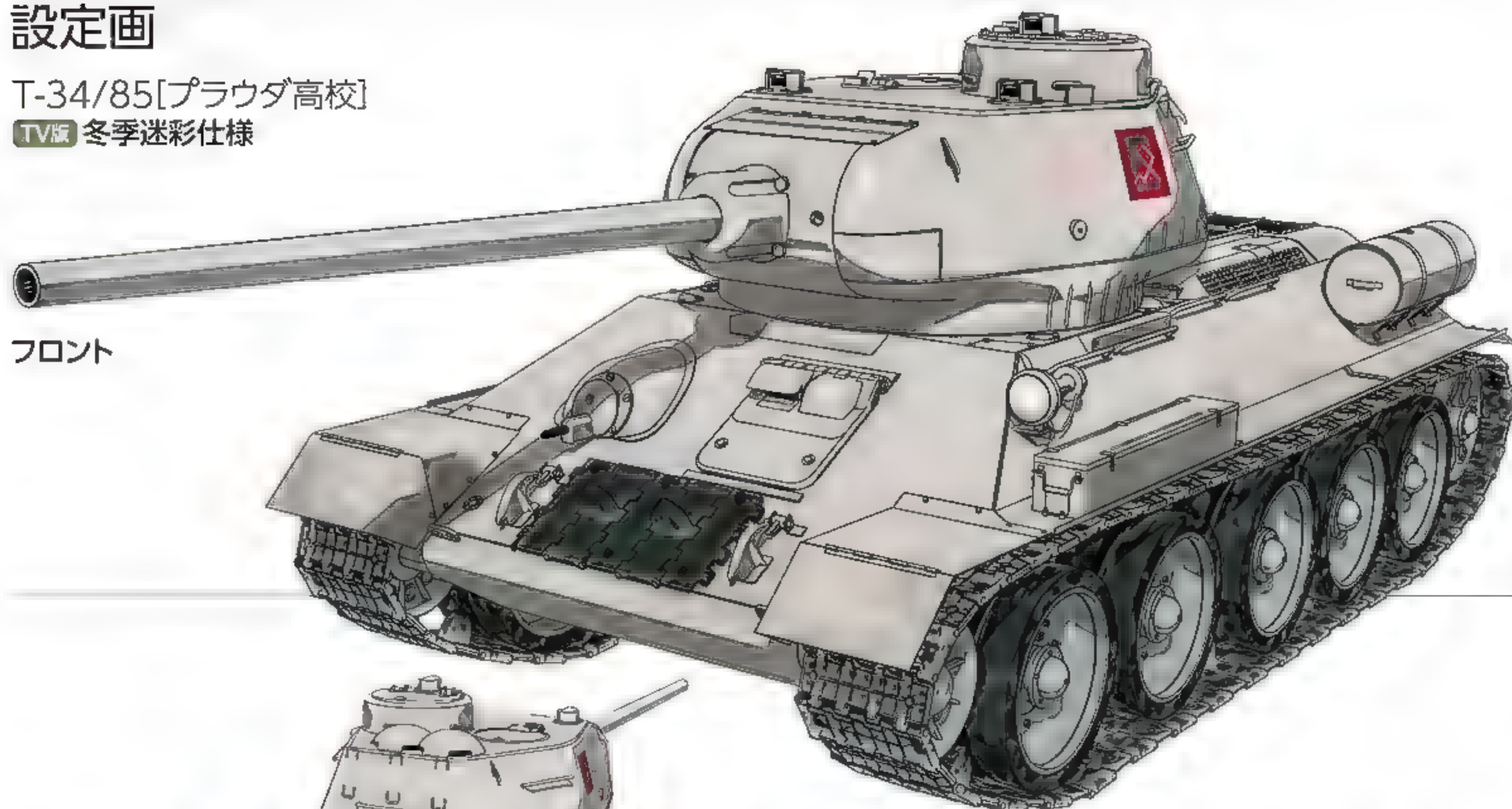
操縦席

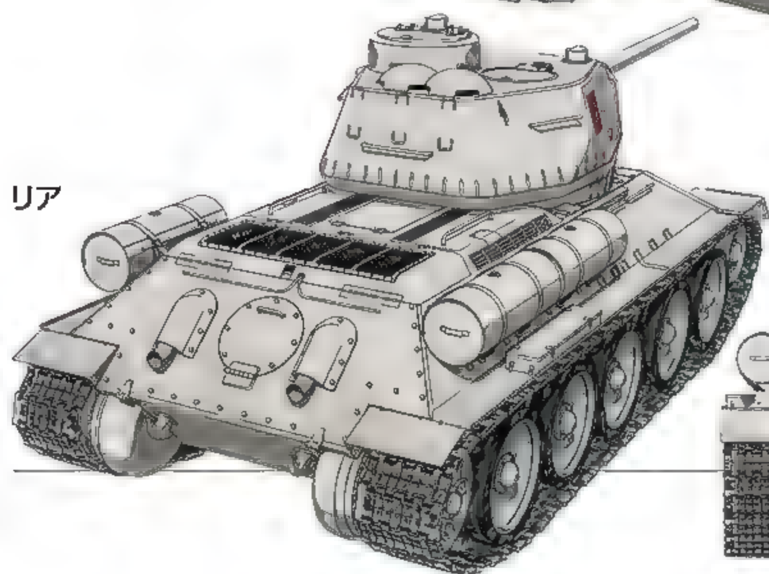


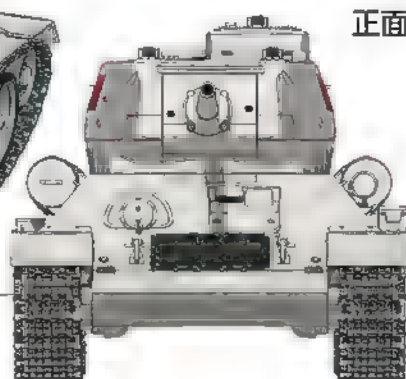
車体内部右前方

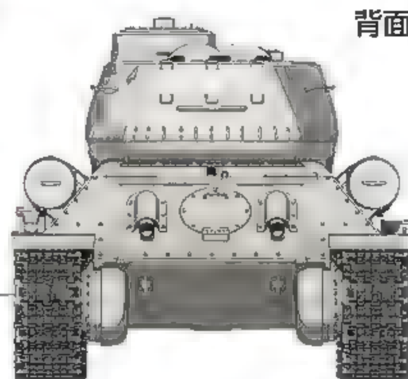
file:002
設定画

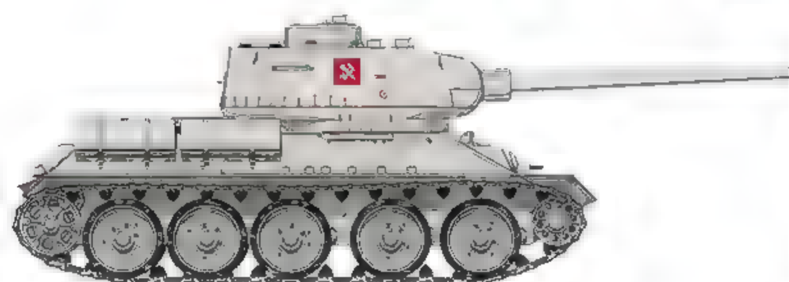
T-34/85[プラウダ高校]
TV版 冬季迷彩仕様

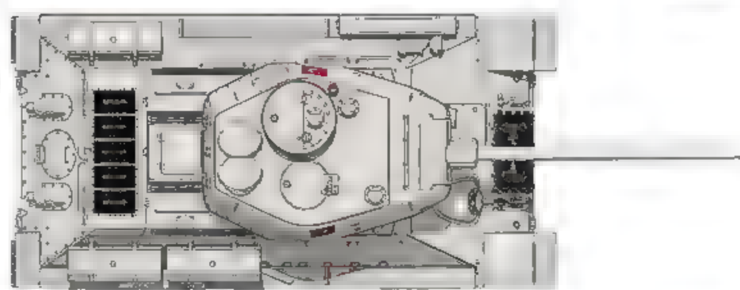

フロント

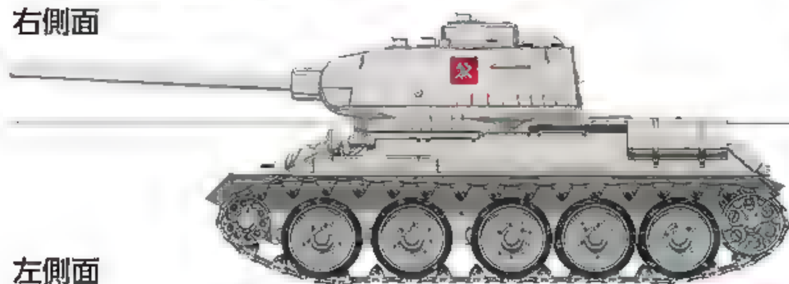

リア

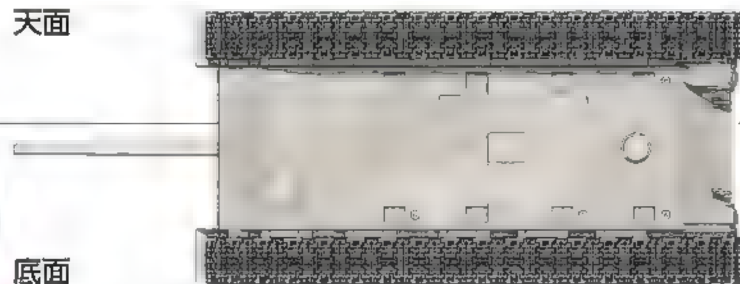

正面

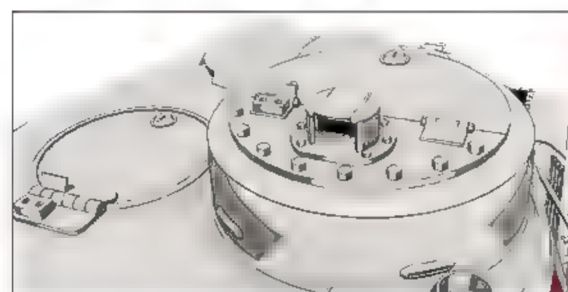

背面

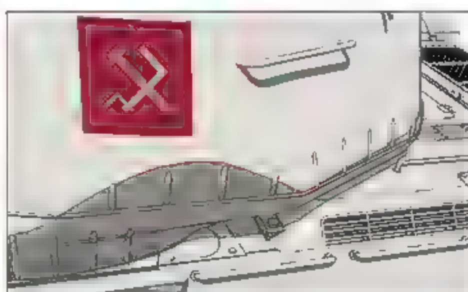

右側面

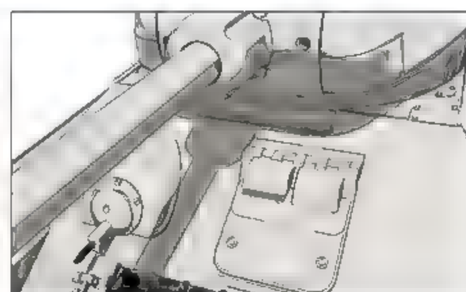

天面


左側面


底面


キューポラ


砲塔下部


車体前方

劇中車製作ポイント

プラウダ高校の隊長車、フラッグ車などを務め、印象深い活躍をしているT-34/85。実車と大きな差異はないが、砲塔や車体前方など目立つ箇所に『ガールズ&パンツァー』版独自の部分が見受けられる。これらをしっかり攻略していこう。またT-34/85の特徴でもある各所の手すりは、劇中車再現の面だけでなく強度面の観点からも金属線に置き換えておくのが賢明だろう。どのキットを使用しても作業に大きな違いは出ないので、作例はデカールが付属する公式キットで製作した。









使用キット

ガールズ&パンツァー 劇場版 T-34/85 プラウダ高校
●発売元／プラッツ●6380円●1/35、約23.3cm
●プラキット

SK-34 T34戦車用履帯 M42型
●発売元／モデルカステン●3300円●1/35
●プラキット

file:002
劇中車製作ポイント

左右フェンダー前方にリベット追加

point:01 ペリスコープ基部を新造

point:01 ベンチレーターのリブは削り取る

point:02 フック後方にディテール追加

point:03 手すりの位置調整+真鍮線に置き換え

point:01 アンテナはスプリングと金属線で再現

point:03 ルーバーの形状を変更

point:01 砲塔天面の改修

ペリスコープ基部の座金は円盤状になっているので、プラ板を切り出して追加。砲塔後方のベンチレーターは実車で四方に溶接跡が付いていますが、設定画では凹凸のない曲面となっているので削り落とします。アンテナは基部にスプリングを入れて金属線で再現しました



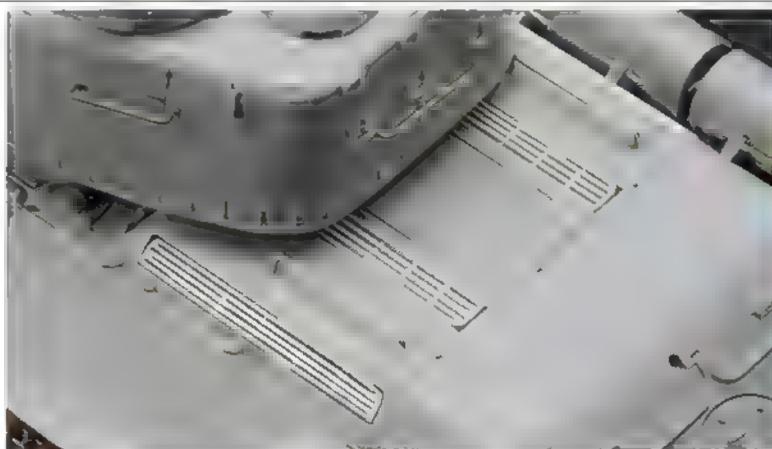
point:02 フック後方にディテール追加

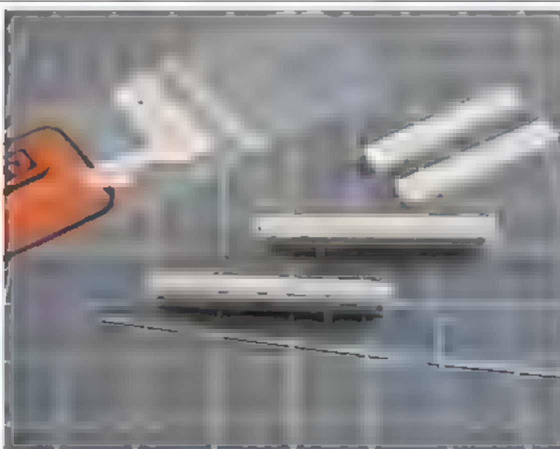
予備履帯脇、車体牽引フックの後ろに留め具状のディテールがあります。プラ板の細切りとリベットパーツで自作しました



point:03 ルーバーと手すり

車体後方に4ヵ所あるルーバー、実車は網目状に区切られていますが、『ガルパン』版では細長い格子状になっています。プラストラクトの極細プラ棒を使って形状を再現しました。また車体各所にある手すりは真鍮線に置き換えています。位置や寸法が微妙に実車と異なっているところもあるので注意です



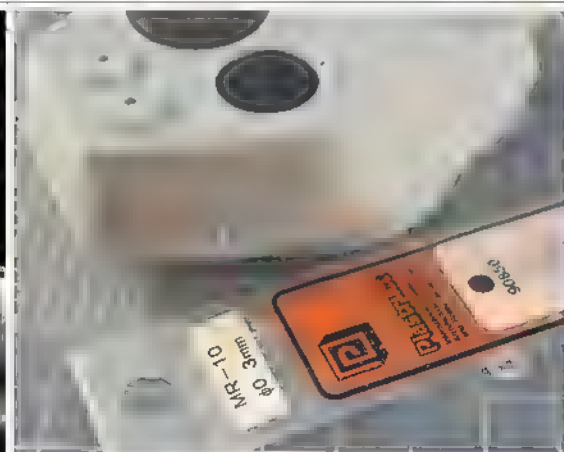


point:04 細い凸線ディテール追加
point:04 E3、E4パーツ位置調整
point:05 車体天面のスジ彫りを変更
備品箱の天面に補強板を追加
point:06 転輪のハブにスジ彫り追加

point:04 砲塔側面のディテール改修

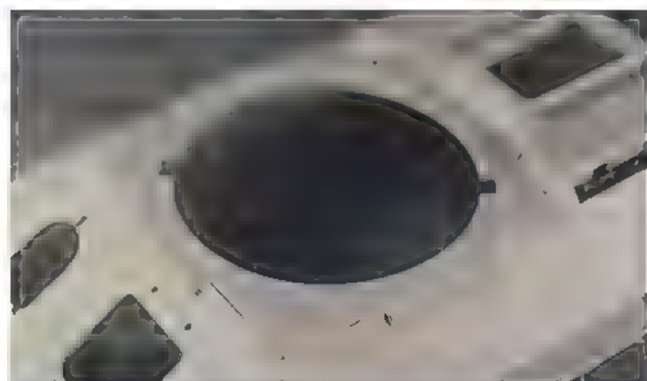
『ガルパン』版T-34/85の特徴として、砲塔側面に凸線ディテールが走っています。溶接痕などを削り落として砲塔表面をなだらかにしたあと、プラストラクトを駆使してこれらを追加。吊り下げフック（E3）、丸い凸モールド（E4）も実車と位置が若干異なるので調整して取り付けました





point:05 車体天面のスジ彫りを変更

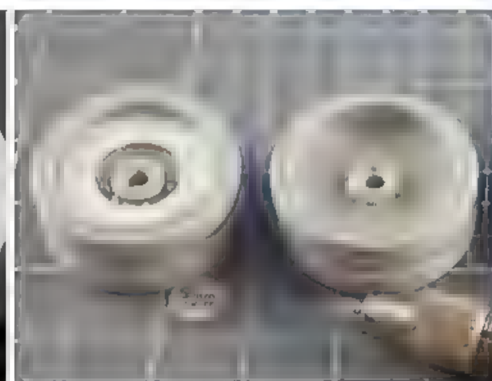
車体の砲塔基部周辺にあるパネルラインが実車と異なっているようです。スジ彫りでこれを再現しました



point:06 転輪のハブにスジ彫り追加

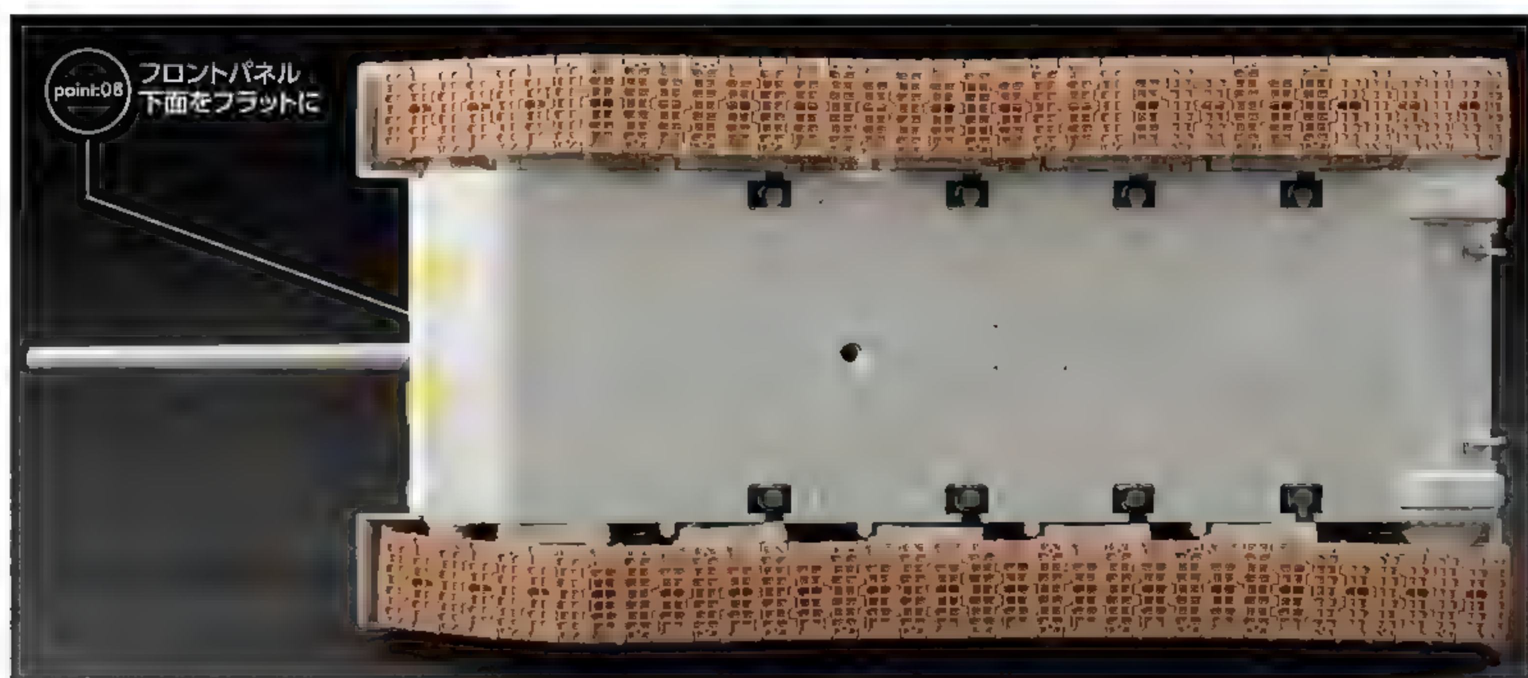
『ガルパン』版では転輪のハブを囲うようにスジ彫りが入っています。転輪は10個あるうえ正確に円を彫らなければならないので、先にプラ板で治具を作りこれをガイドにして彫り込んでいきました





file:002
劇中車製作ポイント





point:07 防盾の砲身基部を延長

砲塔の防盾は砲身が収まっている部分が実車より長めになっています。途中で切断し3mmほど延長して再現しました



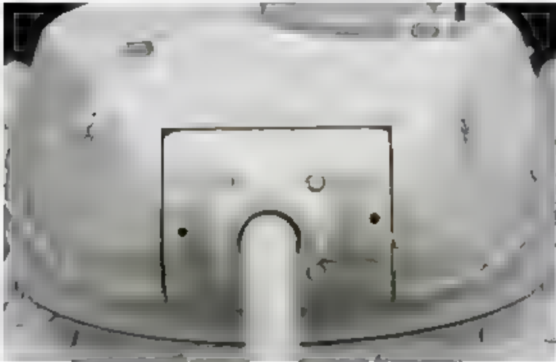
point:08 フロントパネルの改修

フロントパネル下面はフラットで、加えて先端部分はT-34/76のようにアール形状となっています。プラ材でこれらを再現しました。また先端両脇の凸パーツも、穴がふたつ開いた独特のプレート状の部品になっていますので、プラ板で自作しています



point:09 監視口の位置とサイズを調整

主砲両脇の監視口は実車よりも小さく、位置も異なります。いったんパテなどで埋めてから彫り直すことで再現しました



point:10 車体前方の改修

砲塔の下にあるクラッペは２基とも開状態なので、開いたカバーをプラ板で自作して再現。車体右側の機銃は銃身がシンプルな筒状なのでプラパイプを組み合わせたものに交換しています







point:11 砲塔後方のディテール変更

砲塔後方上側のバーは形状が異なるのでプラ棒で作り直して再現。その下の手すりも実車より上側に付いているので真鍮線に置き換えつつ位置を直しています



point:12 予備燃料タンク基部のディテール追加

予備燃料タンク留めのバーは真鍮線で長いサイズに変更。またベルト部分にバックルのようなパーツが付いているので、こちらも金属線で自作して追加しました





FINISH MODEL

完成作例

プラッツ 1/35スケール プラスチックキット
ガールズ&パンツァー 劇場版 T-34/85 プラウダ高校 ほか使用

T-34/85［プラウダ高校］

製作／山田卓司

▶『劇場版』以降はカチューシャ車だけでなくクラーラ車としての活躍も印象的なT-34/85。また雪上迷彩の白いカラーリングも製作モチーフとしては捨てがたいところだ。大掛かりな改修を施さずとも劇中車を再現できるので、複数製作してさまざまな仕様で並べてみてもよいだろう

▶少し長めの砲身基部や、フラットな車体フロントパネル、その上の丸みがついた車体の角など、前面側に『ガルパン』版の特徴が集中している。フロントパネルは特に全体の印象に関わる工作点と言えそうだ



▲作例はアンテナにフラッグを取り付け、『最終章』第3話でフラッグ車を務めたクラーラ車イメージで製作している

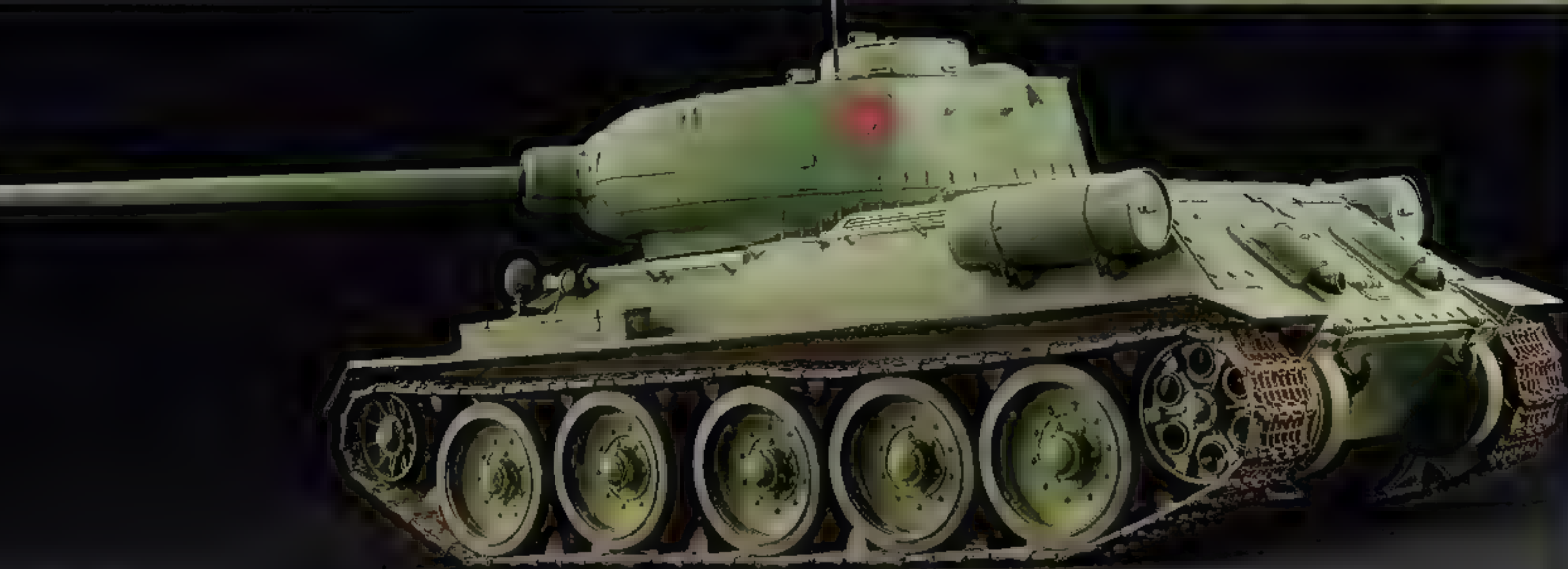




▲砲塔のくっきりとした線状モールドは『ガールズ＆パンツァー』版T-34/85のトレードマーク。どのキットを使用しても要加工な点ではあるが、根気よく作業すれば工作自体は難しくない形状なので、しっかり再現しておきたいところ

▼ルーバーが細長い長い格子状の形になっているのも特徴的な部分。極細のプラ棒を用意すれば、再現は決して難しくない





file:002

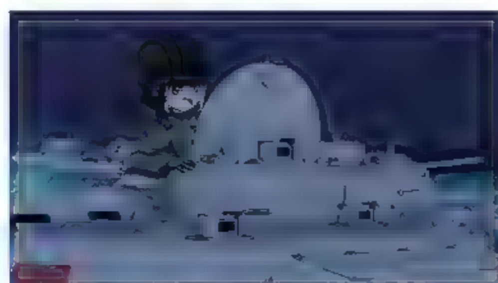
ディテール参考、ディオラマ製作のための 劇中ピックアップ

scene:01

『ガールズ&パンツァー』第6話「一回戦、白熱してます!」および第8話「プラウダ戦です!」より

プラウダ高校登場





夏の戦車道全国高校生大会準決勝。大洗女子学園の前に立ち塞がるのは、昨年の優勝校であるプラウダ高校。みほにとっては因縁の相手である。隊長のカチューシャは、フラッグ車を敢えて残して他の車輌をすべて殲滅してやると豪語する。彼女は全編を通して、みほと同じくキューポラから身を乗り出した乗車スタイルが基本。実車の設計どおりハッチを盾のように立てかけている。なおIS-2のイメージが強いノンナだが、本試合開始時や第1回戦ではT-34/85に搭乗。加えてその第1回戦やみほの回想内では、プラウダの各戦車は本来の色の緑である。




scene:02

『ガールズ&パンツァー』第8話「プラウダ戦です!」より

大洗を誘い込み包囲

T-34/76を2輌犠牲にして、大洗を焚き付け巧みに誘導するプラウダ。フラッグ車に釣られて窪地の村エリアに入り込んでしまった大洗は、完全にプラウダに包囲されてしまう。




scene:03

『ガールズ&パンツァー』第9話「絶体絶命です!」より

大洗の反撃開始!

プラウダは降伏まで3時間の猶予を与えるが、大洗は諦めることなく継戦に臨む。大洗の偵察を見越し、敢えて包囲に薄い箇所を設け、そこを突いたところを挟み込む作戦で待ち構えるプラウダ。しかし大洗は、それに反して正面突破を敢行。38 (t) 軽戦車の鋭い一撃がT-34/85を1輌撃破し、その穴を大洗が突破していく。







scene:04 『ガールズ&パンツァー』第9話「絶体絶命です!」および第10話「クラスメイトです!」より

カメさんチーム奮戦! そして大洗の勝利!





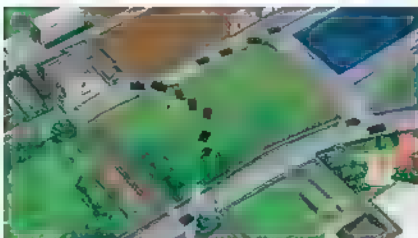
大洗を窪地から脱出させるため、敵後続のIS-2、T-34/85、T-34/76×2輌の計4輌を単独で相手取るカメさんチームの38(t)。T-34/76を全滅させ、T-34/85も右履帯を破壊し足止めする戦果を挙げるが、ノンナ車の遠距離砲撃により撃破される。しかしこの活躍により、試合はフラッグ車へのピンポイント攻撃を成功させた大洗が逆転勝利することになった。なおどの車輌か特定は困難だが、本シーンで38(t)にいずれかのT-34が右のマフラーを破壊されている。




scene:05 『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

エキシビションマッチで大洗にリベンジ

夏の大会の記念に開催された大洗の街でのエキシビションマッチ。プラウダも参戦し、聖グロリアーナ女学院とのタッグで大洗と知波単学園に挑む。試合はゴルフ場から市街地へともつれ込み、聖グロプラウダ連合は執拗にフラッグ車のⅣ号戦車H型を狙う。

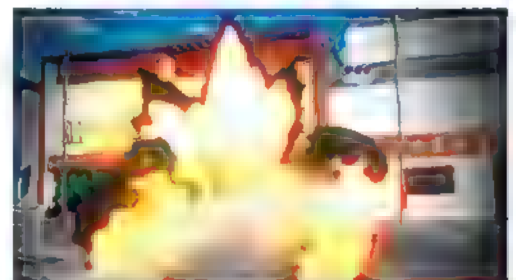

scene:06 『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

クラーラ車が奮戦するも…?

孤立したⅣ号を狙って食い下がるクラーラのT-34/85。しかし地の利のあるⅣ号が一枚上手で、曲がり松商店街を抜けたところのS字カーブで肴屋に突っ込んでしまう。致命的な衝突は避けたが、後続のクルセイダーMk.Ⅲが燃料タンクにぶつかり大爆発。クラーラ車は瓦礫に埋もれて撃破判定となってしまったようだ。







file:002

ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

scene:07

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

「ミホーシャにできることはカチューシャにだってできるんだから!」

カチューシャのT-34/85とノンナのIS-2の挟み撃ちからも逃げ延びてみせたⅣ号は、磯前神社の石段を下るという荒業まで披露。カチューシャ車とノンナ車も後を追う。2輌とも砲塔を後ろに回して砲身を守っているが、Ⅳ号がそれをしていないのは麻子の腕があってのものか。







scene:08

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

エキシビションマッチ決着

戦いは海岸線を北上してアクアワールド・大洗へ。フラッグであるチャーチルMk.Ⅶと合流し、Ⅳ号を待ち受けるカチューシャ車とノンナ車。Ⅳ号もチャーチルに迫ったものの、カチューシャ車がⅣ号の攻撃を阻んだ隙にチャーチルが反撃。聖グロリアーナ連合が勝利となった。







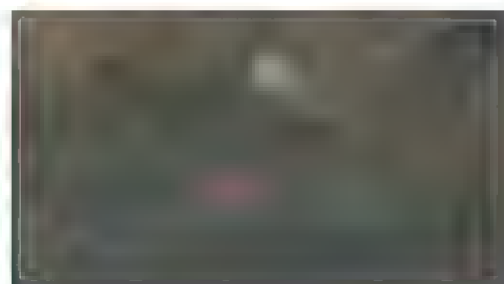
scene:09

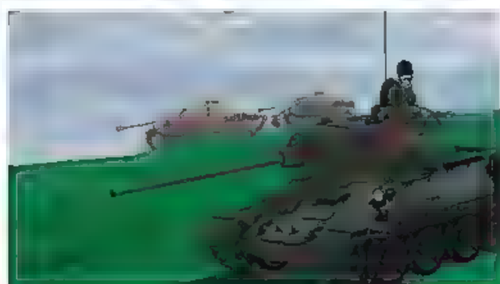
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

大洗VS大学選抜チーム、雨の中の撤退戦

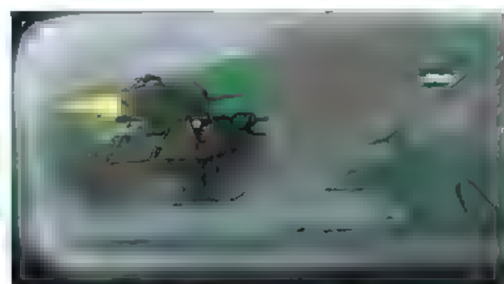
大学選抜チームとの試合に臨む大洗に加勢したプラウダはひまわり中隊に所属。有利な高地を取るがそれは罠で、謎の長距離砲撃と敵の半包囲によって窮地に陥る。たんぽぽ中隊と合流するための撤退戦で殿を務めたカチューシャ車が集中砲火を浴び、彼女を助けるためKV-2とクラーラ車、そしてノンナ車が犠牲となる。常に身を乗り出していたカチューシャが車内に逃げ込むことからも危機的状況であったのが判るだろう。熱いシチュエーションであると同時にプラウダ各車の車内も非常に鮮明に描写されており、見どころの多い一幕だ。

















scene:10
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

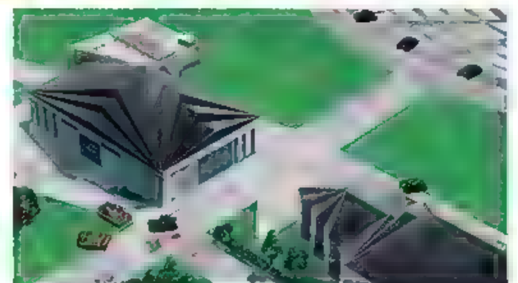
戦いの舞台は遊園地跡へ





試合を仕切り直して遊園地跡へ籠城する大洗連合。敵の進撃に合わせ、カチューシャ車は中央広場から正門防衛の応援に回る。正門攻撃がブラフと判ったあとも防衛に残り、ティーガーI、ティーガーIIと協力してパーシングを計3輌撃破。逃げたチャーフィーをさらに追撃するが、それによって園内組と分断され、敵による園内組の包囲を許してしまう。





scene:11
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

「誰がジェロニモよ!」

ウサギさんチームの活躍で敵包囲が崩れた後、カチューシャ車はレオポンさんチーム、アリクイさんチームと共闘。ウェスタンゾーンで二式中戦車を敵の攻撃から守りつつ、大胆な指示を出して計3輌のパーシングを倒す。







scene:12
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

敵中隊長を撃破して大往生

大学選抜との試合も終盤。センチュリオンとの合流を狙う敵中隊長3人のパーシングを食い止めるため、T-34/85、ティーガーII、ポルシェティーガー、マチルダII Mk III/IVが果敢に挑む。マチルダが撃破され、速度で劣るカチューシャたちは一度引き離されるが、ポルシェティーガーのスリップストリームで引っ張られて再び肉迫。カチューシャ車が体当たりをしかけてルミ車の体勢を崩し、すかさずティーガーIIがそれを仕留める。しかしティーガーIIも直後に攻撃を受け、カチューシャ車も続けざまに撃破された。遊園地跡での戦いにおいてカチューシャは、他校との連携も取りながら中隊長を含む計7輌の撃破に関わり、本人も2輌を倒す戦果を挙げている。撤退戦でのノンナの言葉を証明する結果になったと言えるだろう。









file:002

ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

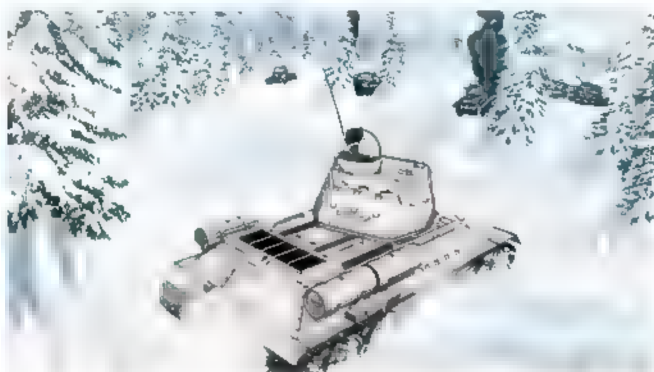
scene:13

『ガールズ&パンツァー 最終章』第2話より

無限軌道杯第1回戦を余裕で突破

冬の無限軌道杯。優勝候補のひとつと目されるプラウダは、第1回戦で華麗な雪上戦を披露しヴァイキング水産高校を下す。視聴者的には久しぶりの雪上迷彩がポイントだろう（車体形状は劇場版／最終章版に準する）。この試合でのフラッグ車はT-34/76。





scene:14

『ガールズ&パンツァー 最終章』第3話より

無限軌道杯第2回戦、黒森峰対策は万全?

黒森峰女学園と戦った無限軌道杯第2回戦。プラウダは高地に陣を敷いて、正面から来る黒森峰を迎撃する戦法を採った。フラッグ車はクラーラのT-34/85。KV-2がマウスを撃破し、さらにエレファント撃破、ヤークトティーガーは履帯が切れて動きが止まり、と試合は順調に見えたが…。



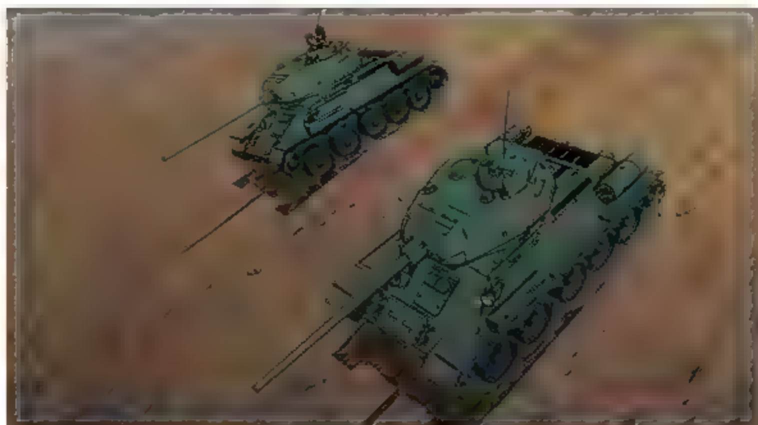


scene:15

『ガールズ&パンツァー 最終章』第3話より

「何このずるっこい動き! 全然黒森峰じゃない!」

ピンチの黒森峰は、Ⅲ号戦車J型とパンター3輌による別動隊でフラッグ車の1点狙いに出た。驚きながらも自身とバイカルアザラシさんチームのT-34/85で追撃するカチューシャ。黒森峰はパンターを1輌倒されても構わずフラッグへ突撃。カチューシャはクラーラに離脱を指示するも塹壕に引っかかってクラーラ車が逃げ遅れてしまう。護衛のユキヒツジさんチームの攻撃もパンターに阻まれ、Ⅲ号が空中から放った一撃がクラーラ車を仕留めた。作戦や判断に誤りはなかったはずだが、黒森峰の新しい戦車道にあと一歩およばなかったようだ。




製作におすすめのアイテム



ソビエト中戦車 T-34-85
●発売元／タミヤ●2090円
●1/48、約16.9cm●プラキット

item:01 タミヤ ソビエト中戦車 T-34-85 (1/48)

▼タミヤの1/48ミリタリーミニチュアシリーズ。シャーマンと同じ観点となるが、手軽さと高い完成度が両立されているキット。ノンナのIS-2と、あるいはカチューシャ車とクラーラ車を並べるなどしたいときは、本キットは素材として非常に適していると言えるだろう


※画像は『ガールズ&パンツァー』仕様に近くなるよう本来の組み立て指示とは異なる組み方をしています




▲近年の同シリーズでは、ダイキャストシャーシの代わりに車体内部にウェイトを仕込む構造を採用。重量感を演出しつつ、組み立て・塗装がさらにしやすくなっている


▲概ね劇中車再現で行うべき工作点は1/35と同じ。小ぶりなサイズながらディテールがくっきりしているので、大きな手を入れずとも見映えよく完成するのがありがたい


▲同シリーズのIS-2も用意してみた。やはりプラウダ高校はこの2輌が揃ってこそ。1/35よりもはるかに安価かつ短時間で同じ並び立ちが再現できるのは大きなポイント

item:02 プラッツ T-34/85 '戦車の内部を公開します!'

▼作例で使用したものとは別のプラッツ製公式キット。イタレリ製の1/35キットを使用し、車内インテリアを一式再現している



ガールズ&パンツァー最終章 T-34/85 プラウダ高校 '戦車の内部を公開します!'
●発売元／プラッツ●7480円●1/35、約23.3cm●プラキット

file: 003

IS-2

[プラウダ高校]



Heavy Tank IS-2

[Pravda Girls' High School]

PLATZ 1/35 scale plastic kit
modeled & described by Takuji YAMADA

設定画

最終章版



フロント1



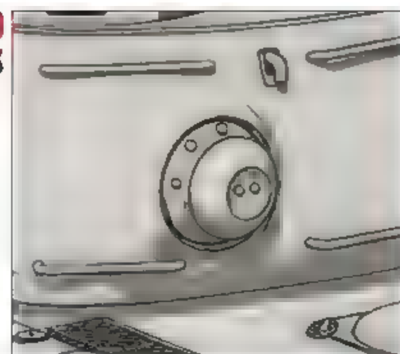
フロント2

[スペック]

国籍	ソ連
製造	チェリャビンスク・キーロフ工場他
乗員	4名
エンジン	V 2-S V型12気筒液冷ディーゼル
重量	46 08t
全長	9 83m
車体長	6.77m
全幅	3 07m
全高	2 74m
履帯幅	65cm
超壕能力	2 5m
渡渉水深	1 3m
変速機	前進8速後進2速
最高速度	37km/h(路上)/24km/h(不整地
航続距離	210km(路上)
主砲	D-25T 48.5口径122mm砲(主砲弾 28発)
副武装	12 7mm DShk機関銃×1、7.62mm DT機関銃×2
装甲	20~120mm
生産数	3 395輌(主砲の型式が異なる初期生産車を含む)

TV版

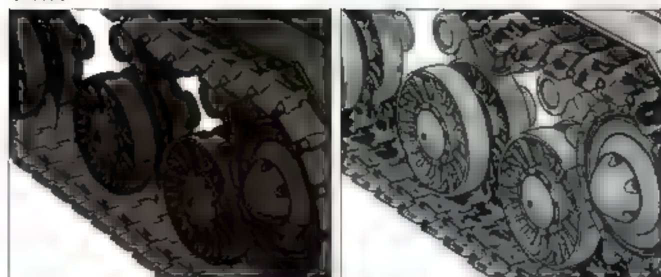
砲塔後方機銃部





リア1

転輪ハブキャップ

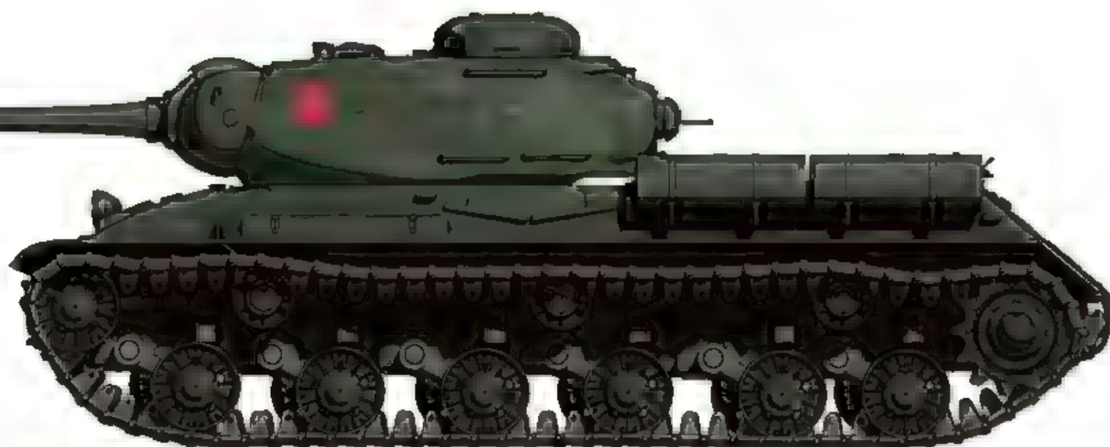


劇場版　TV版



リア2

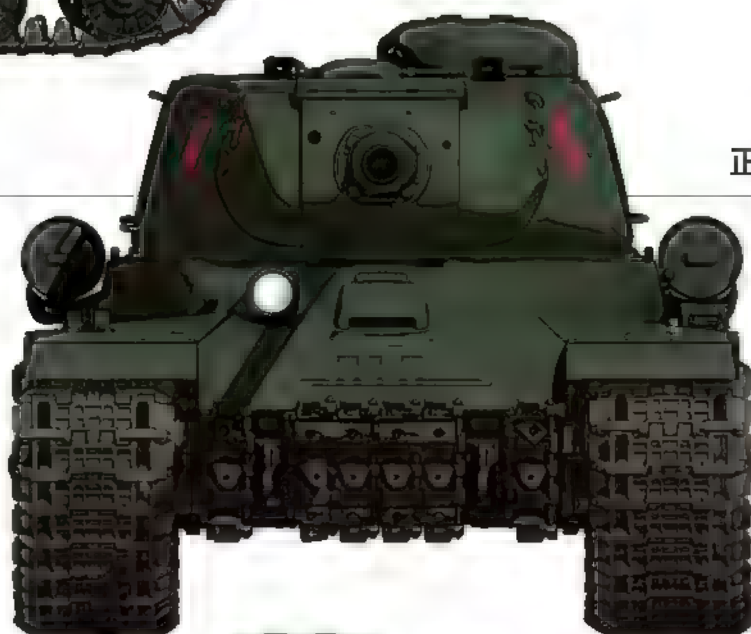
file:003
設定画



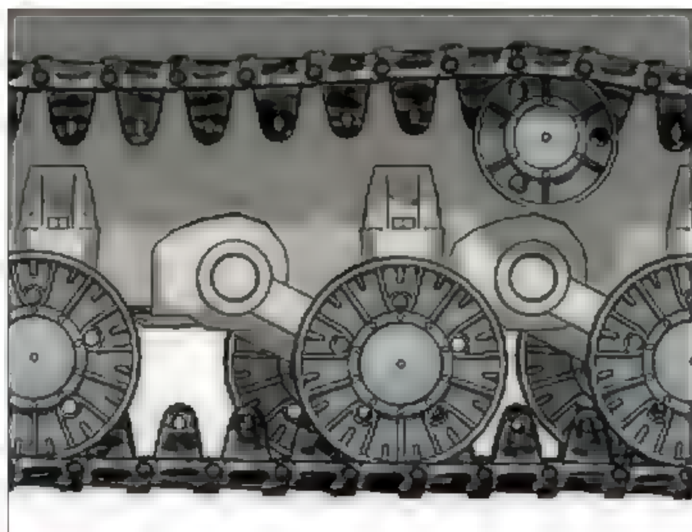
左側面



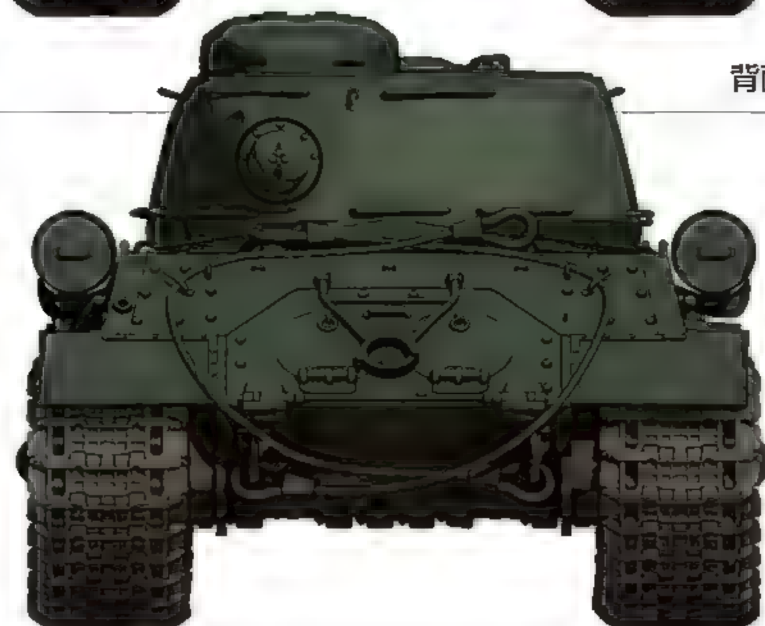
右側面



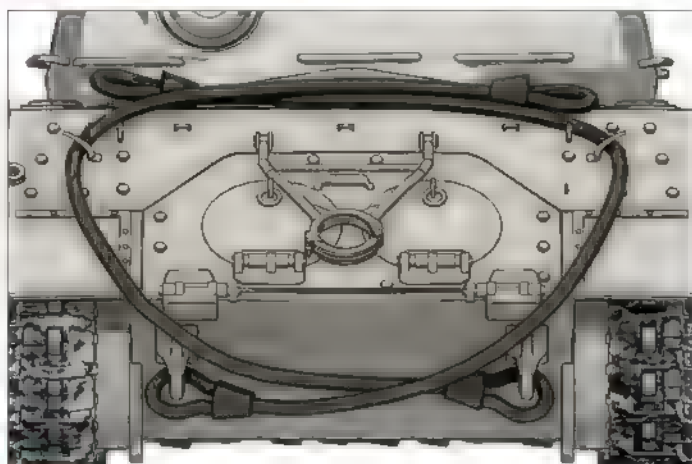
正面



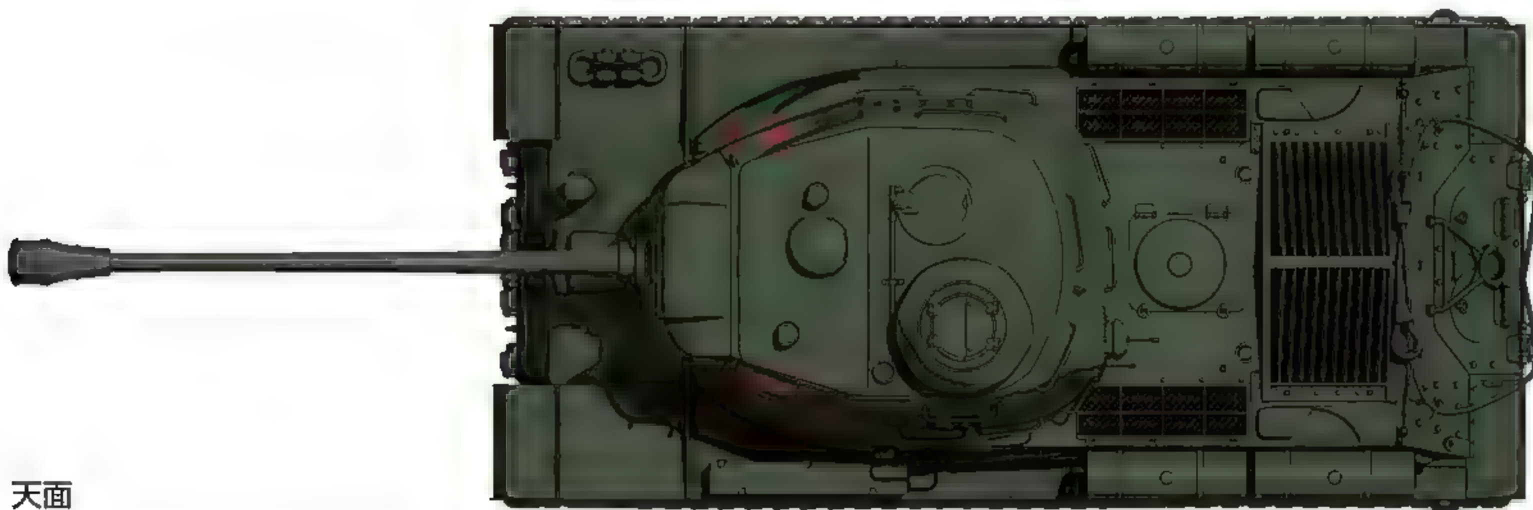
TV版 サスペンション基部

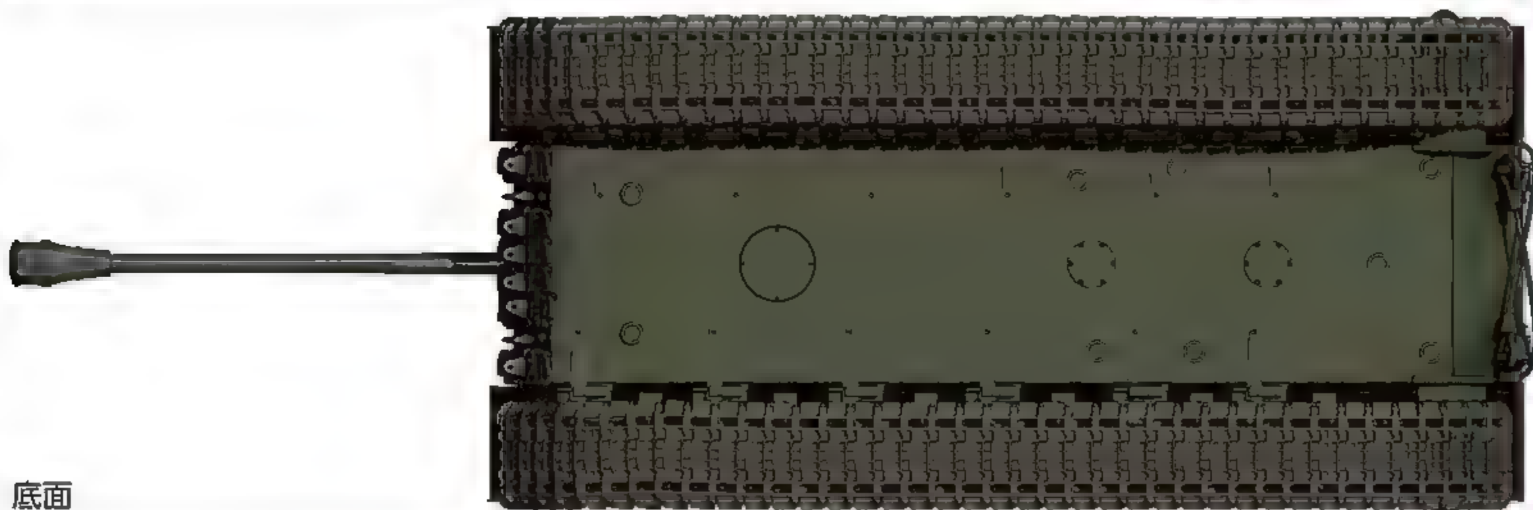


背面



TV版 牽引ロープ


天面

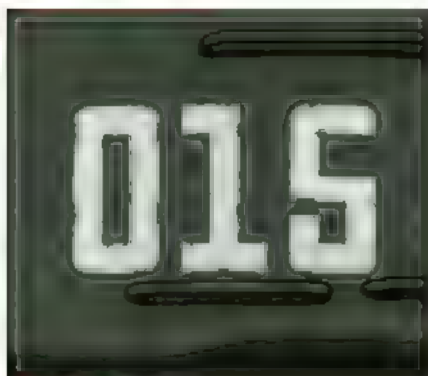

底面

砲塔ナンバー

015

最終章版／TV版


車体下部



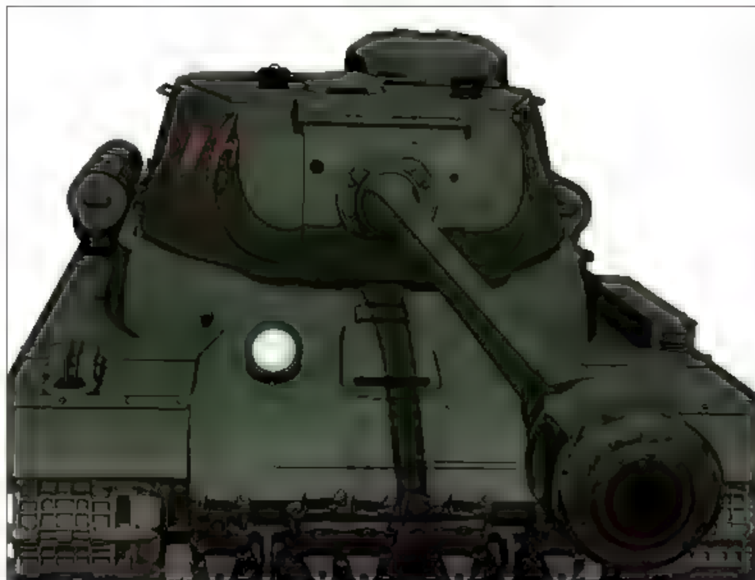
劇場版


誘導輪

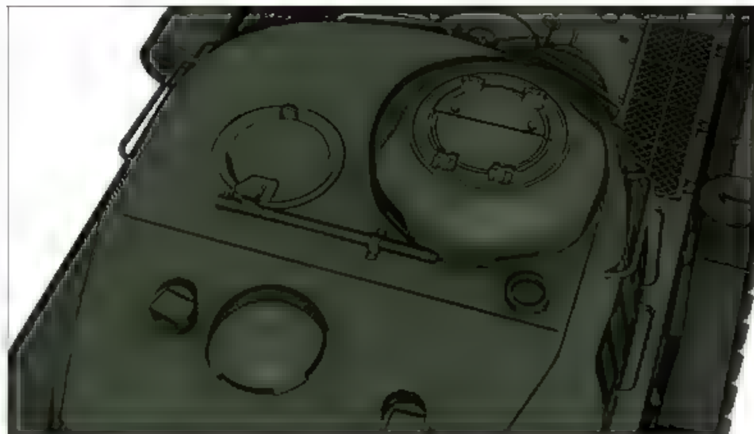

起動輪

file:003

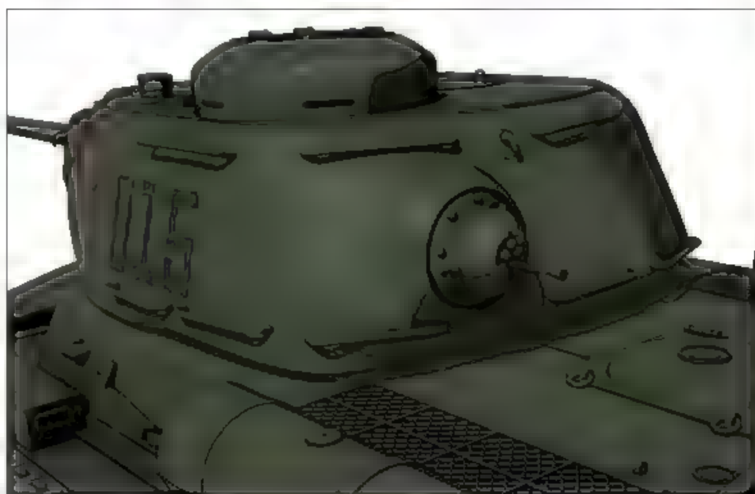
設定画



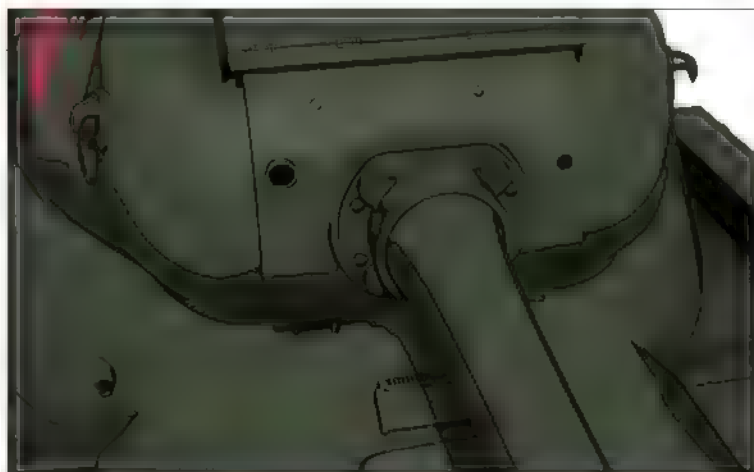
主砲



砲塔天面



砲塔後部機銃

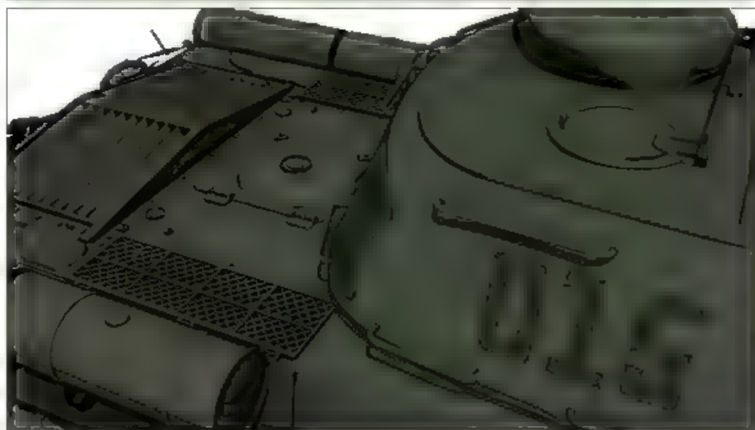


主砲基部、防盾

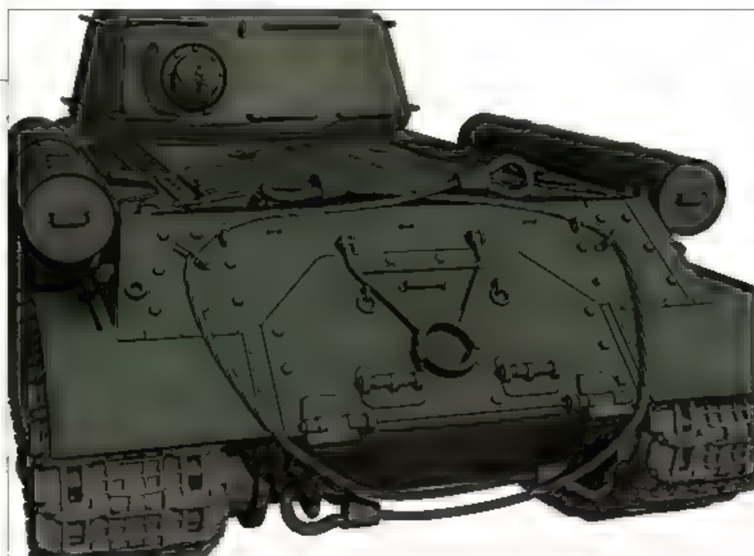




右フェンダー前方



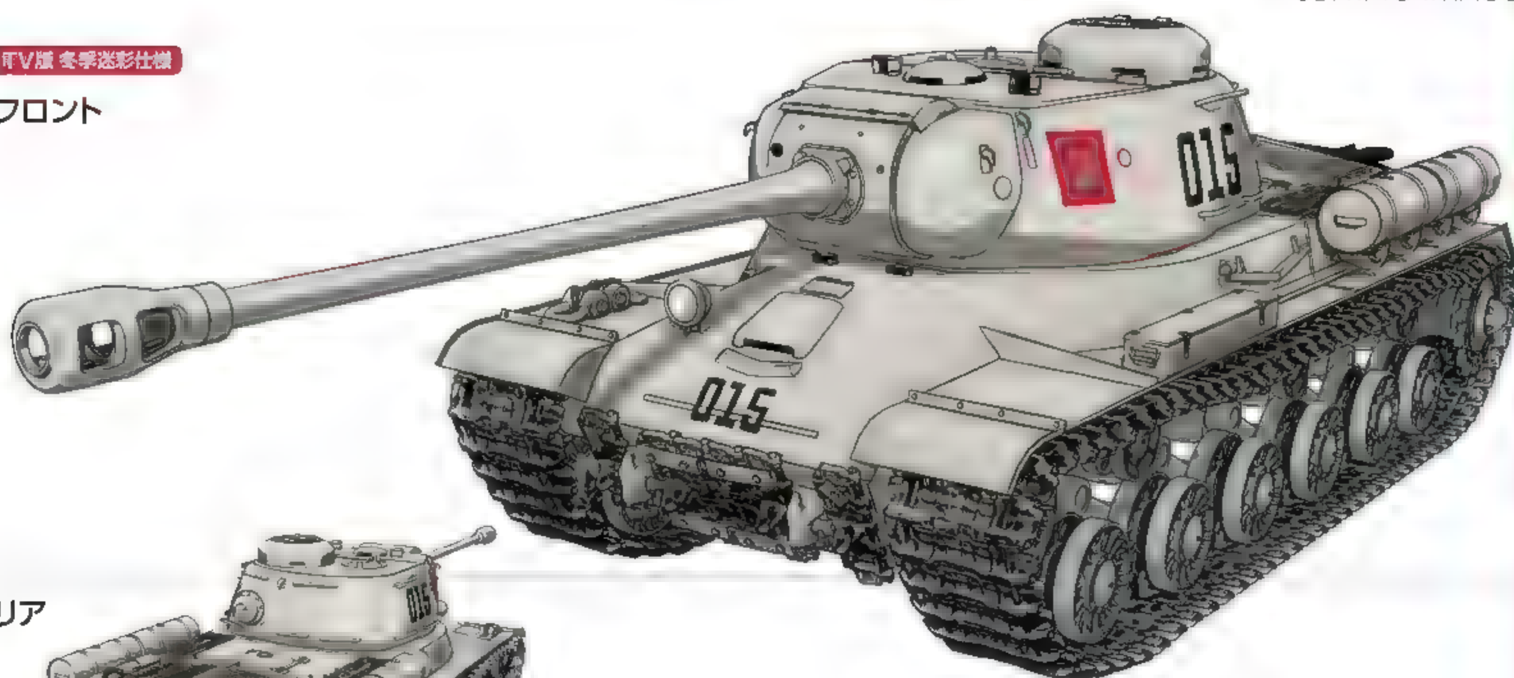
車体後方



リアパネル

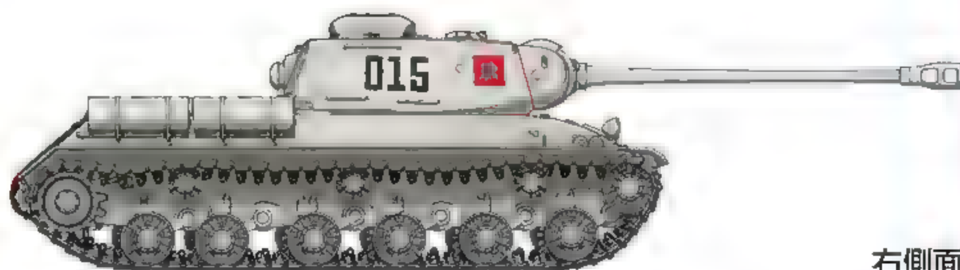
TV版 冬季迷彩仕様

フロント

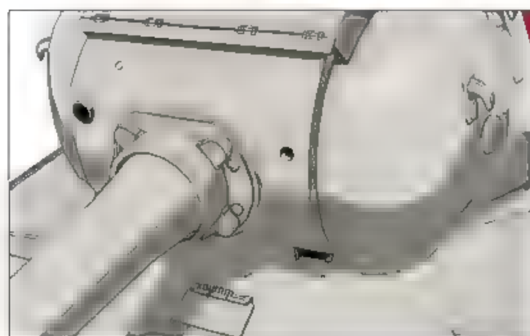


リア

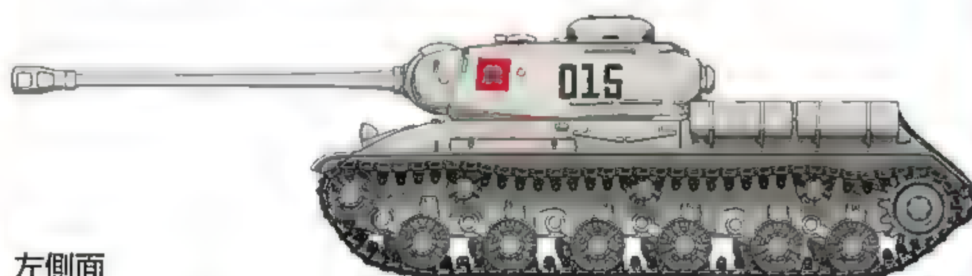




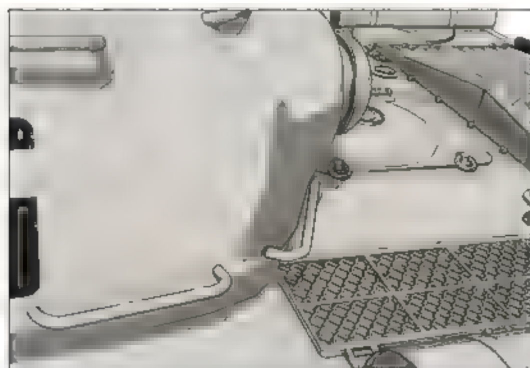
右側面



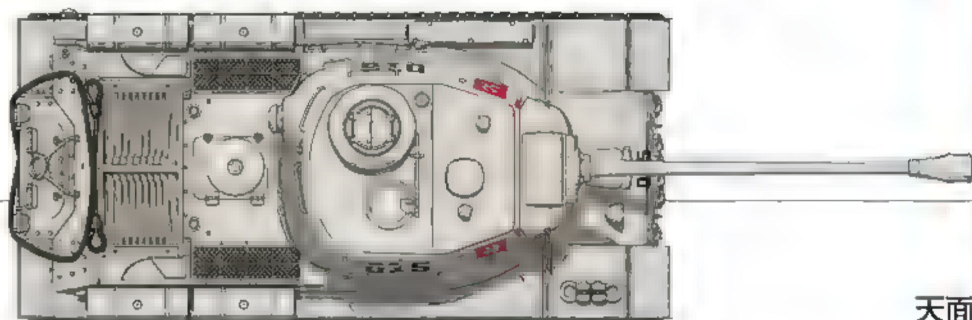
主砲基部、防盾



左側面



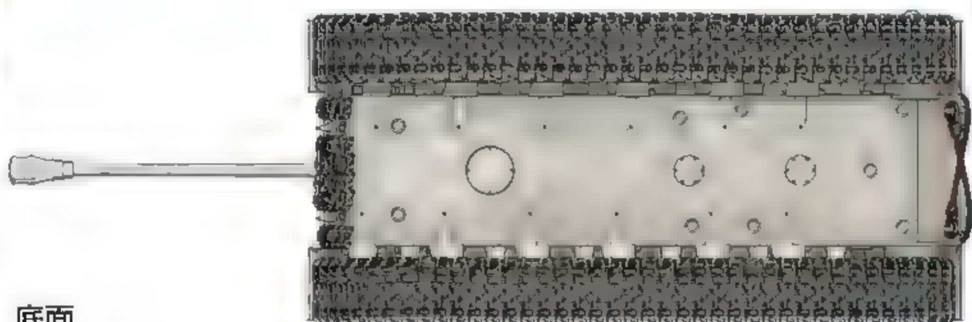
砲塔側面後方



天面



履帯



底面

file:003

劇中車製作ポイント





T-34/85と並んで、プラウダ高校のアイコン的な印象のIS-2。『ガールズ＆パンツァー』版はレイアウトが後方寄りの機関部ほか、細かな差異が非常に多い。幸い大掛かりなスクラッチを要する箇所はないので、根気よく攻略していこう。今回はプラッツの公式キットを使用した。





使用キット

ガールズ&パンツァー IS-2 プラウダ高校
●発売元／プラッツ●6380円、発売中●1/35、約19.3cm●プラキット

SK-9 JS-II/III スターリン用可動履帯(タイプA)
●発売元／モデルカステン●3850円、発売中●1/35●プラキット

point:02 車体形状をパテで変更
point:01 ヒンジ前のパーツを削る
point:01 切り欠きを埋めてハッチを円形に、手すり追加
point:03 機関室天面を6mmほど後退
燃料タンクキャップはシンプルな円盤状に
整流板を離し気味に調整
point:01 キューポラの向き変更、ペリスコープは省略
point:03 エンジングリルを改修
point:03 ハッチをプラ板で新造し段差を付ける
point:03 ルーバーカバー左右枠の変更

point:01 砲塔天面全体の改修

車長用ハッチのペリスコープはオミット。キューポラはキット指定より30度ほど向きを変えて取り付けます。監視用スリットが真正面・真後ろを向かない位置です。装填手用ハッチはシンプルな円形になっているので、切り欠き部分を埋めて整形します。小さな手すりもあるので金属線で再現。装填手ハッチのヒンジ前にある突起状の部品は削り取ります

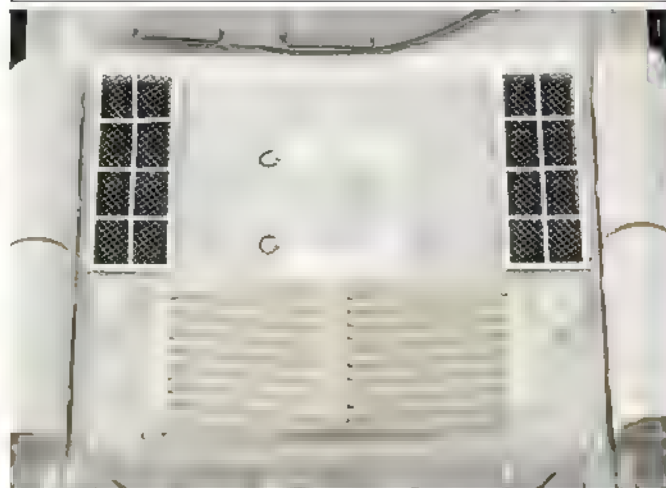


point:02 車体形状をパテで変更

車体左右とも、フェンダー支持架のすぐ後方あたりに独特の膨らみがあります。エポパテを盛り付けて整形し、このラインを再現します

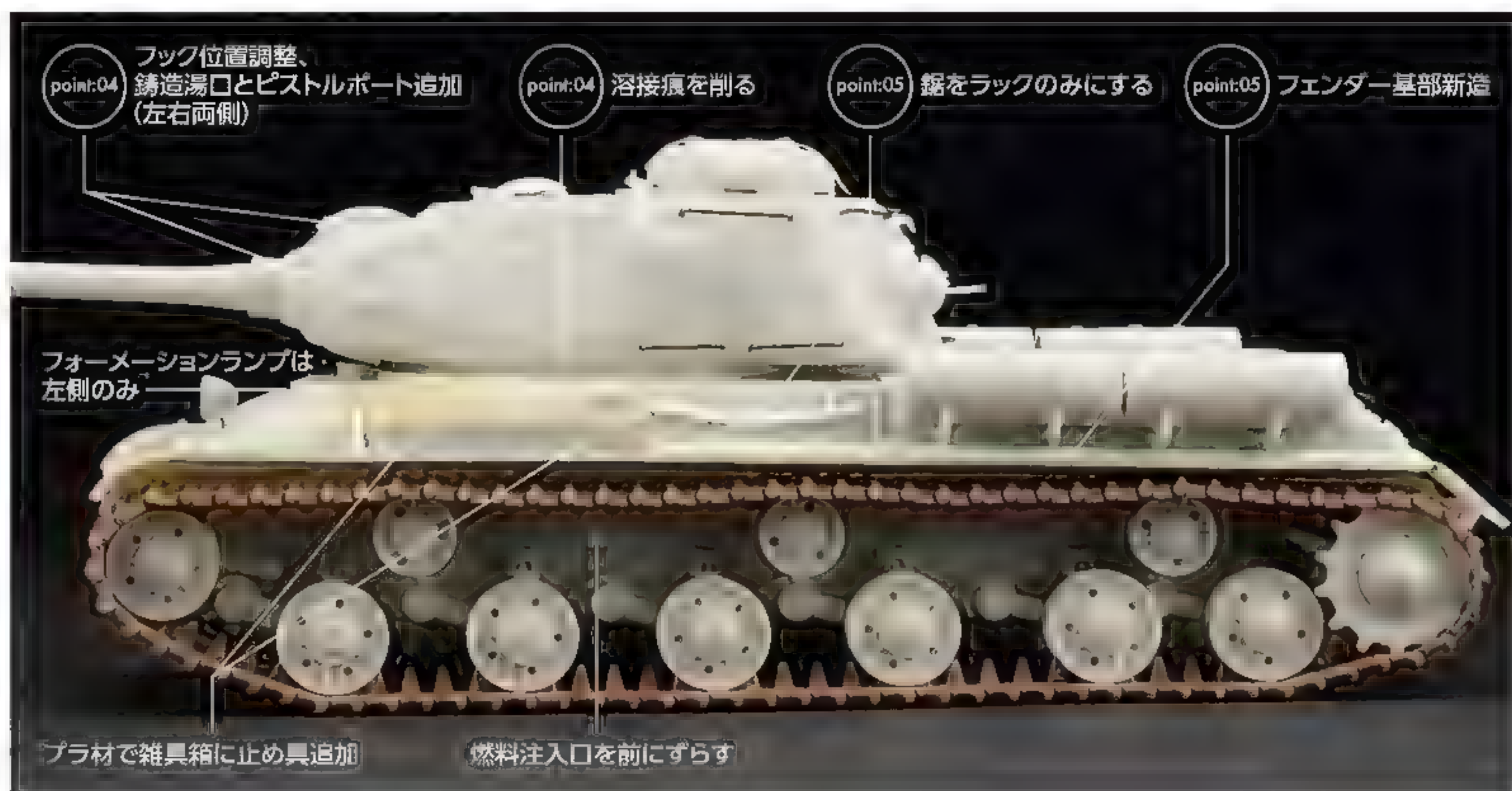


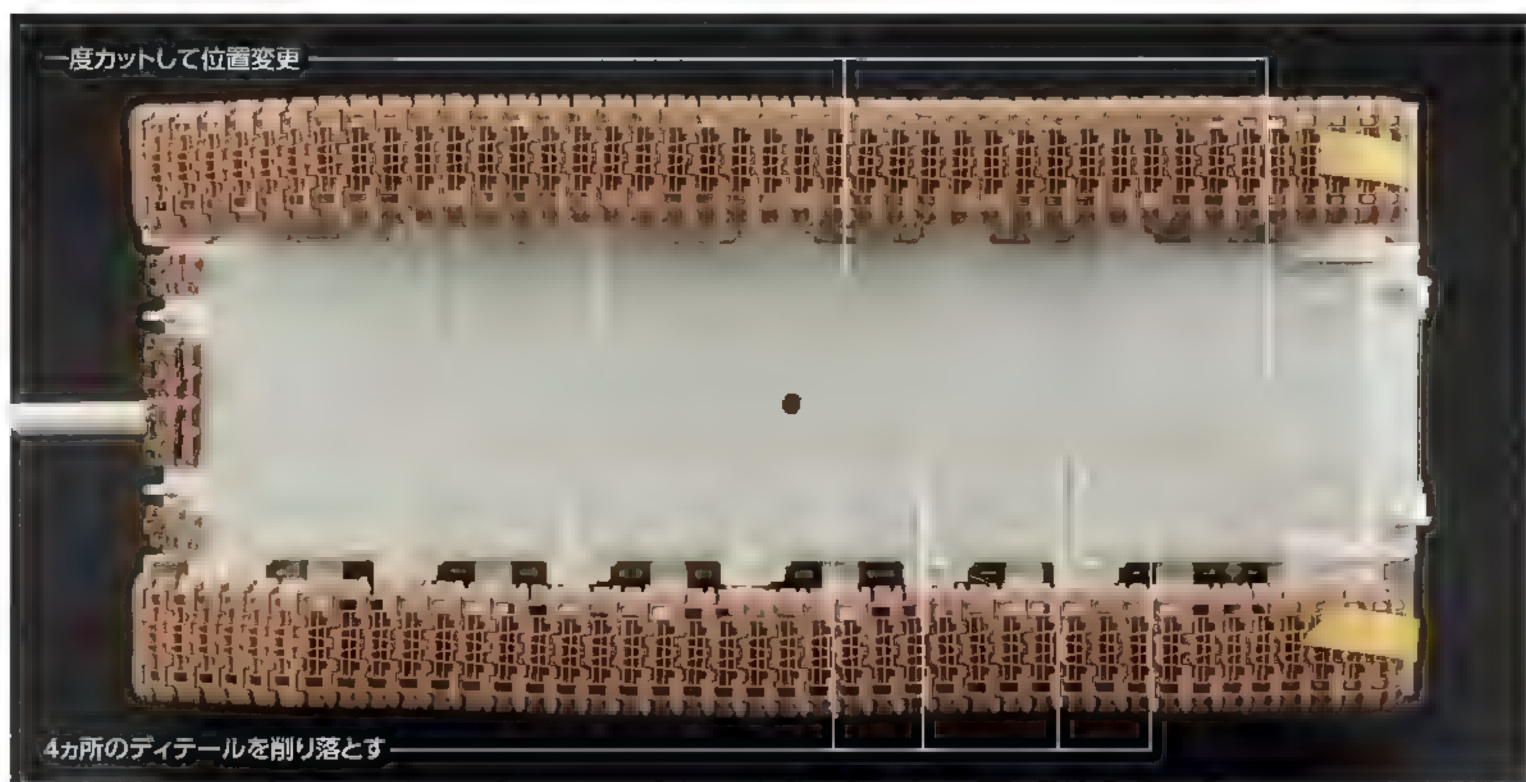
point:03 車体後方の加工



まず全体的にレイアウトを後退させます。車体後方部天面を丸ごと四角形に切り取り、ルーバーカバーが天面とリアパネルの境目に来るぐらいまで削って後方へずらします。隙間が空くフロント側にプラ板を貼り形を繋げましょう。車体左右のグリルはプラ板とメッシュで作り直し。中心のメンテナンスハッチは少し大きく1段高くなっているので、キットのモールドを移植しつつプラ板で新造。アイボルトは金属線です。ルーバーカバーは上下左右の枠の組み合わせが異なっているので、左右側をプラ材で作り直して変更。マフラーは排気口からのガイド部分が若干離れ気味になっているので、キットパーツからいったん切り落として正しい位置に接着し直します

file:003
劇中車製作ポイント





point:04 砲塔前側の加工

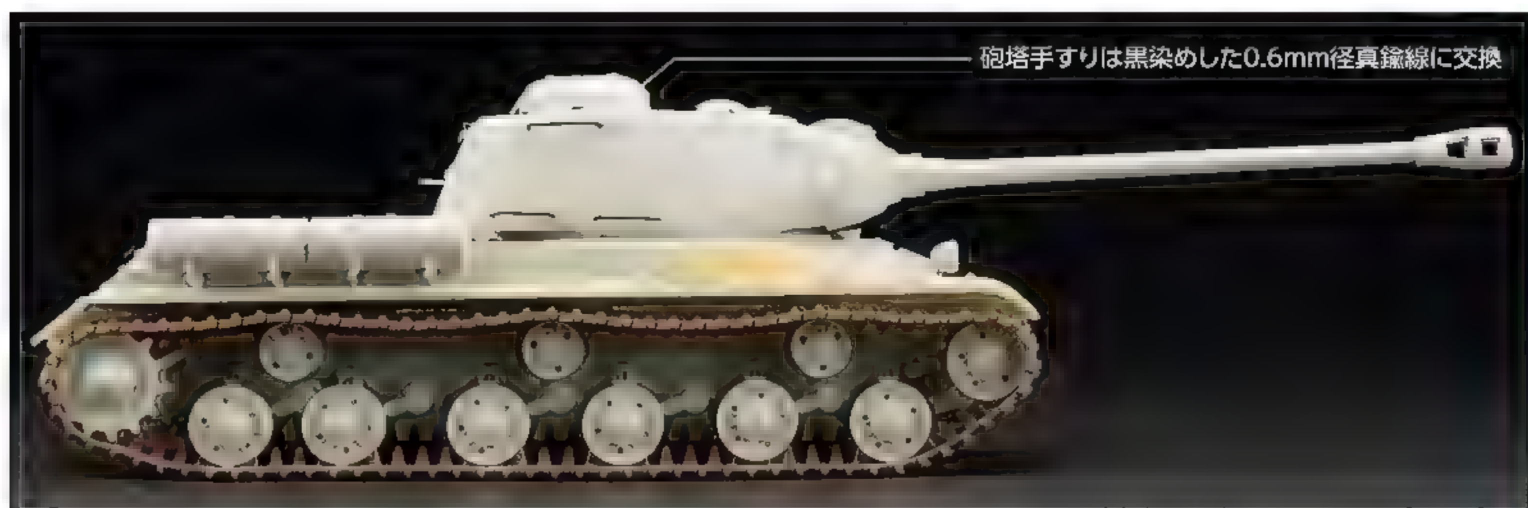
左右にふたつずつあるフックは、前側をさらに前に、後ろ側を上にずらして再接着します。加えて防盾に鋳造時の湯口、砲塔にピストルポートの〇モールドがあるので、ポンチで抜いたプラ板を貼り付けて再現。砲塔の天面から側面に走る溶接痕はすべて削り落としてなだらかにしましょう



point:05 鋸をラックのみにする／フェンダー基部新造

実車は車体左側に鋸が収められていますが、『ガルパン』劇中ではラックを残して鋸を外した状態になっています。細切りのプラ板を組み合わせてラックだけの状態に修正。車体後方のフェンダー支持架および基部はすべて削り落とし、フェンダー基部をL字型にプラ板で作り直します

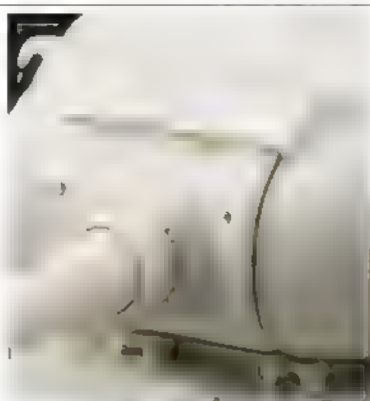




point:06 機銃口を大きく
point:06 ヒンジ状のモールド追加
機銃穴を小さく
point:06 照準器穴を小さく
point:07 フェンダー支持架新造
独特のハッチ追加
左ライト用の穴は塞ぐ
point:07 プラ板で品質管理板追加
point:07 2mmプラ板で前面のラインをなだらかに
point:07 予備履帯は履帯ピン有りの状態

point:06 防盾周辺の加工

上の防盾カバー前方にはヒンジ状のディテールが入っていますので、スジ彫りとプラ板で再現します。主砲左側の照準器穴は一度埋めてから小さく開口し直し。逆に右側の機銃口は穴を拡げます



point:07 車体前方の加工

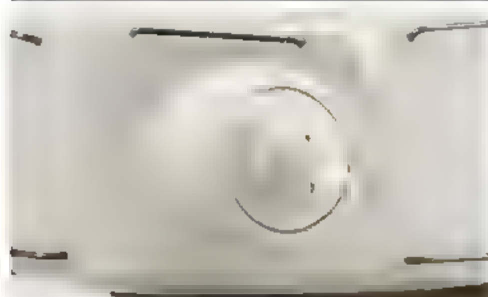
ふたつのペリスコープの前にハッチ状のパーツが、さらに先頭に品質管理板がありますのでそれぞれプラ板で追加。左右4ヵ所のフェンダー支持架も形状が微妙に違うのでプラ板で作り直し。前側の支持架はリベットが4個打たれているのでこれも忘れずに。キットの前面装甲は隙間が空いてしまいやすいのでプラ板に置き換えました。予備履帯はピン付き状態で装着します



file:003
劇中車製作ポイント

point:08 機銃ベースの修正
point:08 キューポラの向きはスリットが真正面・真後ろを向かないように
point:11 フック3個追加
point:09 スジ彫りはしっかり彫り込む
point:11 ロープ抑え追加
point:09 スジ彫り位置変更で側面装甲を厚く
point:09 フェンダーに補強追加
point:11 アイボルト追加
point:11 トラベリングロックを短く
point:10 ロープとターンバックルをスクラッチ
point:11 ヒンジ部分作り直し
point:11 牽引具の付け根をボルトなしの小さいものに

point:08 機銃ベースの修正



機銃の台座部分はキットよりモールドが少なく、機銃の付く位置も若干異なります。円形のプラ板で台座を新造し、リベットと機銃をキットから移植して再現。機銃そのものはTV版再現時にはオミットします

point:09 スジ彫り位置変更で側面装甲を厚く



リアパネルと側面装甲の継ぎ目の位置がキットよりも内側寄りです。キットの継ぎ目を埋め、内側にスジ彫りを彫り直して修正します

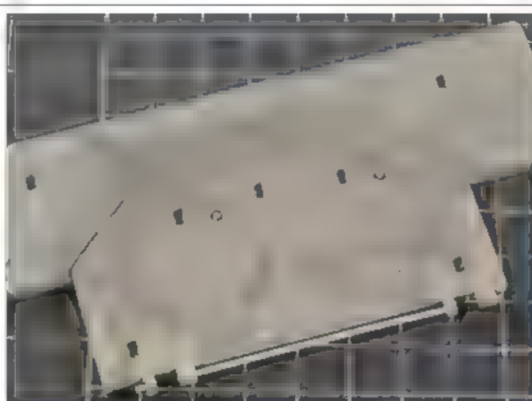
point:10 ロープとターンバックルをスクラッチ



今回使用したキットはロープとターンバックルが再現されていません。ロープはタミヤ1/35 JS 2のロープ用ヒモに、市販のバーニアパーツと1mm径真鍮線で先端部分を追加し再現。ターンバックルは0.4mm径真鍮線とプラパイプの組み合わせで製作します。これらは塗装後に取り付け

point:11 リアパネル周辺の改修

各スジ彫り部分は彫り直してはっきりさせます。上部に小さなフック、左右にロープ抑え、トラベリングロック両脇にアイボルトをそれぞれ金属線で追加。トラベリングロックはリング部分を一度切り離し、脚を短くします。円形メンテナンスハッチのヒンジは軸部分だけプラ棒で形状変更。その下のヒンジはごっそりプラ素材で作り直します。シャフトは金属線。その下の牽引具はキットパーツから付け根をカットし、小ぶりでモールドのない形状の付け根をプラ板で新造します





完成作例

プラッツ 1/35スケール プラスチックキット
ガールズ&パンツァー IS-2プラウダ高校【BATTLEダメージデカール付き】ほか使用

IS-2［プラウダ高校］

製作／山田卓司





▲車体左右の膨らみは『ガルパン』版の大きな特徴と言える点。しっかり押えておこう。車外装備品は右側の牽引具と左側の工具箱のみとなる



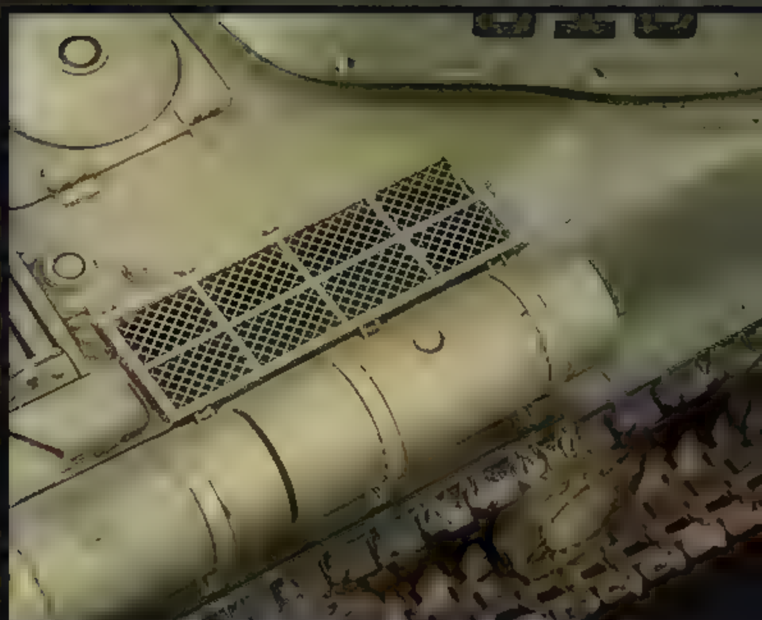


▲◀プラウダ高校におけるもう1輌の隊長車と言っても過言ではないノンナのIS-2。『ガールズ&パンツァー』版における実車との差異は、後方の細かなディテール違いが大半を占めている。容易とは言い難い箇所も散見されるので、工作が難しいと感じたら取捨選択して製作するのもひとつの手だ

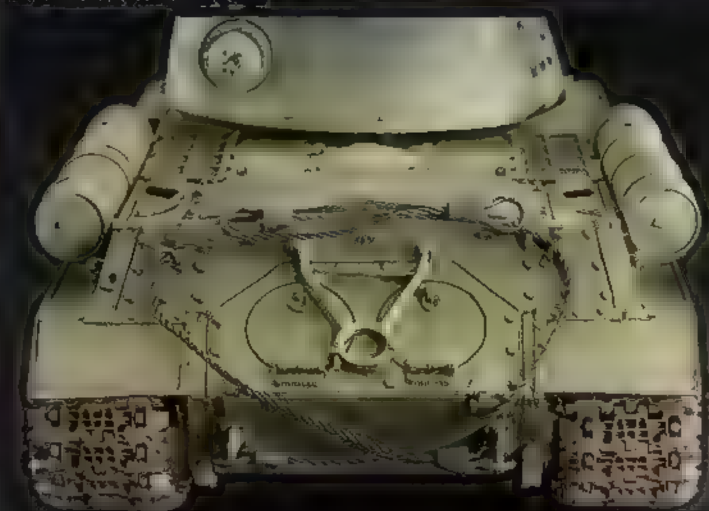
file:003
完成作例







▲グリル部分は網目が大きめになっているので、枠をプラ板で作り直しつつメッシュ素材で作り直している



▲機関室天面の位置変更にはじまり、とにかく工作点が多い後方部分。キットにないリアパネル上側のフックおよび左右のロープ抑えを追加するだけでも雰囲気はかなり近づけられるだろう

ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

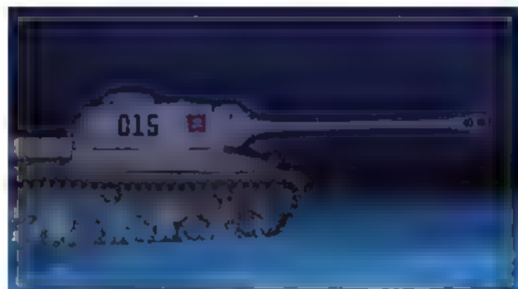
scene:01

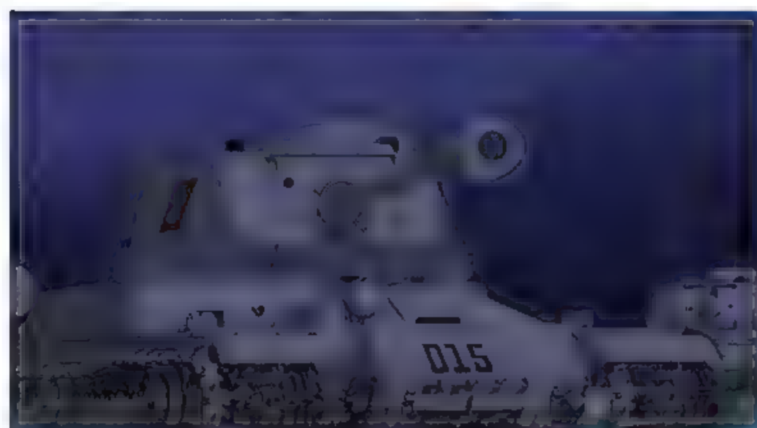
『ガールズ&パンツァー』第8話「プラウダ戦です!」および第9話「絶体絶命です!」より

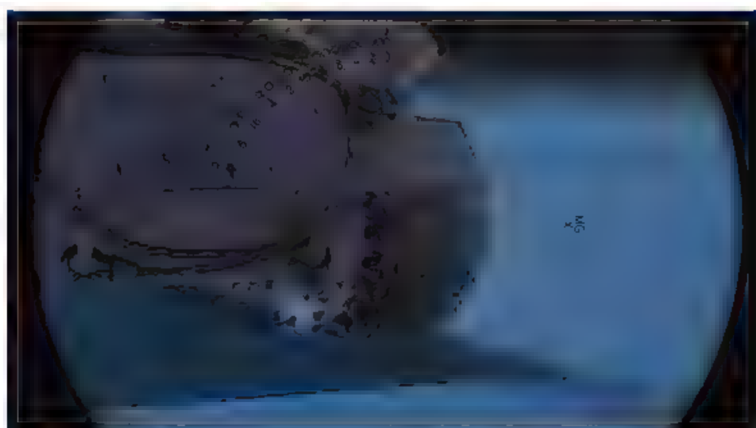
戦車道全国高校生大会準決勝

準決勝で大洗女子学園と戦ったプラウダ高校。IS-2もその中の戦力として初登場した。試合開始時ではノンナが搭乗しておらず、終盤まで目立った活躍はない。試合冒頭の隊列ではKV-2のひとつ前、最後尾から2番目を走っている。大洗がところてん作戦で反撃に出た後は、T-34/76と2輌のT-34/85とともにカメさんチームの38(t)軽戦車と交戦。危うく右履帯後方を破壊されそうになったがフェンダーに当たって免れ、この戦闘ではほぼ無傷で済んでいる。









scene:02

『ガールズ&パンツァー』第9話「絶体絶命です!」より

IS-2が真価を発揮

大洗が包囲を突破した試合終盤。大洗フラッグ車である八九式中戦車にとどめを刺すべくノンナがIS-2に搭乗。122mm砲の火力とノンナの技量により、護衛であるM3リー、ルノーB1bisを淡々と仕留めていく。丸裸になった八九式はそれでも諦めず、雨あられと撃ち込まれるプラウダの集中砲火の中を逃げ回る。IS-2の砲撃がついに八九式を捉え、走行に支障をきたすほどのダメージを与えたものの撃破はならず、さらにほぼ同時に大洗がプラウダのフラッグ車を撃破。紙一重で試合は大洗に軍配が上がった。







scene:03

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

エキシビションマッチで大洗にリベンジ

大洗とプラウダ、さらに聖グロリアーナ女学院と知波単学園も交えたエキシビションマッチが大洗の街を舞台に開催された。聖グロとタッグを組んだプラウダは、ゴルフ場で自チームフラッグ車のチャーチルMkⅦを包囲している大洗を挟撃すべく、防衛線を突破して進軍する。この試合で参加したのはカチューシャ車とクラーラ車を含む3輌のT-34/85、ノンナのIS-2、ニーナたちのKV-2、3輌のT-34/76。KV-2は海岸線で待ち伏せのためゴルフ場では参戦していない。





file:003
ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

scene:04
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

VS重戦車キラー?

エキシビションマッチは市街地での戦いに。敵の挑発に乗らず、徹底してフラッグ車であるⅣ号戦車H型を追い続ける聖グロプラウダ連合。逃げ回るⅣ号を援護しようと、最後尾を走っていたIS-2を阻むようにウサギさんチームのM3が躍り出た。夏の大会決勝戦でヤークトティーガーを仕留めた、主砲を反らした状態で密着するという戦法で挑む。が、あの時のような快挙が何度も続くわけもなく、ノンナの冷静な対応で主砲を反らすどころかゼロ距離射撃の状態に。反撃もできず、盛大に吹っ飛びながら撃破されてしまった。



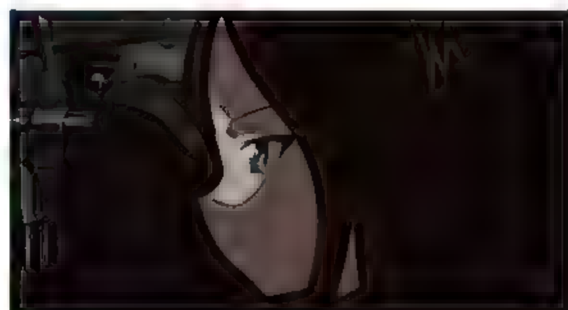



scene:05
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

待ち伏せる敵も鼻歌交じりで

Ⅳ号を囮に敵主力を誘導した大洗知波単連合は、大洗市役所前に戦力を集中させて待ち伏せる。しかし聖グロプラウダ連合側はIS-2を先頭に出し、重装甲と火力でじりじりと前線を押し上げていく。ロシア民謡の「1週間」を鼻で歌いながら、ポルシェティーガーに照準を合わせるノンナが印象的だ。TV版ではほとんど見れなかった、車内の鮮明なディテールも注目ポイント。

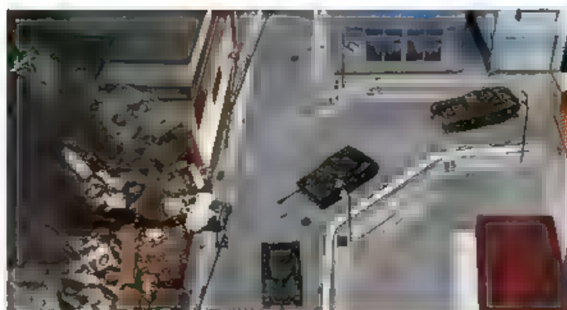
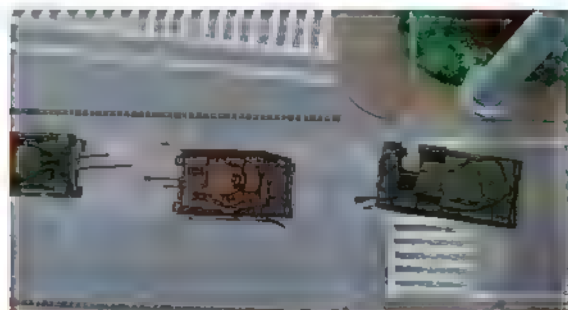
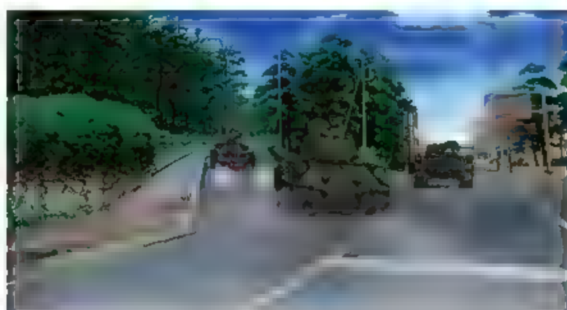




scene:06
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

Ⅳ号を執拗に追撃、そして決着

肴屋本店前を通過した後でダージリンと別れ、ノンナはカチューシャと協力してⅣ号をさらに追い込む。道を巧みに利用して挟み撃ちに持ち込むが、すんでのところでⅣ号は大洗磯前神社に逃亡。境内から海岸線、そしてアクアワールド・大洗へと追い続け、最終的にはチャーチルがⅣ号を撃破し聖グロプラウダ連合が勝利した。

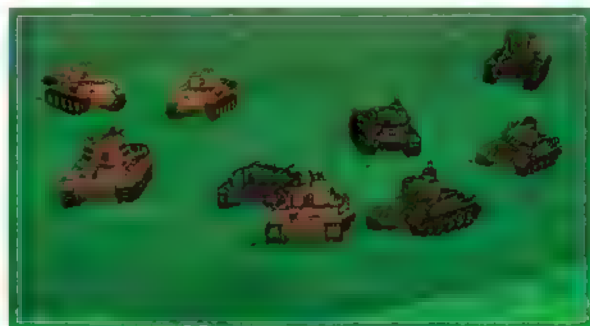

scene:07

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

大洗の危機にプラウダ推参(一番乗りではないですが)

大学選抜チームとの厳しい試合に臨む大洗にプラウダも加勢。カチューシャとクラーラのT-34/85、ノンナのIS-2、ニーナたちのKV-2が参戦する。序盤は4輌とも重戦車中心のひまわり中隊に所属。戦略的に優位になる中央高地を確保する。

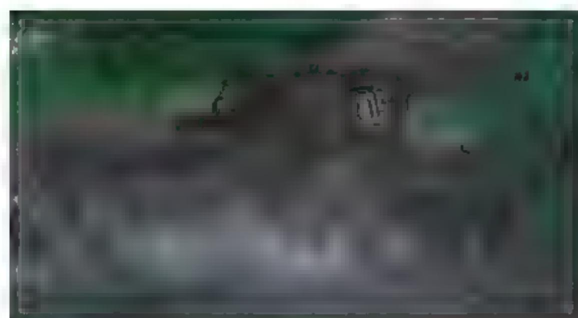


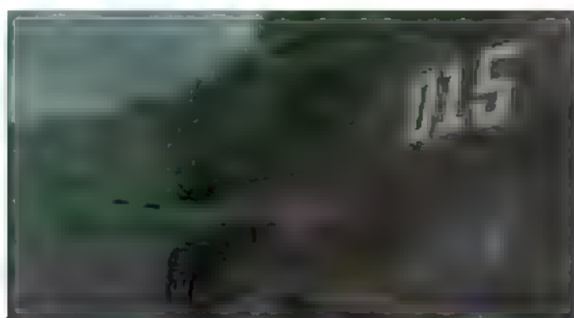


scene:08

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

「貴方はこの試合に必要なかたです」

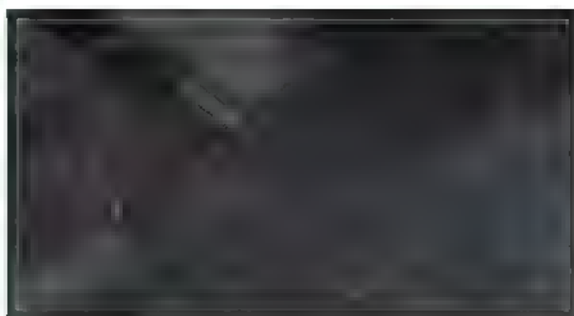












敵の罠に嵌り、中央高地で謎の遠距離砲撃と敵包囲という2重の危機に晒されるひまわり中隊。敵主力の横腹を抜け、たんぽぽ中隊との合流を目指すことに。最後尾で敵に狙われたカチューシャ車を守るためクラーラ車が犠牲となり、なおも続く追撃からKV-2がさらなる盾となる。仲間を見捨てられない、と逃げずに戦おうとするカチューシャ。このままでは彼女まで撃破されてしまう。ノンナはIS-2を反転させカチューシャの前に急行。戦線への割り込みざまにパーシングを1輌撃破する。さらに手近なパーシングに半ば体当たりして進撃を防ぎ、カチューシャに撤退を乞う。密着したパーシングからの機銃掃射で左の予備燃料タンクが火を吹き、さらにその影から別のパーシングが射線を通してIS-2を狙う。ノンナは自分に向けられた砲口を照準の中で冷静に見据え、相打ちになりながら2輌目のパーシングを撃破。カチューシャは苦渋の撤退を決意し、プラウダ車3輌の犠牲をもってひまわり中隊は逃げ延びるのだった。試合開始早々に強力なプラウダの戦力をほぼ失うというショッキングな展開だが、この時のノンナの言葉どおり、生き延びたカチューシャが大きな戦果を挙げていくことになる。

scene:09

『ガールズ&パンツァー 最終章』第2話および第3話より

無限軌道杯での戦い

冬の無限軌道杯。プラウダは第1回戦でヴァイキング水産高校を破り、第2回戦で黒森峰と戦う。高地にて待ち伏せながらの攻撃で黒森峰の戦力を削る作戦は大きな効果を見せた。しかし相手側の予想外の動きによりプラウダのフラッグ車が急襲され、当初の優勢から逆転勝利されてしまうことに。なお第1回戦の冬季迷彩は最終章版のCGモデルにTV版と同様の塗装とマーキングを施したもの。





KIT CHOICE
製作におすすめのアイテム

item:01 タミヤ ソビエト重戦車 JS-2 1944年型ChKZ

▼タミヤの1/35キット。デカールこそ別に必要ではあるが、組みやすさ、入手性、価格など他の点では非の打ち所がない。工作面についても作例とほぼ変わらない内容となるはずだ

ソビエト重戦車 JS-2 1944年型ChKZ
●発売元／タミヤ●4620円
●1/35、約28.2cm●プラキット




※画像は『ガールズ&パンツァー』仕様に近くなるよう、本来の組み立て指示とは異なる組み方をしています



▶エンジングリルのメッシュ部分はエッチングパーツ製。設定では網目がもっと大きいので再現にこだわる場合は使えないが、非常に精密感がありなんとも捨てがたいところ




◀履帯はなんとベルト式と連結組み立て式を選択できる贅沢な仕様で、連結式のほうは誘導輪側のたるみを再現するための治具も完備。各転輪はすべてポリキャップ接続で後ハメも非常にしやすく、足周りがたいへん秀逸な設計のキットとなっている



item:02 モデルカステン MGデカール



◀本書発売時点で最新のガルパンデカール。プラウダ高校のほか、「最終章」第3話を盛り上げた各校の校章（とⅢ号戦車のあのマーキング）が収録されている

MGデカール
ガールズ&パンツァー デカールVol.9
●発売元／モデルカステン●1650円

file: 004

P40

[アンツィオ高校]



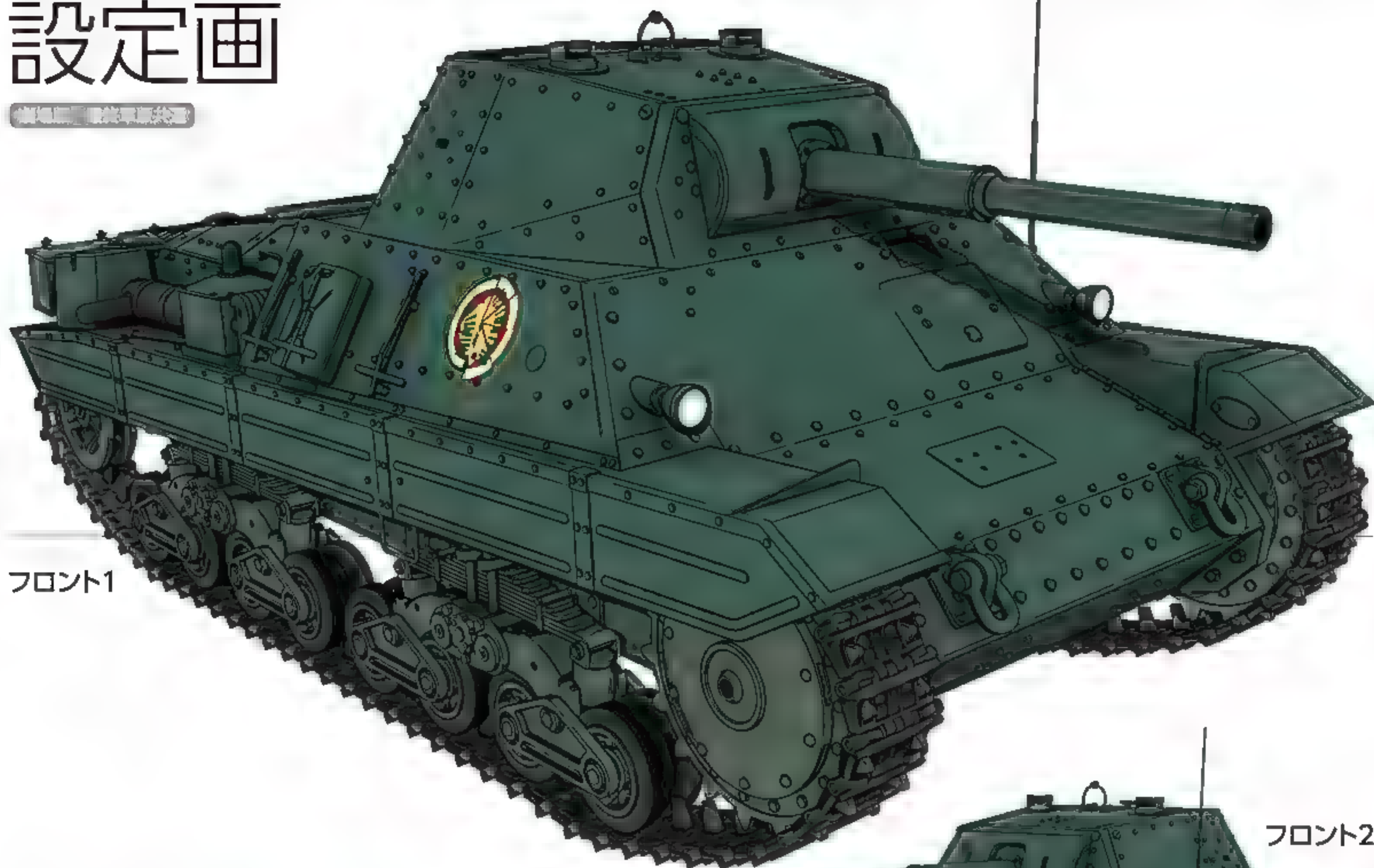
Carro Armato P40

(P40 Heavy Tank)

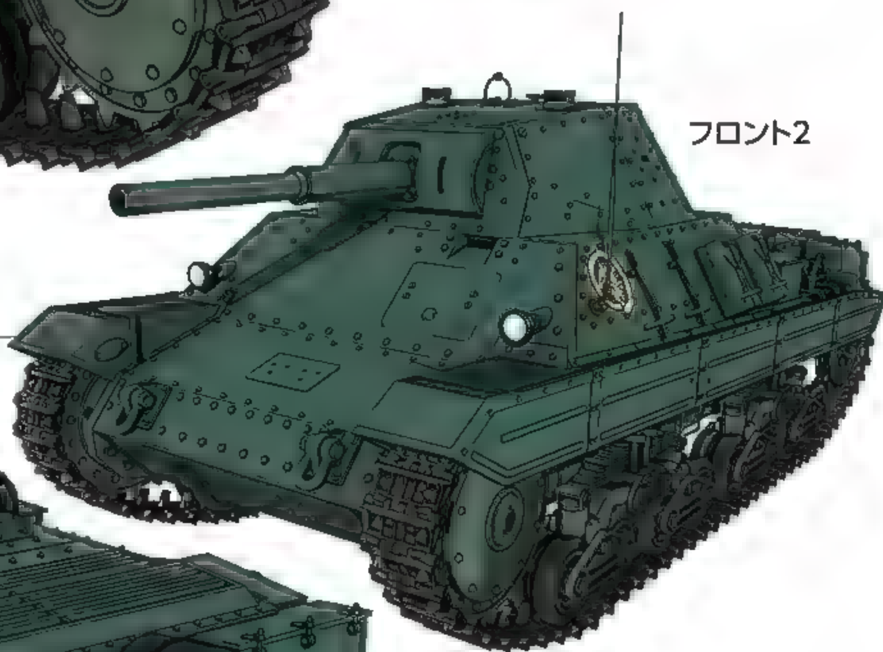
[Anzio Girls' High School]

PLATZ 1/35 scale plastic kit
modeled & described by Takuji YAMADA

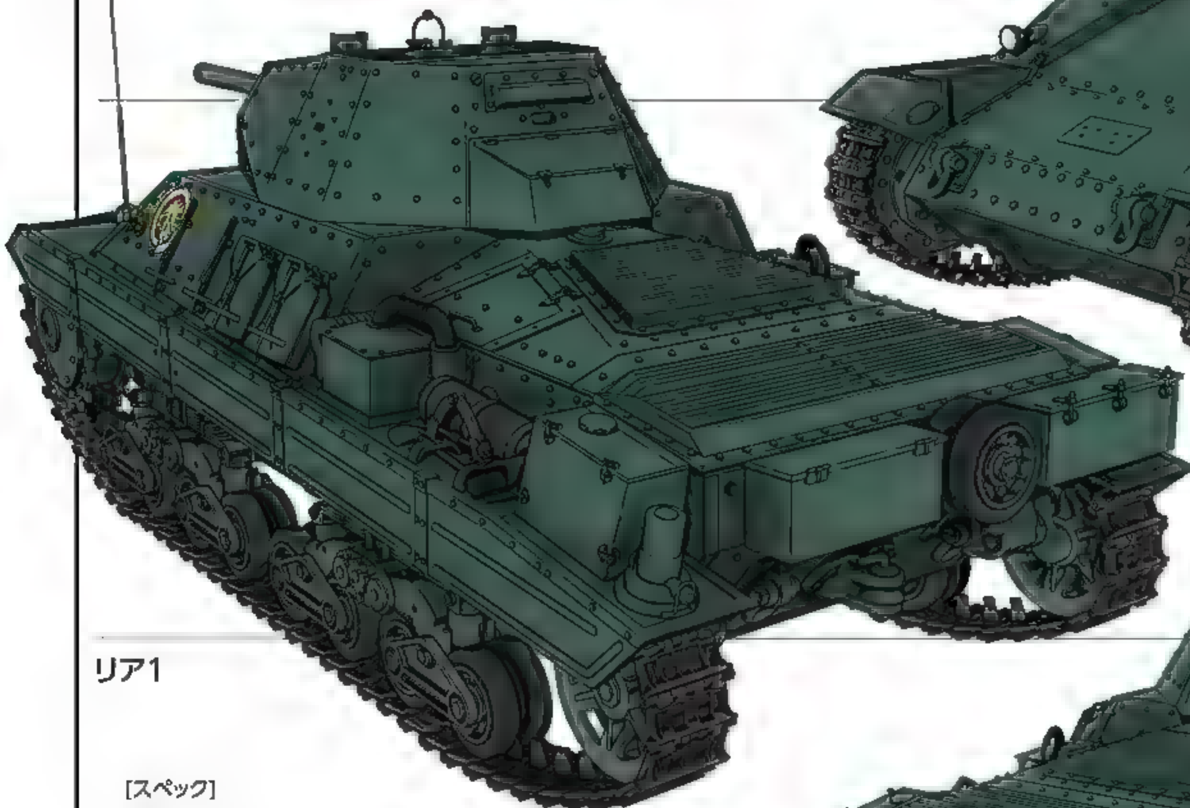
file:004
設定画



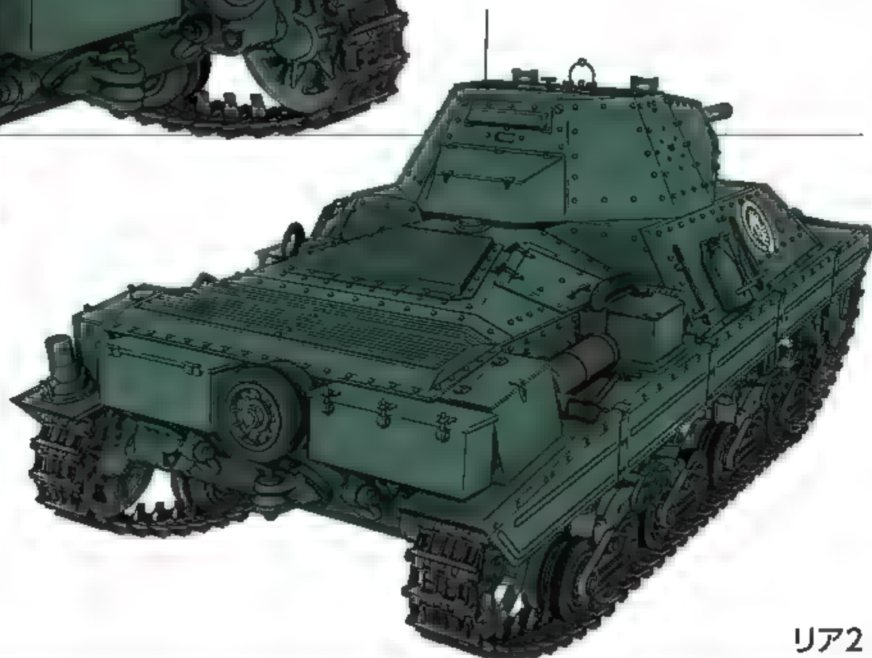
フロント1



フロント2



リア1

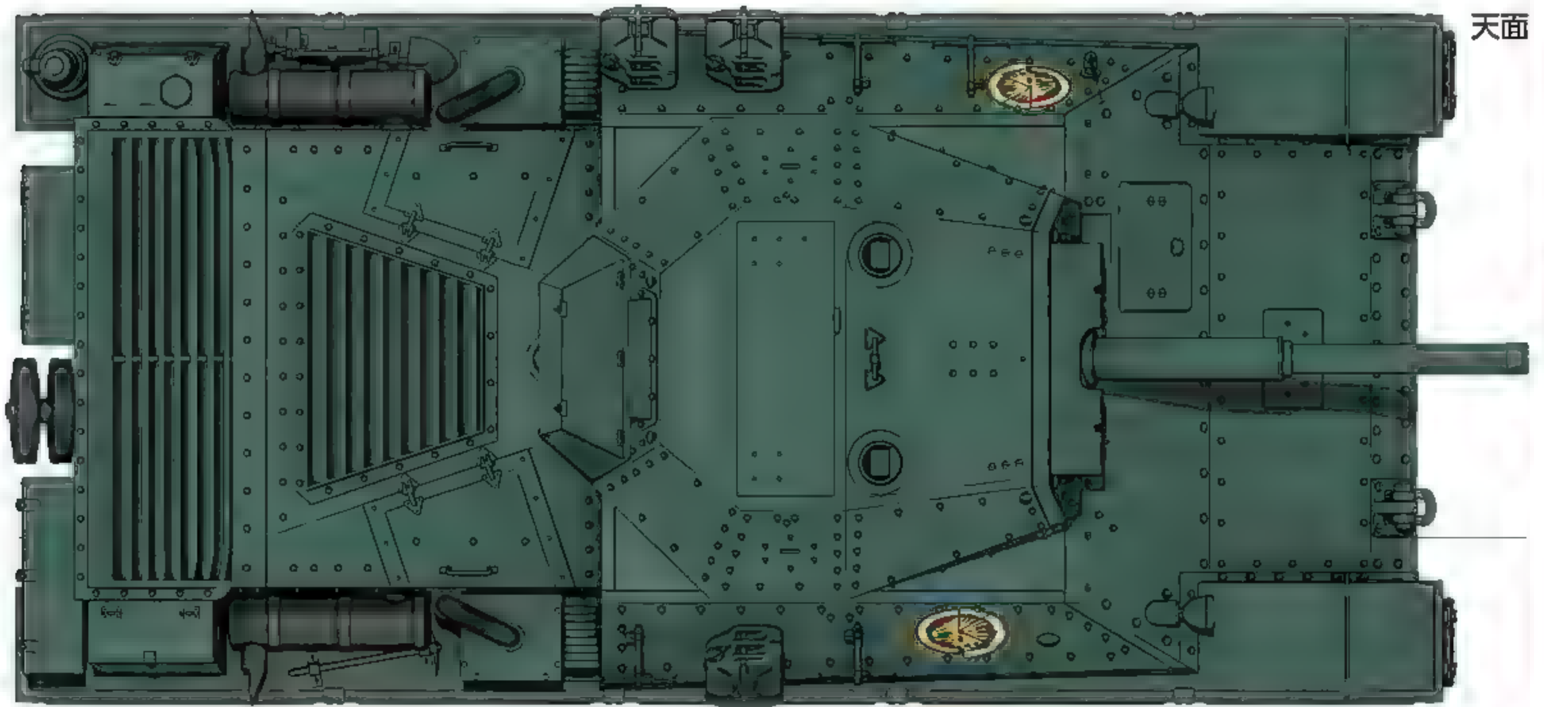


リア2

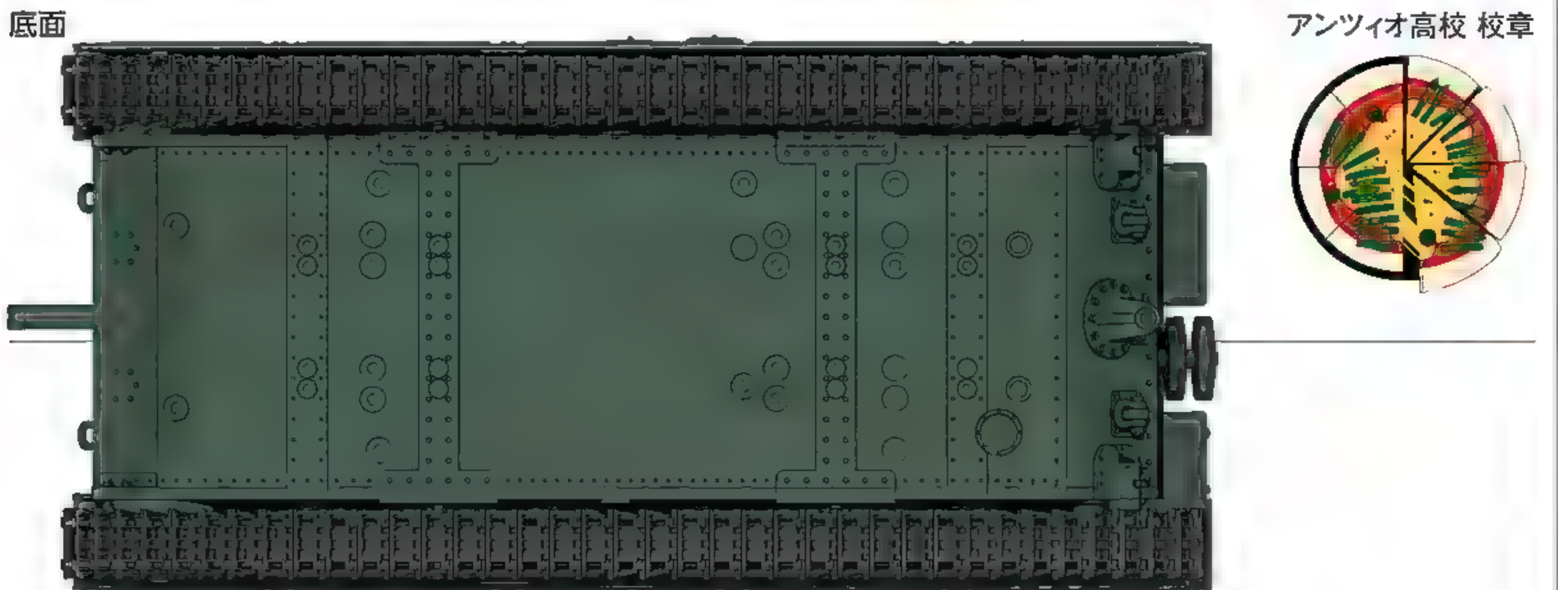
[スペック]

国籍	イタリア
製造	フィアット・アンサルド社
乗員	4名
エンジン	フィアットSPA 342型 V型8気筒液冷ガソリン
重量	26.0t
全幅	2.80m
全高	2.52m
履帯幅	40cm
超壕能力	2.5m
渡歩水深	1.0m
変速機	前進5速後進1速
最高速度	40km/h(路上)/25km/h(不整地)
航続距離	150km
主砲	34口径75mm砲(主砲弾63発)
副武装	8mmブレダM38型機関銃×1
装甲	20~50mm
生産数	約100輌

天面



底面

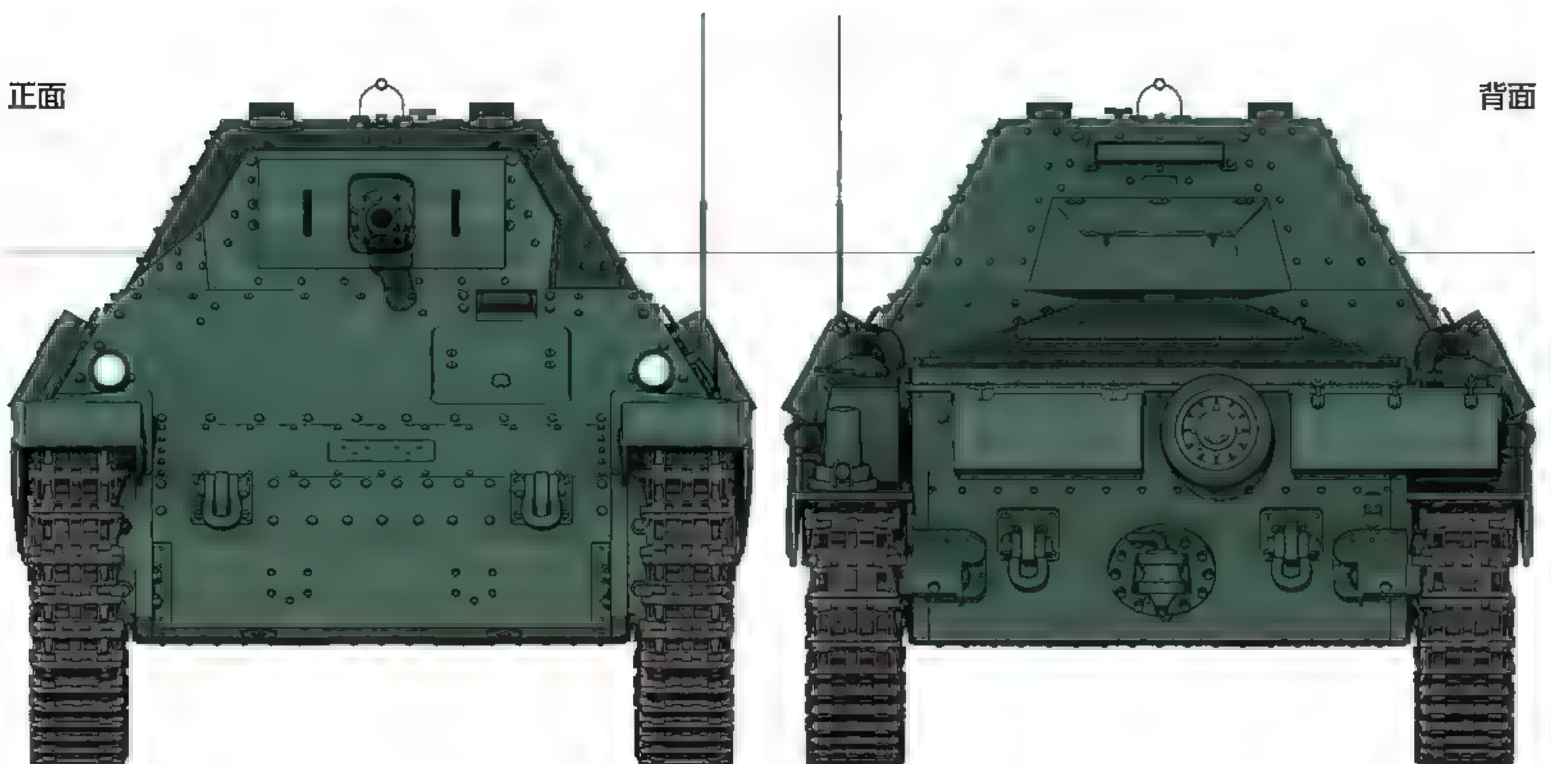


アンツィオ高校 校章



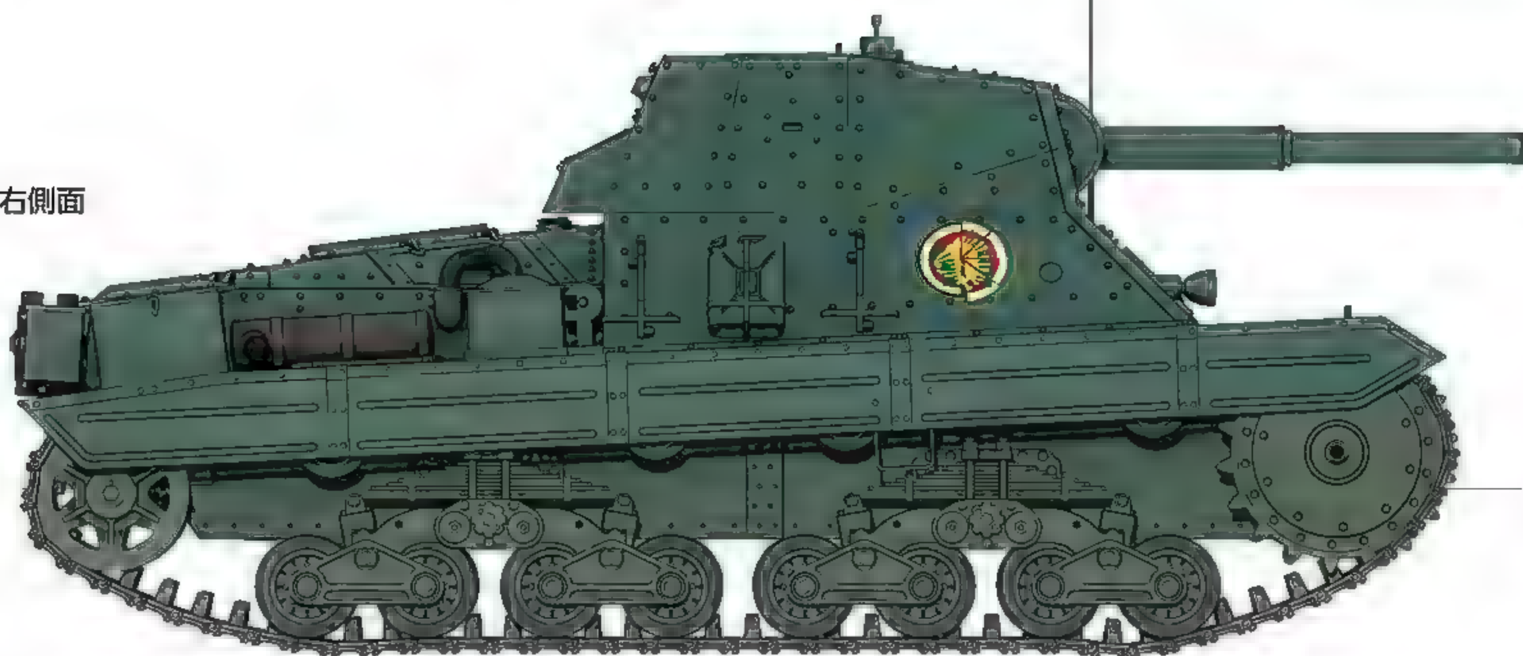
正面

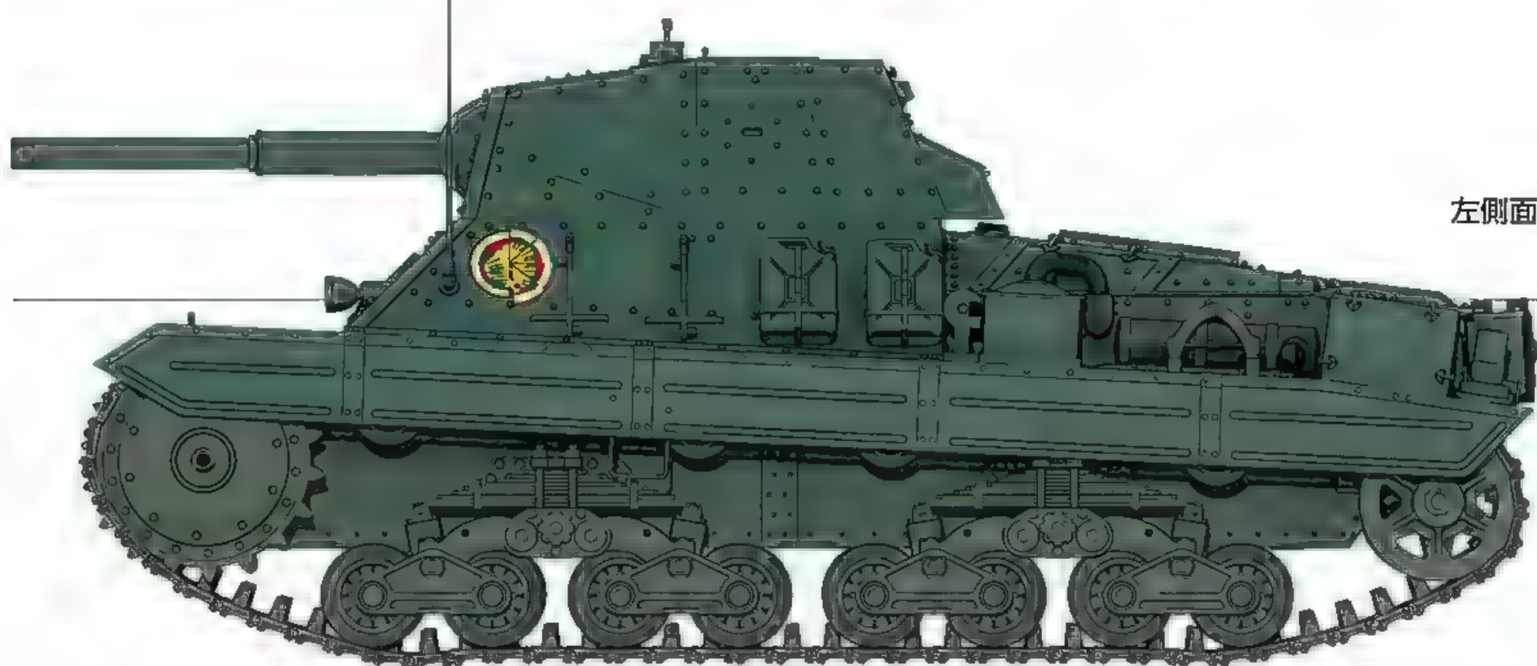
背面



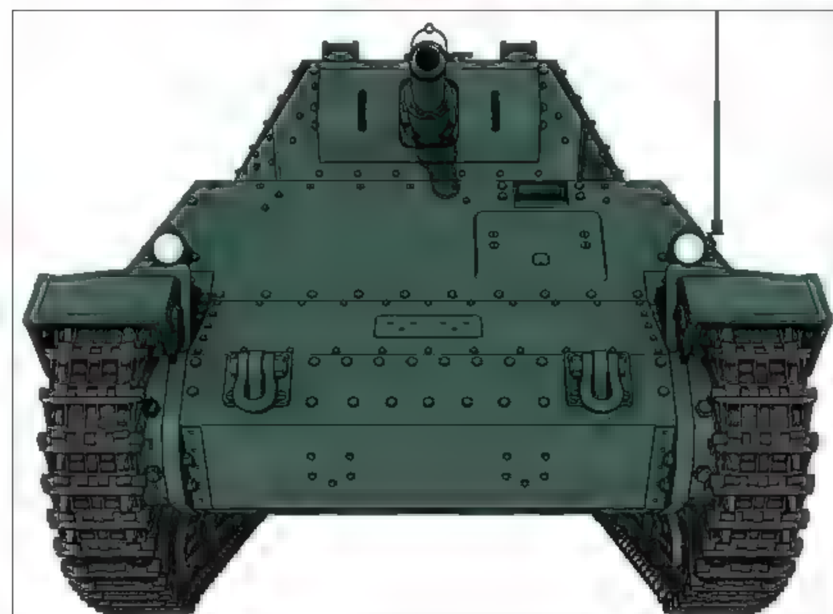
file:004
設定画

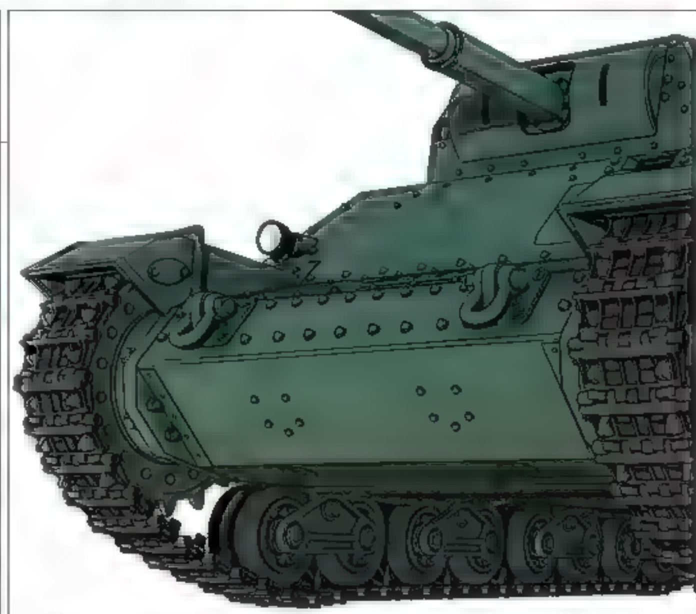
右側面



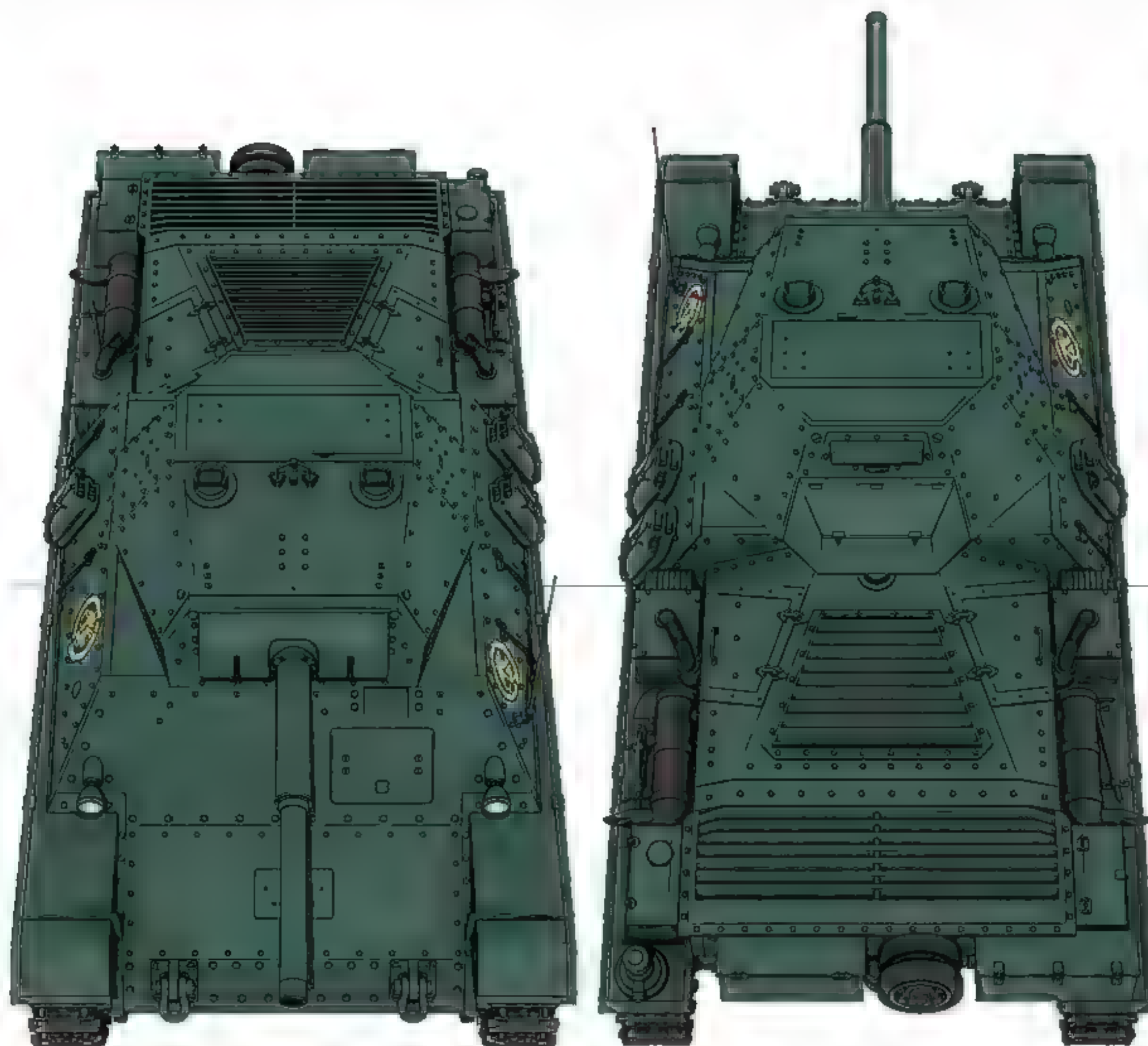


左側面



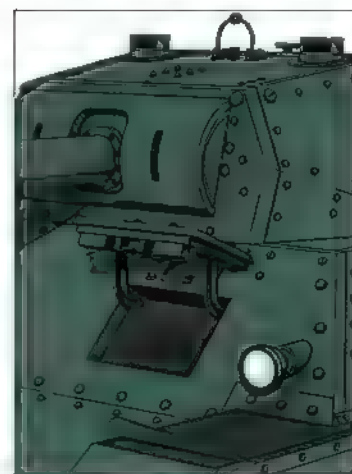


車体前方 下部

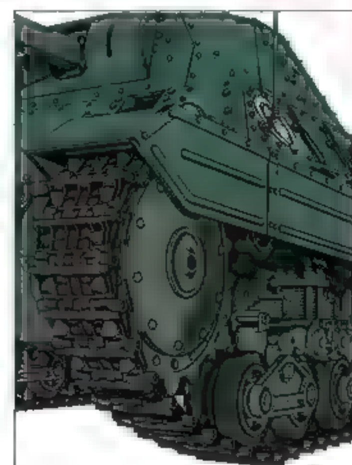


車体前方 俯瞰

車体後方 俯瞰



操縦手ハッチ 開

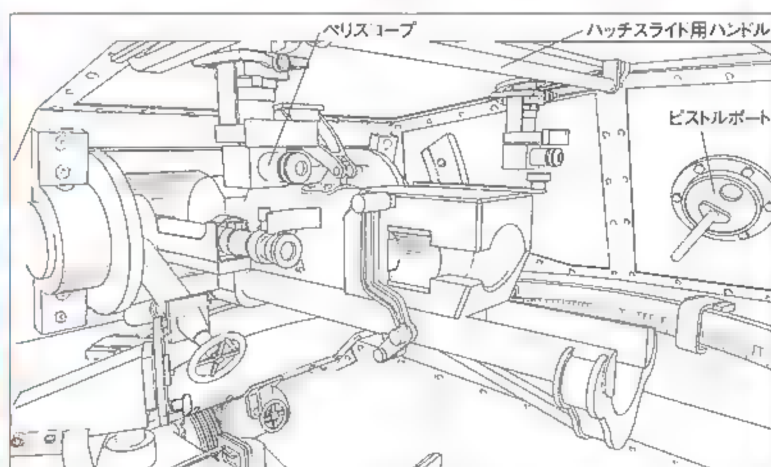


転輪、履帯

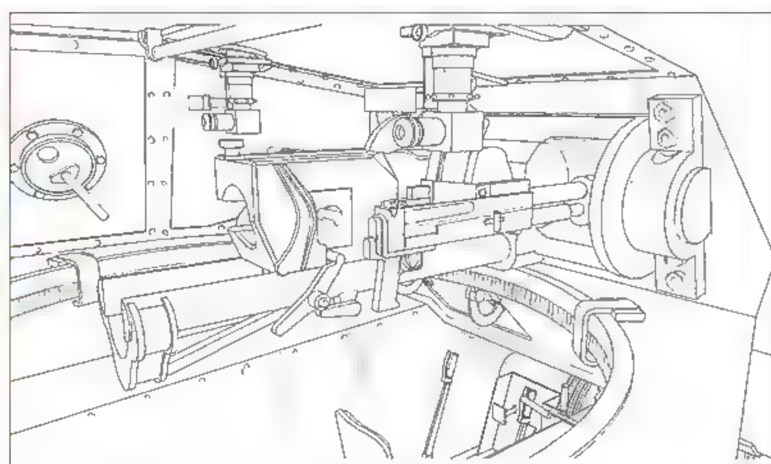




フラッグ形状、対比
『ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!』より)



砲塔内部 左側より



砲塔内部 右側より

file:004
劇中車製作ポイント





アンツィオ高校の切り札ことP40型重戦車。『ガールズ&パンツァー』版最大の特徴は実車と砲塔形状の解釈が異なっていること。天面などの作り直しなど手間のかかる工作が必要となるが、砲塔は戦車の顔とも言える部位であり、全体の印象にも関わるのでしっかり再現したい。他にも実車とサイズや形状が異なるパーツが多く、複数の箇所で新造が必要となっており、本書掲載の車輌の中でもかなり手強い部類の戦車となっている。キットはプラッツの公式キットを使用した。



使用キット

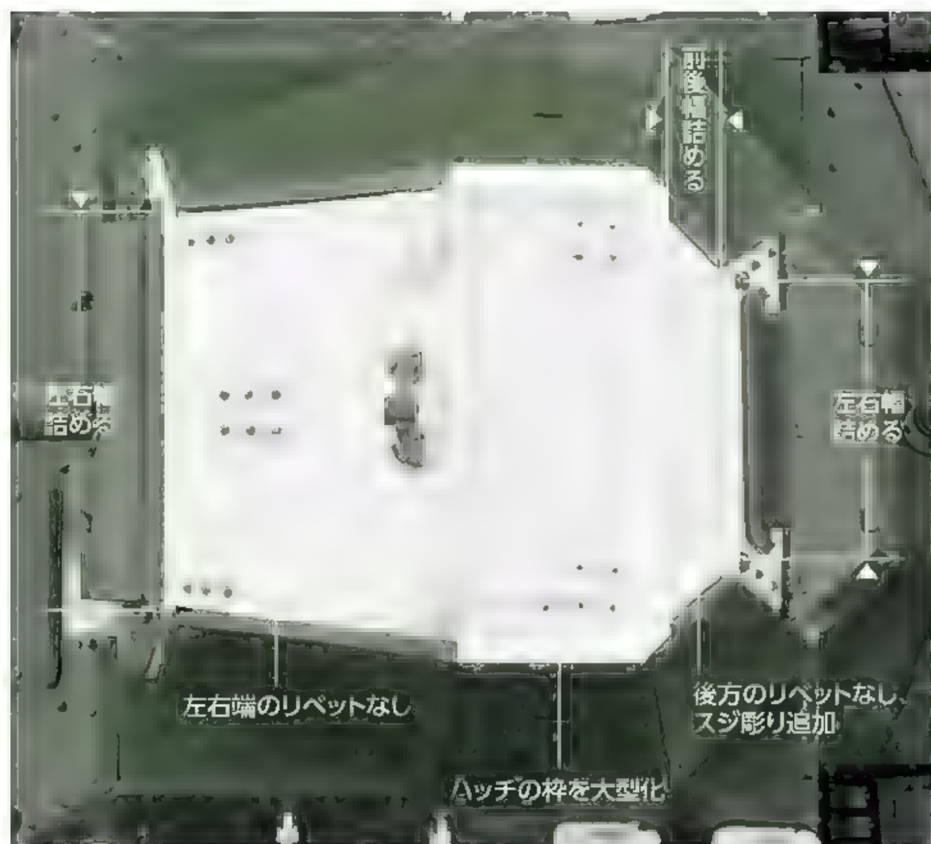
ガールズ&パンツァー 最終章 P40型重戦車 アンツィオ高校
●発売元／プラッツ●5720円●1/35、約16 5cm●プラキット

point:01 砲塔の形状変更
point:01 ペリスコープを大きく作り直し
point:01 T字のハンドルを小さく作り直し
point:01 工具箱の前後幅を詰める
機関室側面のリベットを上側にズラす
フェンダー側の取り付けリブを削り取る

point:01

砲塔の改修

変則的な八角形型の砲塔ですが、『ガルパン』版は実車よりも前後にすぼまるような形状となっており、大幅に形状変更が必要です。設定画どおりに前後の辺の左右幅と、後ろ側の前後幅を詰めた形に天面を作り直し。側面の各装甲も面ごとに切り分け、角度を変えて天面に合わせて調整していきます。リベットの一部がなくなる、ハッチの枠が大きくなって天面と側面装甲の継ぎ目を跨ぐ、後方にスジ彫りが入る、など細かな差異も多いので注意して作業しましょう





両側のペリスコープはキットよりひとまわり大きいのでプラ材で作り直し。機銃架はそのまま流用しています。正面装甲は天面の形状変更に合わせて左右幅を詰め、プラ板を貼り足して厚くしました



側面後方の装甲はプラ板で作り直し。天面についているT字型のハンドルも作り直して小型化します。リベットなどのモールドはキットパーツから移植しました。工具箱は前後幅を詰めて小型化。蝶番のモールドはキットのものを移植します

file:004
劇中車製作ポイント

point:02 アンテナの新造

point:03 ジェリカンとラックの作り直し

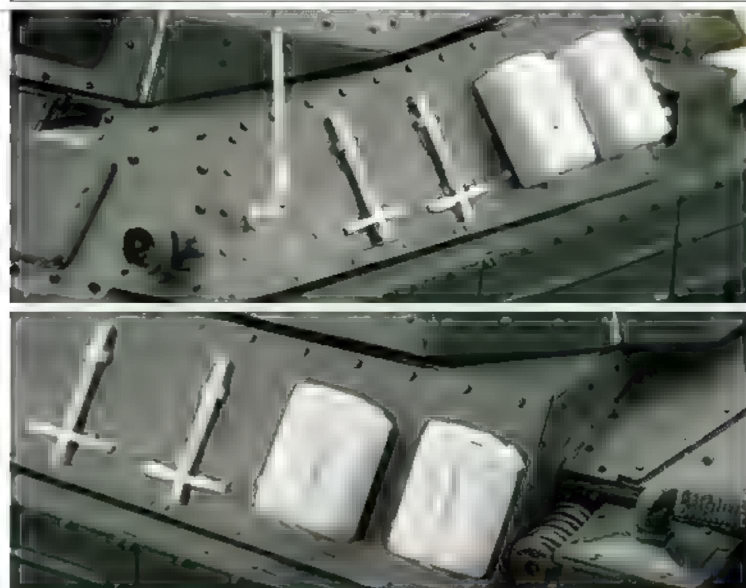
車体両端下側のリベットを上にズラす

point:02 アンテナの新造

アンテナは基部形状が大きく異なるので、金属線とプラ材ですべて自作。ちなみにフラッグ車になる際はこのアンテナに旗が付きます



point:03 ジェリカンとラックの作り直し



ジェリカンは実車よりも小ぶりのものが積まれているので、市販パーツのディテールを参考にしつつすべて自作。左右で合わせて3個必要です。キットにはエッチングパーツでジェリカンラックが再現されていますが、『ガルパン』版では表面に段差がないフラットな十字型となっているのでこれも自作



point:04 足回りの工作点

フェンダーに付いている手すりは片足が長い形状ですが、『ガルパン』版だと左右で足の長さが同じなので金属線で作り直し。サスペンションの支持架は、穴の位置がキットより外側で、下側の凸モールドがないのが『ガルパン』版です。穴は一度埋めて開け直し、凸部は削り取って再現しました



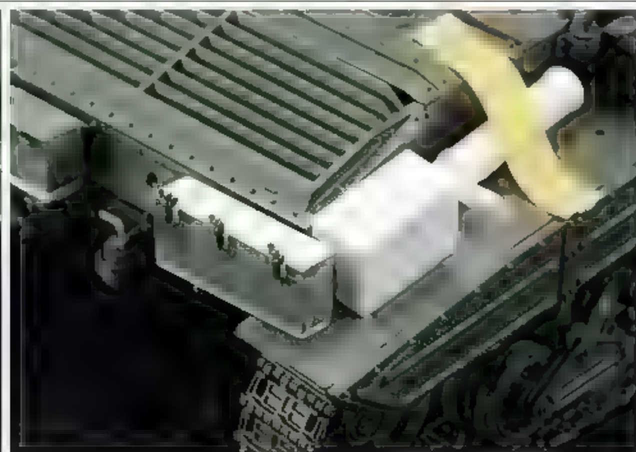
point:05 工具箱を作り直し
point:05 マフラーを大型化
point:04 サスペンションの穴を位置変更
point:04 手すりを形状変更
point:04 支持架の凸部を削る

point:05

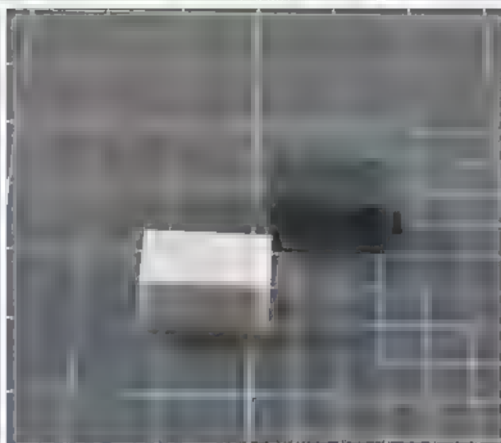
マフラーと工具箱の作り直し

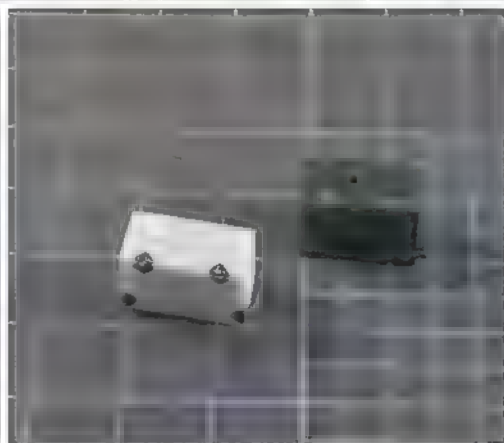
車体後方左右にあるマフラーと工具箱は、いずれも『ガルパン』版はキットのものより大きいです。マフラーはプラパイプを基に大型化して作り直し。工具箱2種類もプラ板の箱組みで新造しています。左側に搭載する工具箱は一部ディテールをキットパーツから移植。そのフタに付いている凸モールドは位置や大きさがキットと違っている点にも注意です



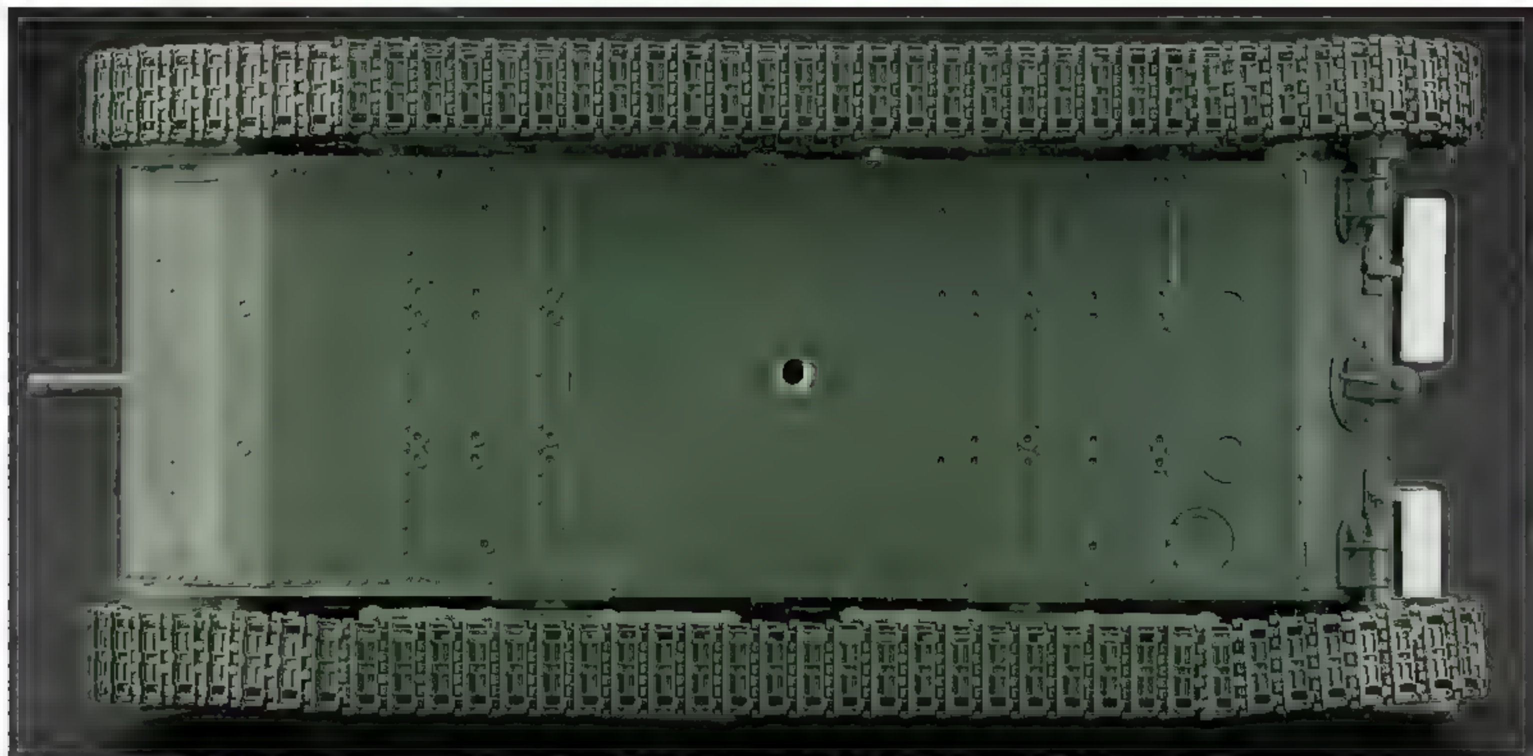








file:004
劇中車製作ポイント





point:06 操縦手クラッペ穴を下側に拡大

車体正面左側のクラッペ穴は下側にもう少し広くなります。キットパーツを削り込んで穴のサイズを合わせ、プラ板で底の部分を作り直して再現しました





point:07 リアパネルのディテール再現

リアパネル中央の牽引具には横向きのL字ピントルが刺さっているので金属線で再現。両側に積んでいる工具箱は左右で大きさが揃っているのが正しいのでそれぞれ上下にプラ板を貼り足してボリュームを調整します



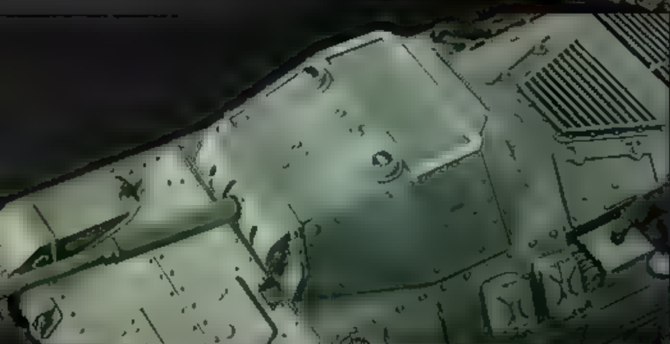
完成作例

プラッツ 1/35スケール プラスチックキット
ガールズ&パンツァー 最終章 P40型重戦車 アンツィオ高校 使用

P40［アンツィオ高校］

製作／山田卓司







▲砲塔はまずしっかり天面の形状を決め、それに合わせて側面の辻褄を合わせていこう。砲塔の形が整った後でハッチやペリスコープなどの細かな構造物に取りかかるといい



▲◀OVAや『最終章』にてアンチョビの搭乗車として活躍（?）したP40。『ガールズ&パンツァー』版は実車と比べて差異の数そのものは少ないが、再現のための工作ひとつひとつがハイカロリー、という印象。特に砲塔形状はこだわって再現したいポイントだ

file:004
完成作例





▲ジェリカンはひとつひとつ手作業で小さく作り直しているが、環境が整っているならばレジンで複製したり、デジタルツールを活用して製作するのも有効だろう



▲工具箱やマフラーなど、後方に搭載しているものも大半がサイズアップ。密度感のある後ろ姿になる。エバーグリーンをはじめ海外メーカーからは非常に豊富な寸法・形状のプラ材が発売されているので、これらを活用して再現しよう

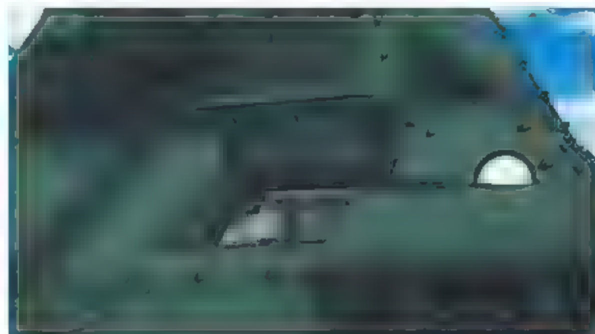
ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

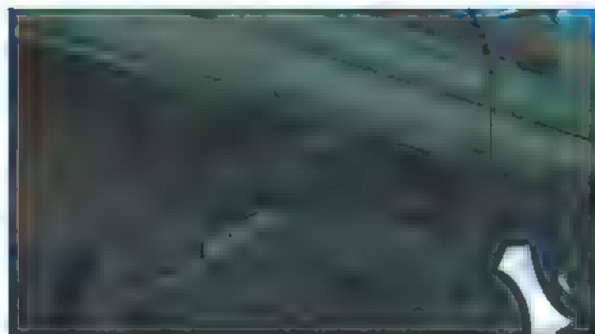
scene:01

『ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!』より

これがアンツィオの必殺秘密兵器、P40だ!

大洗女子学園は戦車道全国高校生大会の第1回戦を辛くも制し、2回戦へと駒を進める。次の相手はアンツィオ高校だ。アンツィオが新戦車を導入したとの噂を聞きつけ、優花里はさっそく潜入捜査を開始。昼食で賑わうアンツィオの敷地内でその新兵器・P40を目撃する。これ見よがしに一般生徒へP40の雄姿をお披露目するアンチョビだが、開いた状態のハッチをはじめ子細なディテールが確認できるこのシーンはモデラー的にも嬉しい一幕である。この一部始終を優花里は映像に収め、それを観た大洗はP40対策の訓練を開始するのだった。

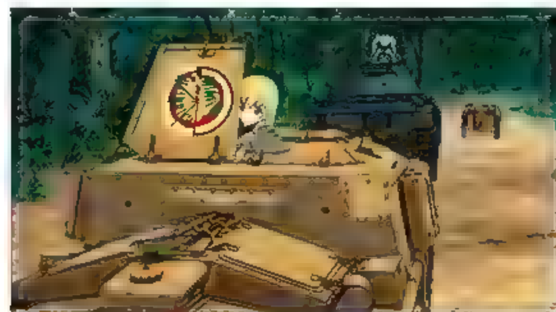
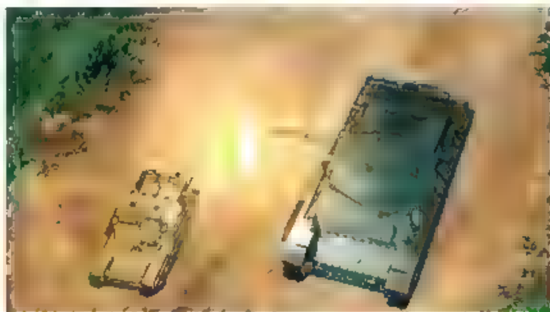


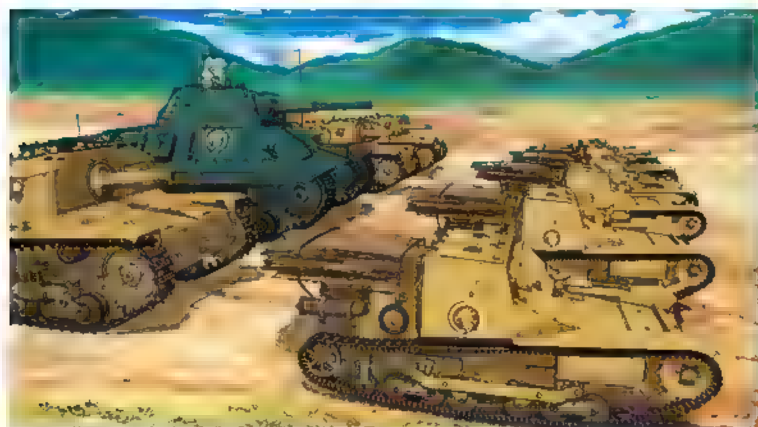
scene:02

『ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!』より

目指せ悲願のベスト4、じゃなかった優勝だ!

2回戦の舞台である山岳と荒地ステージは、中央の森にある十字路が戦略的に重要になる。アンツィオはCV33快速戦車を先行させ、戦車の立て看板を十字路に配置、十字路を占領したと見せかける作戦に出た。大洗が警戒して十字路に留まっている間に本物の戦車で包囲するという目算だ。しかしトラブルからこの目論見は早々に看破され、試合は分散した各戦力による少数同士の戦いに。フラッグ車のP40とその護衛は、同じく大洗のフラッグ車である38(t)軽戦車とⅣ号戦車D型、Ⅲ号突撃砲F型と遭遇。セモヴェンテがⅢ突を引き受けフラッグ車の2対2の戦いとなるが、CV33が倒されP40がピンチに陥る。この一連のシーンでは全シリーズでも貴重なP40の車内描写も見ることができる。でもドゥーチェ、ツインテールが邪魔です…。




file:004

劇中ピックアップ

scene:03

『ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!』より

今年こそは勝てると思ったのになぁ。でもいい勝負だった

単独になったP40を、38(t)が囮となって誘導。他のアンツィオ車との合流を遅らせつつ、Ⅳ号が待ち構えるキルゾーンへ誘い込む。セモヴェンテ、ペパロニのCV33が合流するがそれらも撃破され、Ⅳ号の主砲を真正面から受けてP40も白旗となった。残念な結果ではあるが、フラッグ車にも関わらず仲間を気遣って庇うP40に、アンチョビの人となりが垣間見えるシーンでもある。





scene:04

『ガールズ&パンツァー 最終章』第2話および第3話より

いいか認めさせるのだ。アンツィオは弱くない、じゃなかった強いということを!





無限軌道杯に意気込み充分で参戦したアンツィオ。1回戦ではセモヴェンテをフラッグにボンプル高校と戦った。CV33が敵フラッグのルノーFTを抑え込み、P40の主砲がこれを討ち取って勝利。続く2回戦では聖グロリアーナ女学院と当たることに。

scene:05

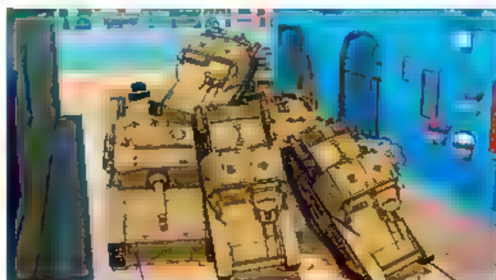
『ガールズ&パンツァー 最終章』第3話より

いくぞ、ファルファーレ作戦開始!

無限軌道杯2回戦。重装甲の聖グロ戦車はアンツィオに対し圧倒的に有利で、ダージリンも苦笑気味。CV33が思わぬ活躍でクルセイダー巡航戦車を2輌水路に落とすなど意外に善戦も見せるが、調子に乗ったアンチョビはクルセイダーを追撃したことでフラッグのP40を敵部隊の目の前に晒してしまう。一丸となってP40の盾になるアンツィオ各車だが、ちゃっかり後ろを取っていたマチルダⅢ/Ⅳも含む一斉射撃でP40は撃破。どんでん返しはならず、聖グロが勝利した。








製作におすすめのアイテム

M-24-P P40型重戦車
●発売元：アイコム●1045円
●1/144、約4cm●塗装済み完成品

item:01 マイクロギャラリー P40型重戦車

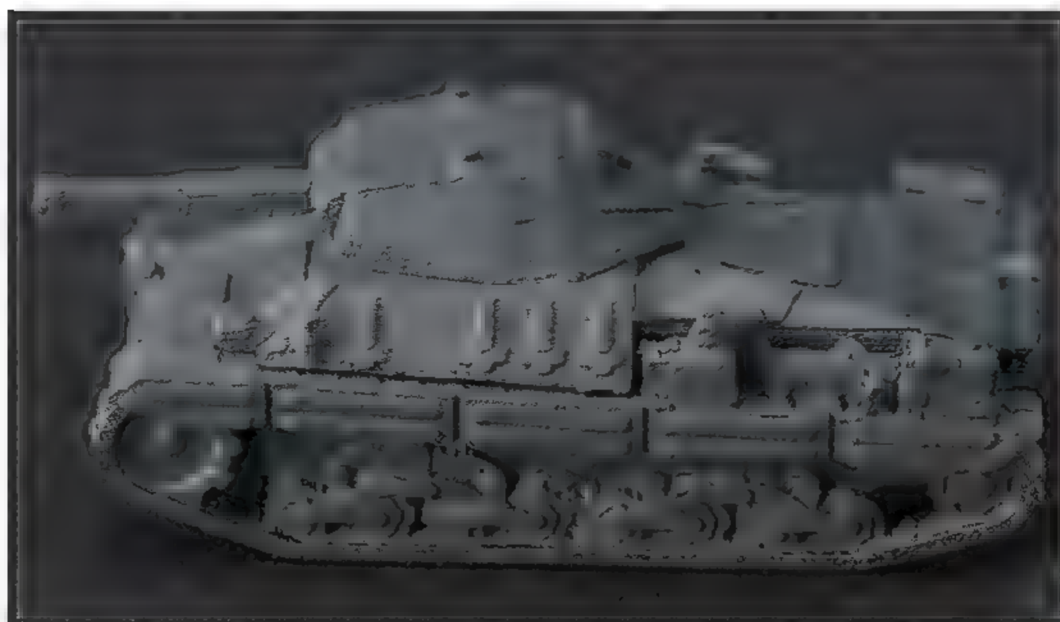


◀本書刊行時点では、日本で購入できるP40のキットはかなり限られている。ということで、プラキット以外のアイテムを紹介しよう。アイコムが発売している「マイクロギャラリー」シリーズは、金属製の1/144モデル。ミニサイズながら特徴をよく捉えた造形となっている



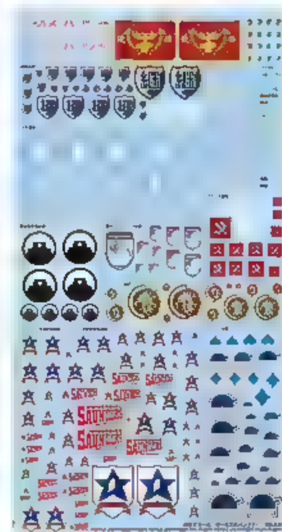
▲砲塔部分は旋回可能。塗装・スミ入れが施されており、箱から出してそのまま飾ったり、ディオラマ素材としても活用できる





▲履帯周りやジェリカンラックなども的確に再現している。緑に塗り替えてデカールを貼ればかなり雰囲気よくアンツィオ高校仕様を再現できそうだ

item:02 モデルカステン MGデカール



◀アンツィオ高校の校章を収録したデカール。他にサンダース大学付属高校や大学選抜など、幅広くカバーしてくれている

MGデカール ガールズ&パンツァー デカールVol.4.5
●発売元：モデルカステン●2200円

file: 005

ティーガーI

[黒森峰女学園]



Panzerkampfwagen VI Ausf.E Tiger I (Sd.Kfz.181)

[Kuromorimine Girls' High School]

TAMIYA 1/35 scale plastic kit
Tiger I use
modeled & described by Takuji YAMADA

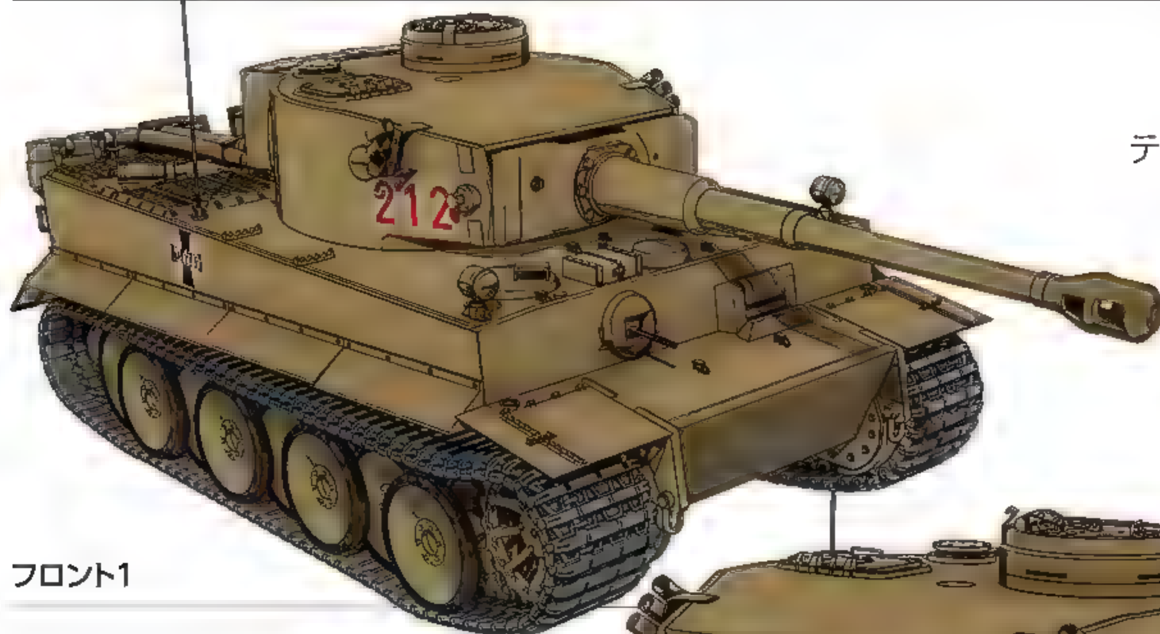
SETTING IMAGE
設定画

ティーガーI［黒森峰女学園］

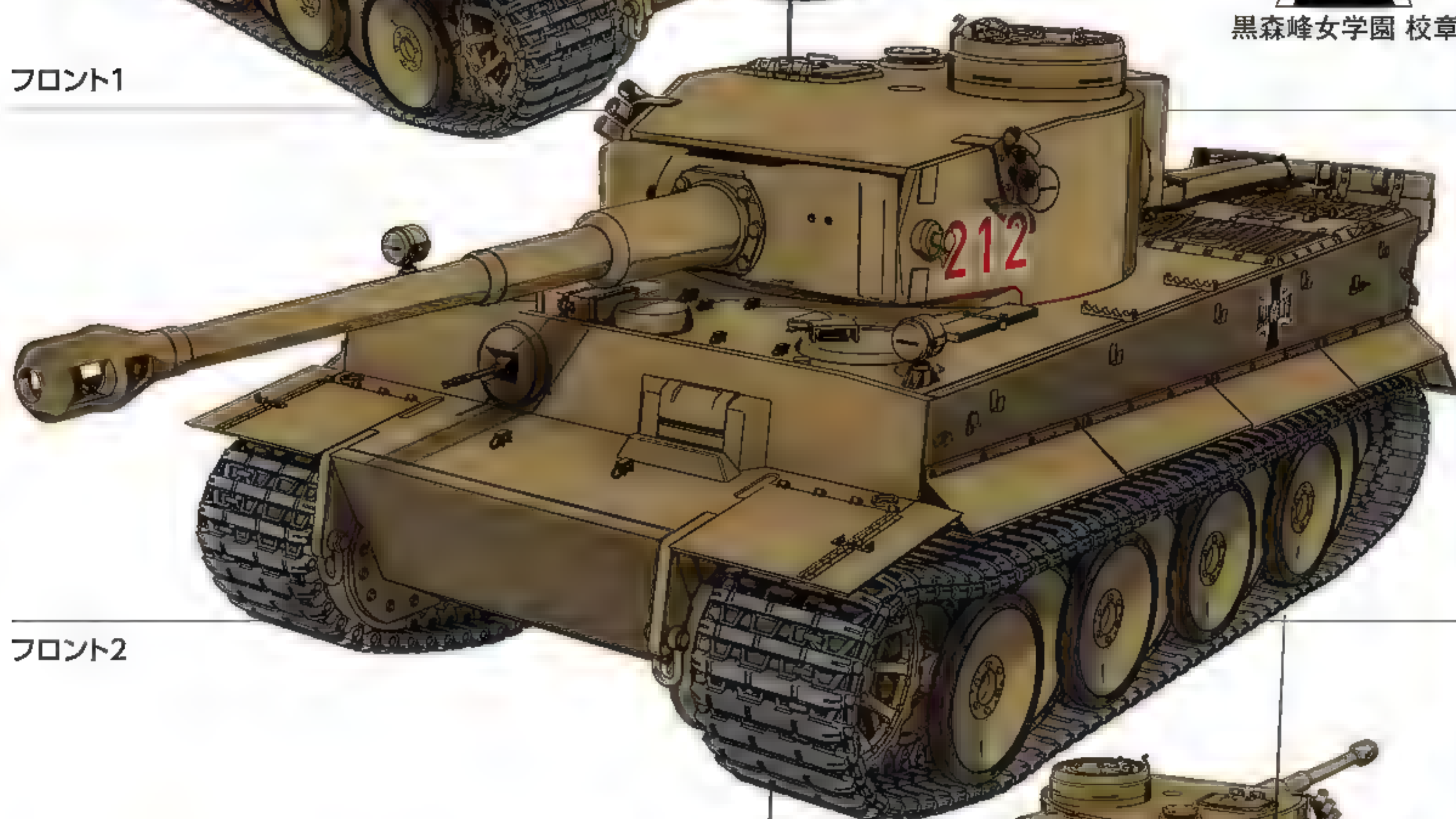
TV版／劇場版共通



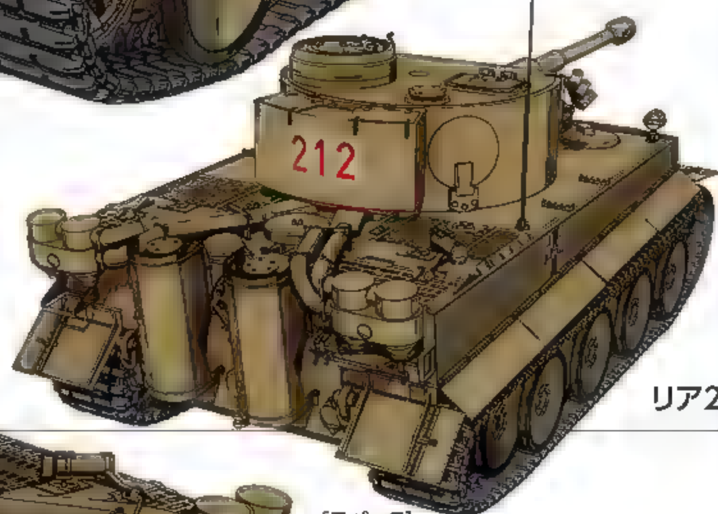
黒森峰女学園 校章



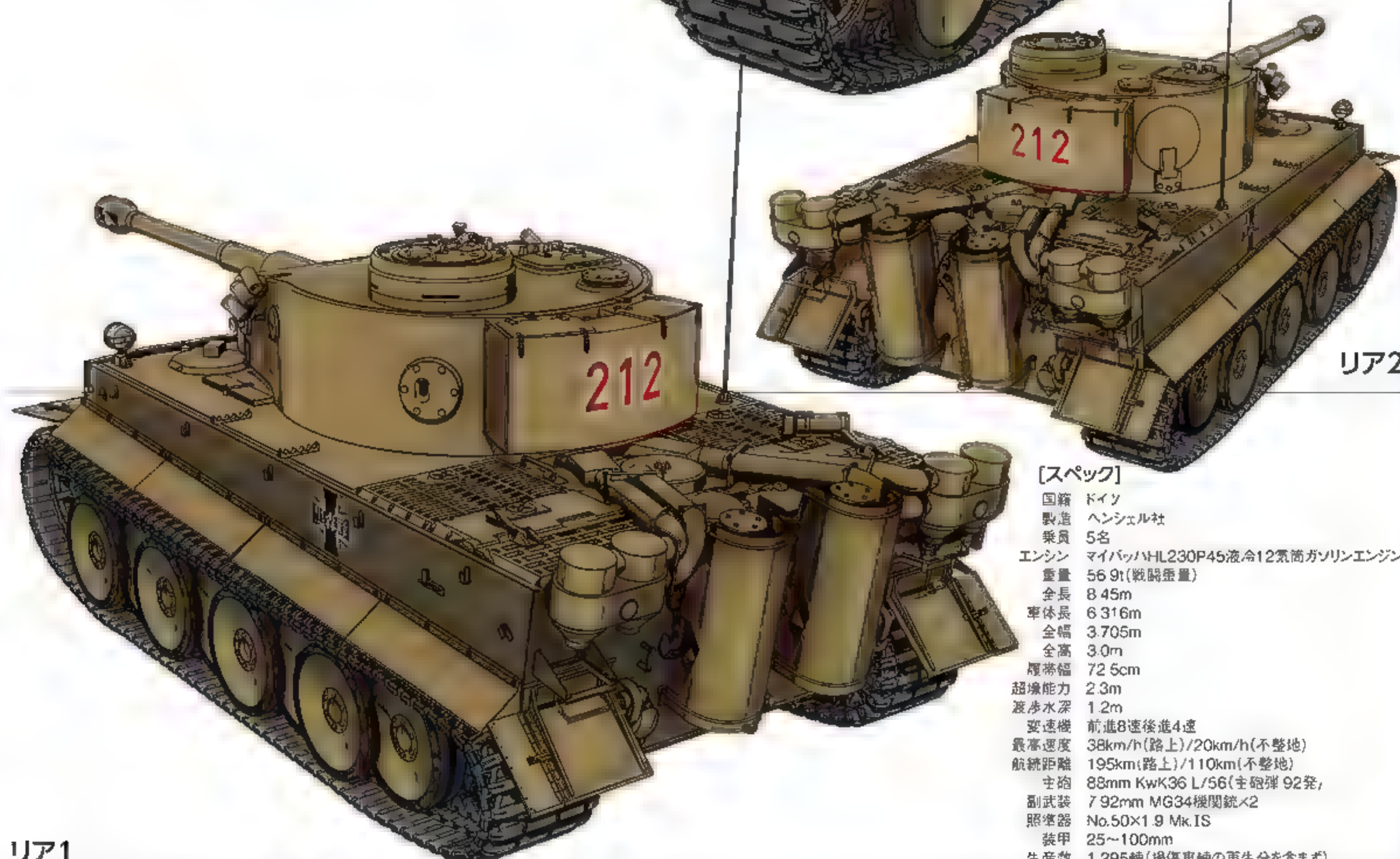
フロント1



フロント2



リア2



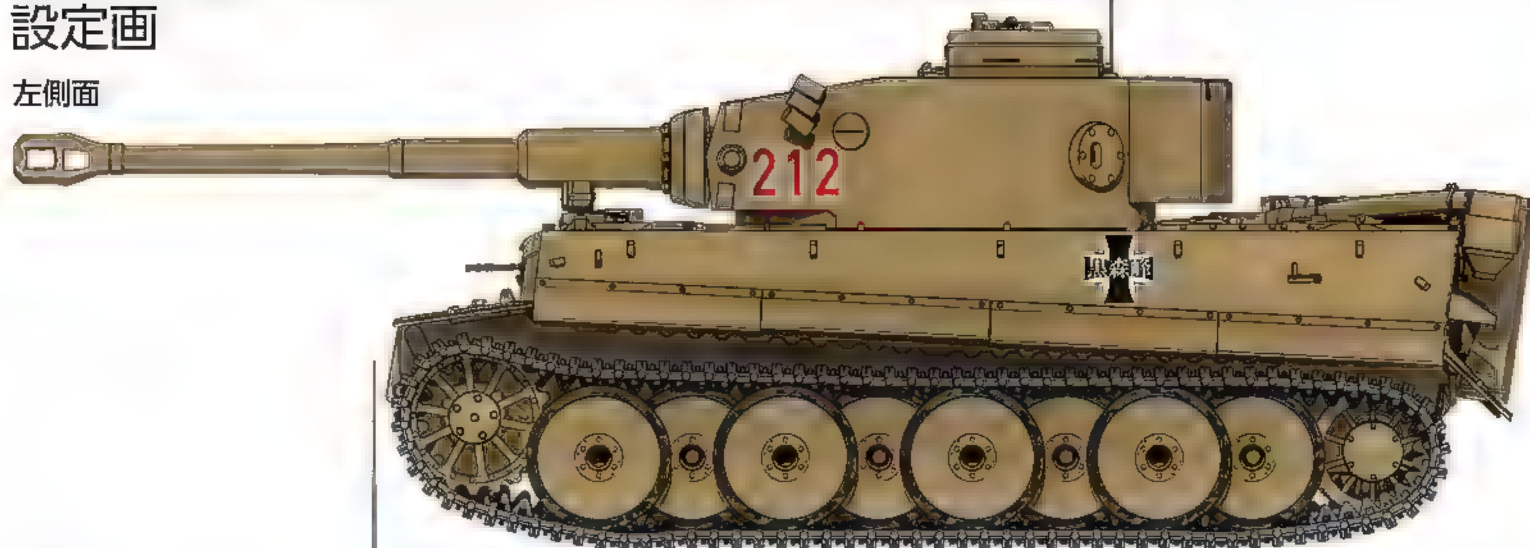
リア1

［スペック］

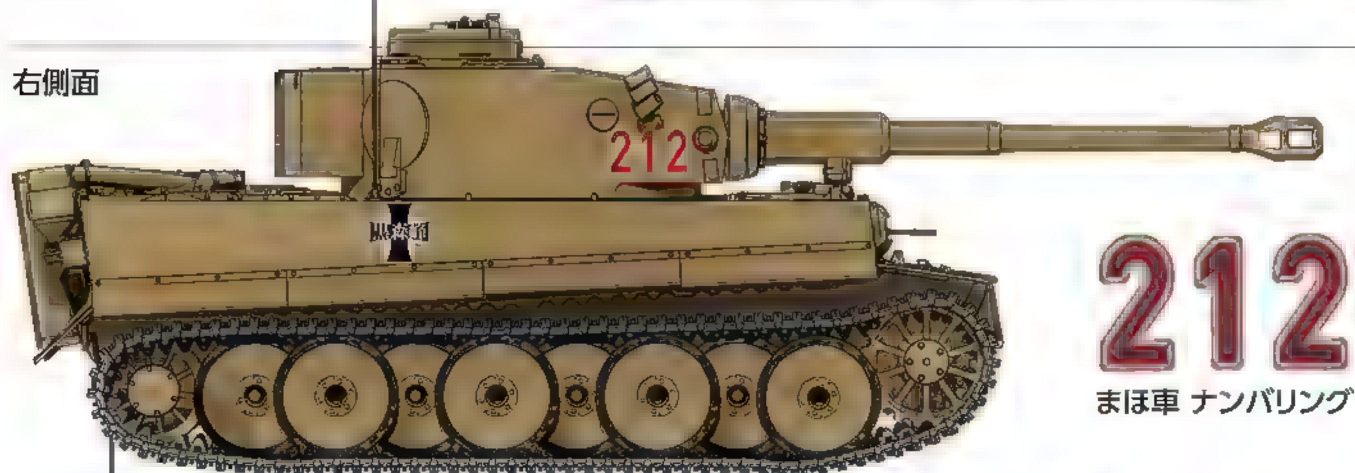
国籍	ドイツ
製造	ヘンシェル社
乗員	5名
エンジン	マイバッハHL230P45液冷12気筒ガソリンエンジン
重量	56.9t(戦闘重量)
全長	8.45m
車体長	6.316m
全幅	3.705m
全高	3.0m
履帯幅	72.5cm
超壕能力	2.3m
渡渉水深	1.2m
変速機	前進8速後進4速
最高速度	38km/h(路上)/20km/h(不整地)
航続距離	195km(路上)/110km(不整地)
主砲	88mm KwK36 L/56(主砲弾 92発)
副武装	7.92mm MG34機関銃×2
照準器	No.50×1.9 Mk.IS
装甲	25~100mm
生産数	1,295輌(損傷車輌の再生分を含まず)

file:005
設定画

左側面

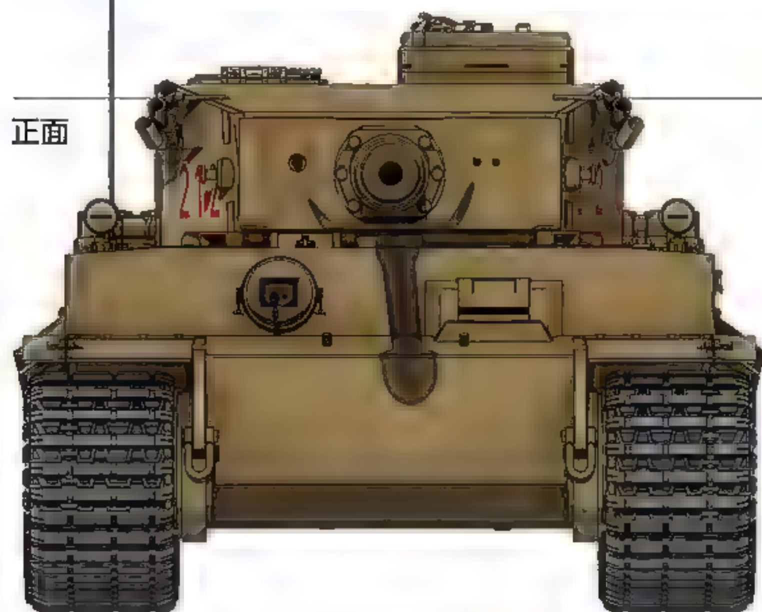


右側面

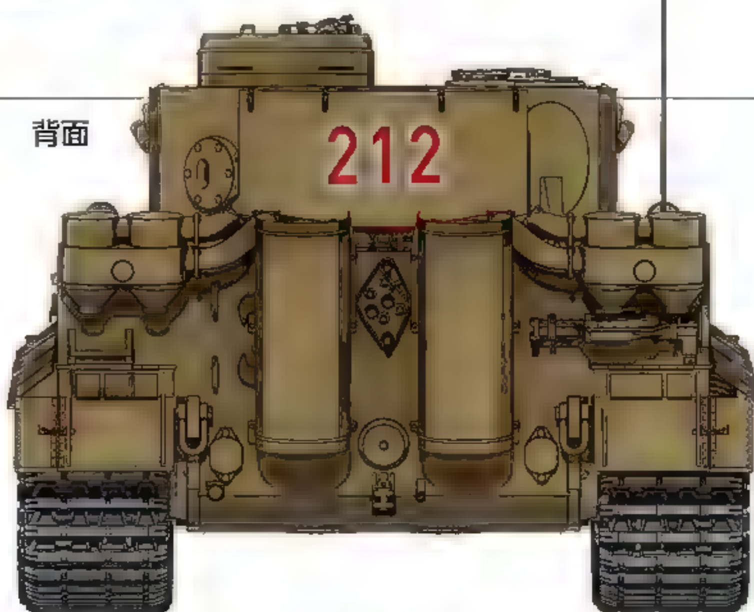


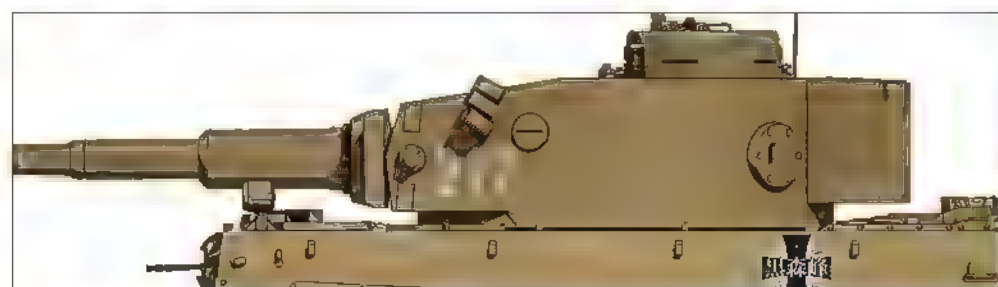
212
まほ車 ナンバリング

正面



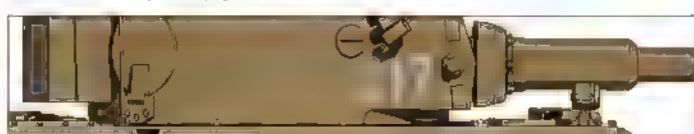
背面





TV版 みほ車 左側面

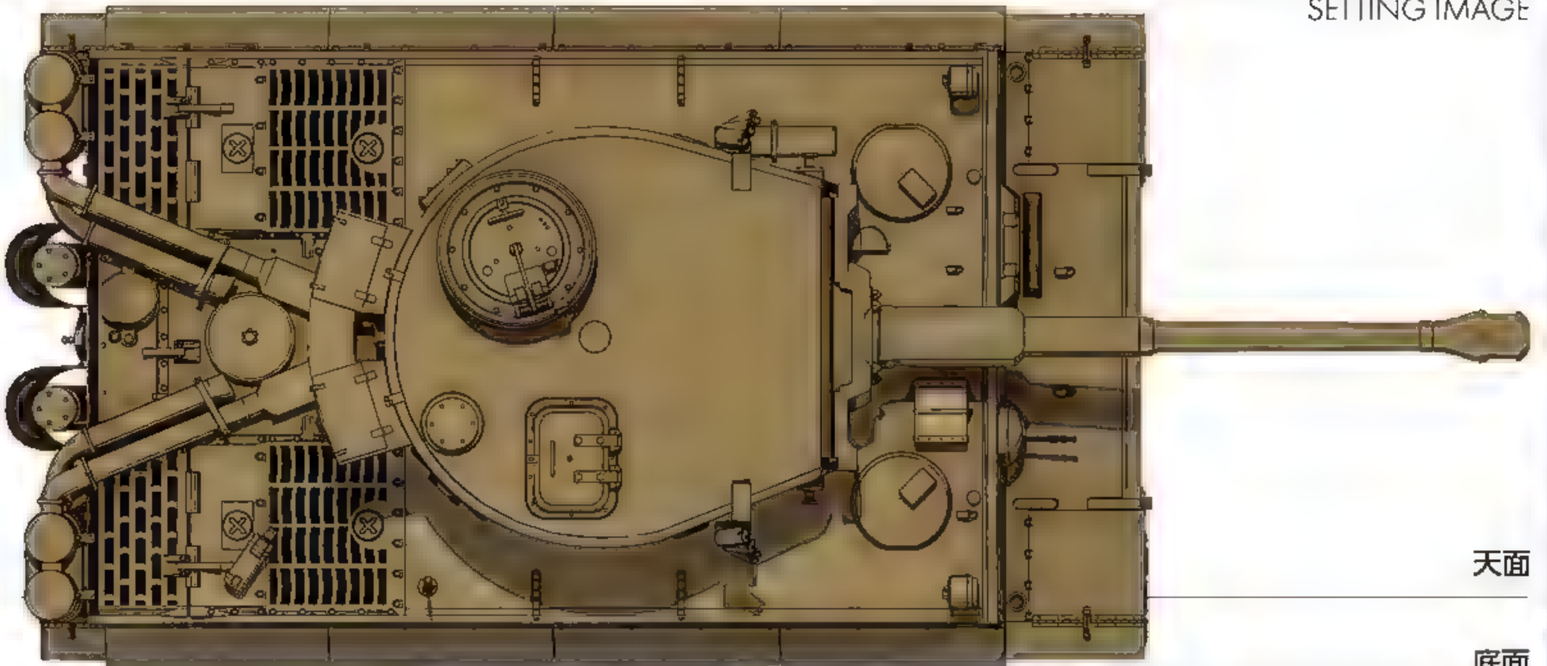
217
みほ車 ナンバリング



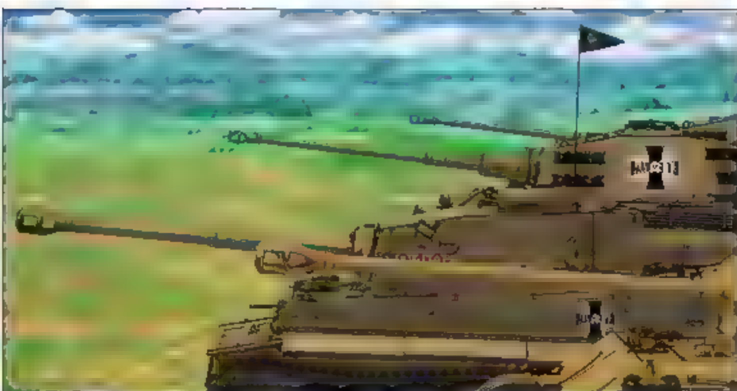
TV版 みほ車 右側面



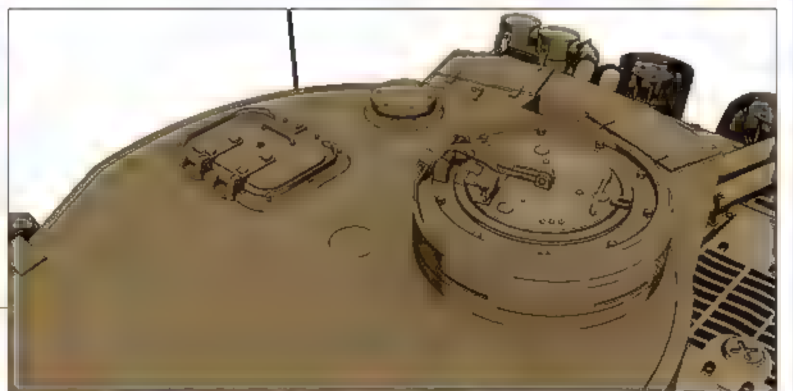
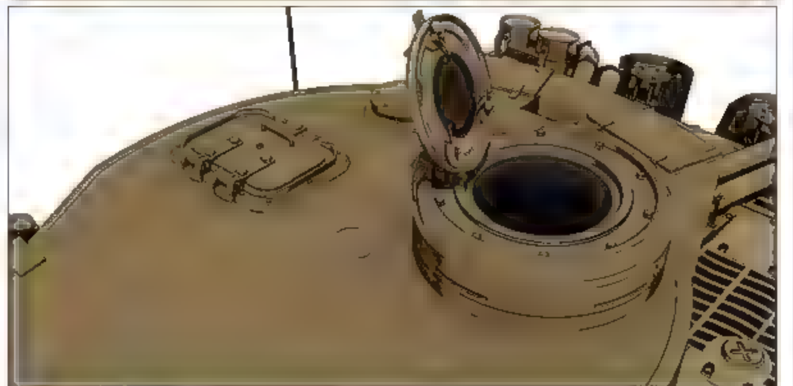
TV版 みほ車 背面


天面


底面

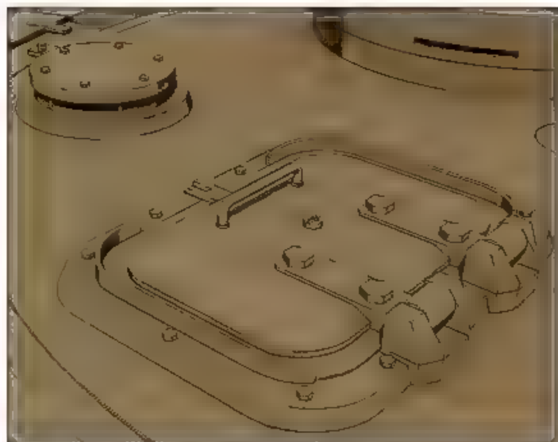


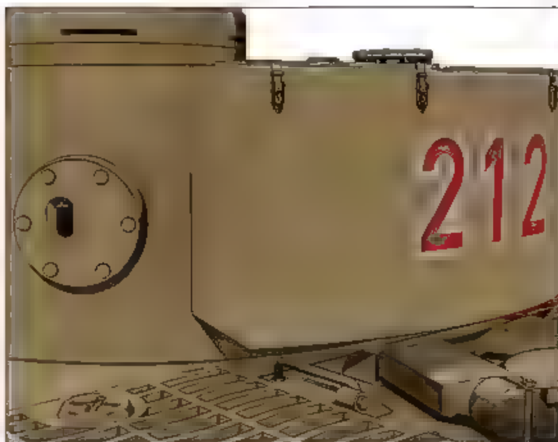
TV版 フラッグ対比、基部

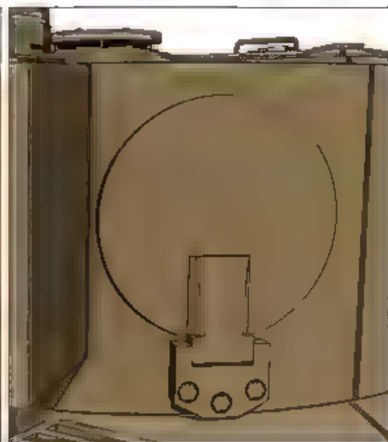


キューポラ 開／閉

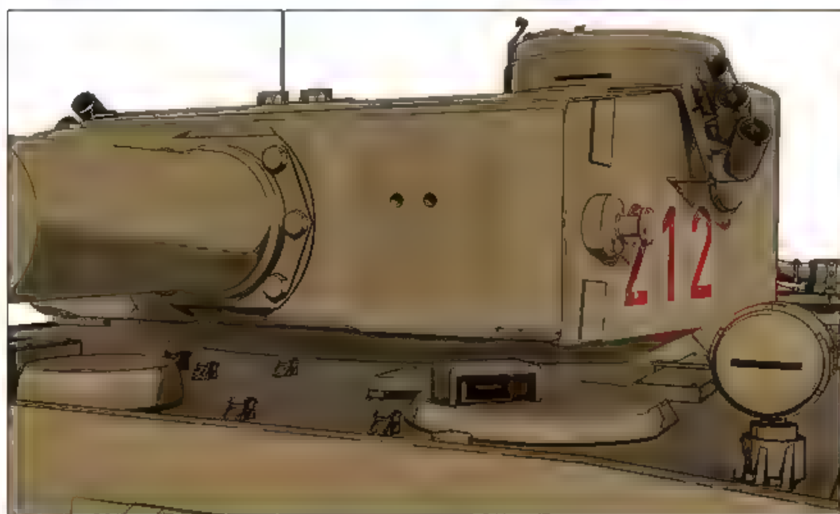
file:005

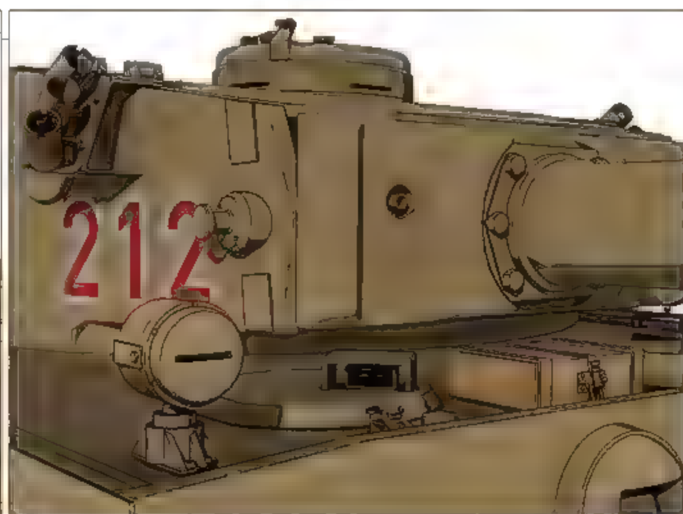
設定画


砲塔天面ハッチ、ベンチレーター



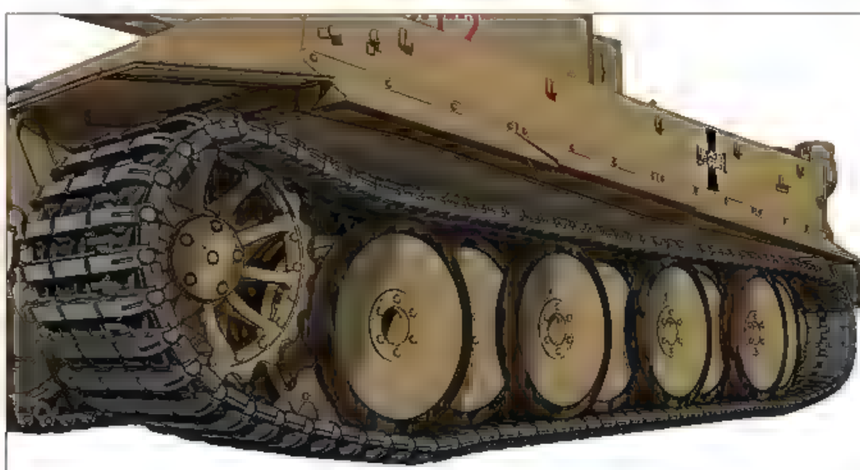

砲塔後方

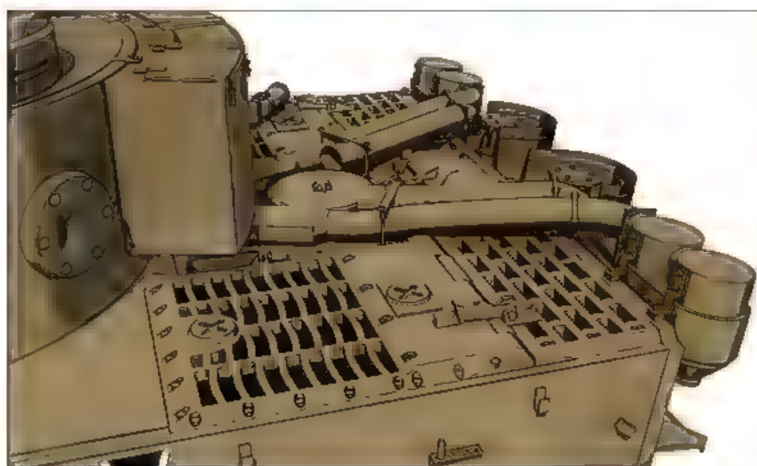


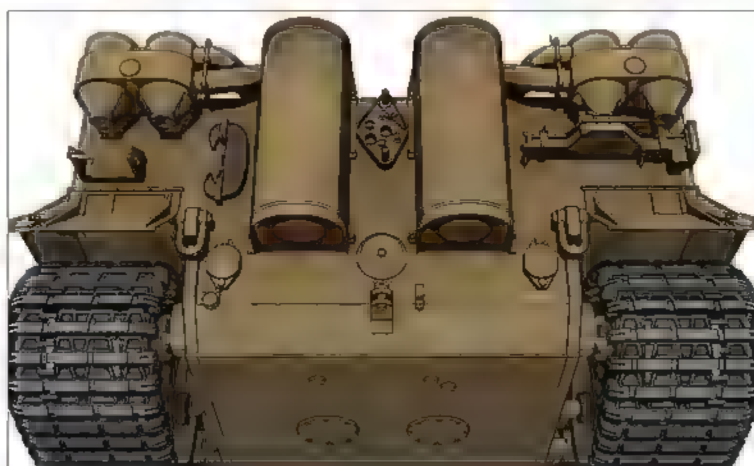


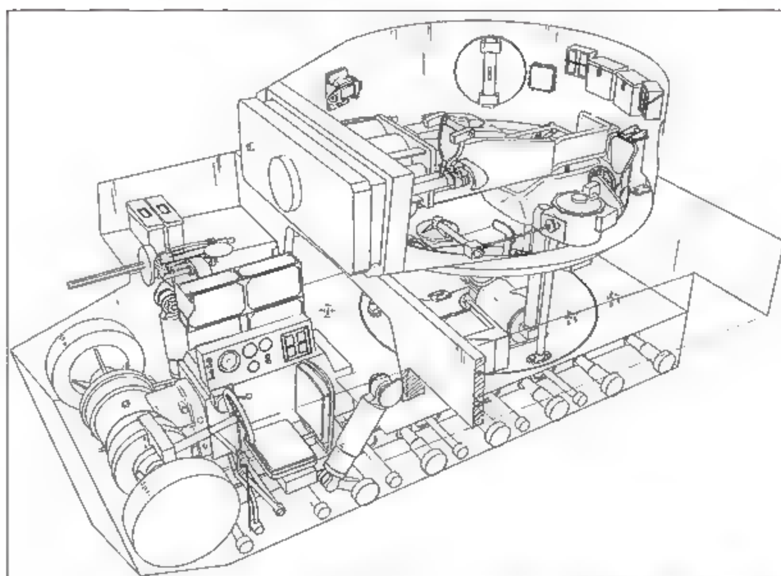
砲塔前方


車体前方

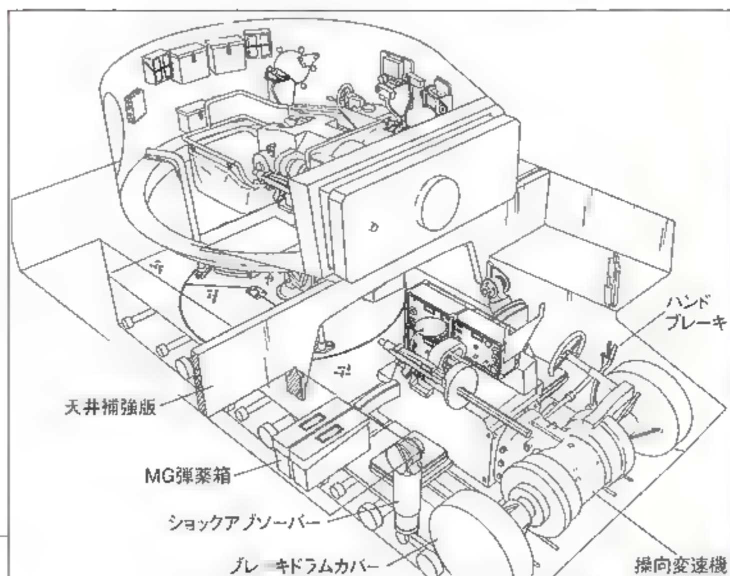

足周り


エンジングリル周辺

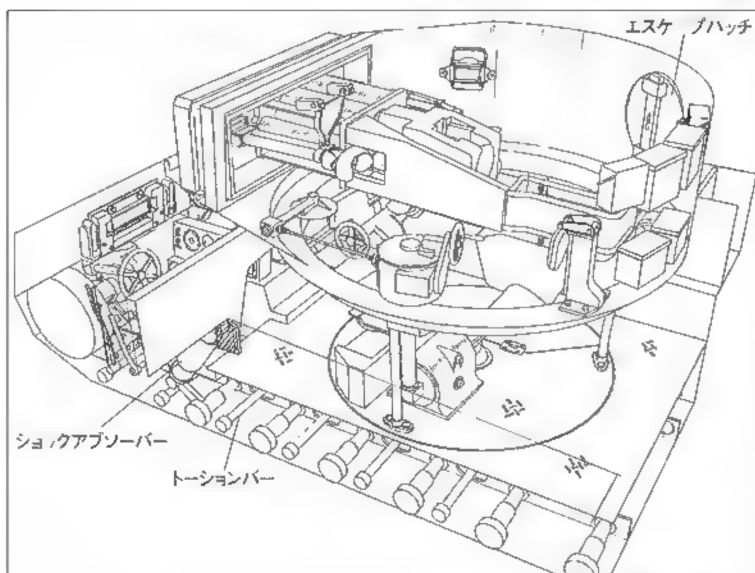

リアパネル



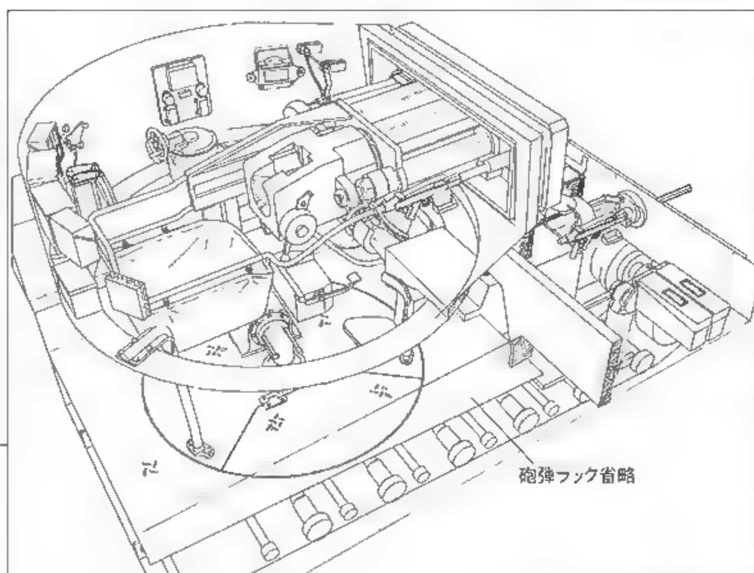
車内全容 左前方



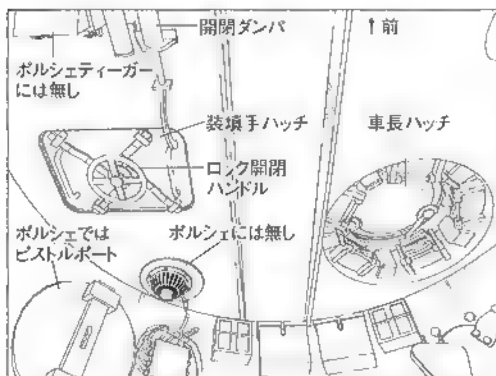
車内全容 右前方



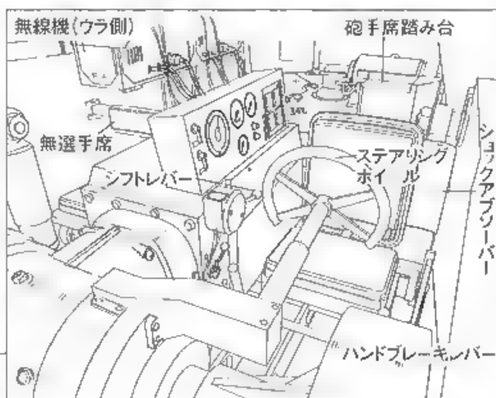
車内全容 左後方



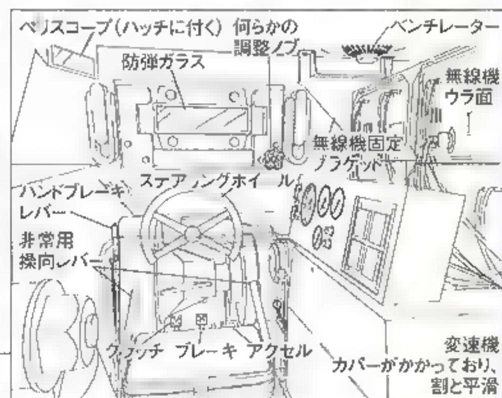
車内全容 右後方



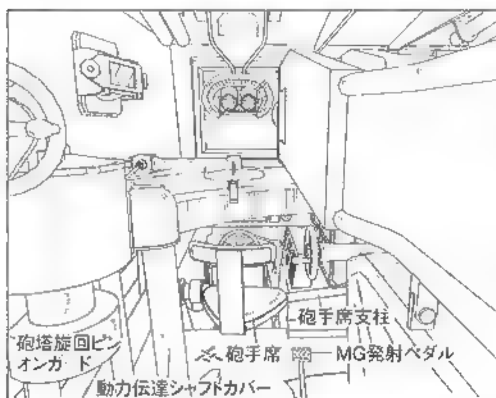
砲塔内部 天井



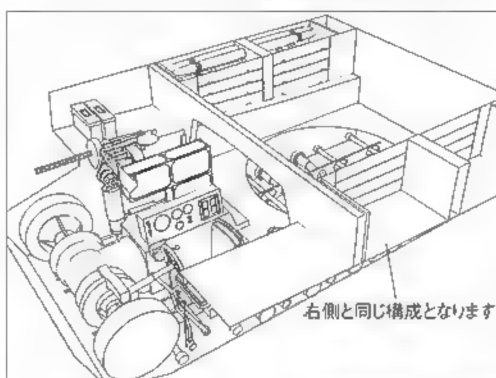
操縦手席を前方より



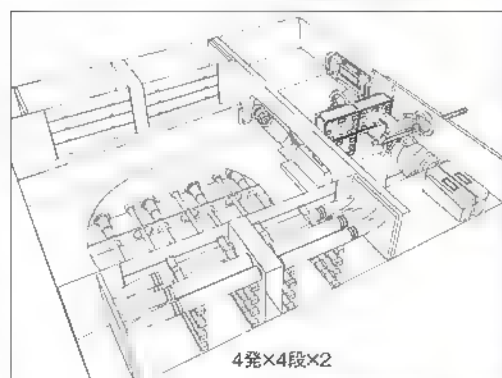
操縦席を後方より



砲手席を後方より



戦闘室内部 左側



戦闘室内部 右側

file:005
劇中車製作ポイント



大洗女子学園のⅣ号戦車と並んで、『ガールズ&パンツァー』の作品内で大きな存在感を持つ黒森峰女学園のティーガーI。形状的には実車の車外装備品の多くが搭載されておらず、シンプルな外観となっているのが特徴だ。作例は入手性、組みやすさ、『ガルパン』版の再現のしやすさなどいずれの点でも優秀なタミヤの初期生産型を使用した。車外装備なしの状態へ各部を変更していくのが主な工作となる。





TIGER I
initial type (mirror tracks)



ATL-116



110 links left side, 110 links right side (mirror tracks) in 1/35 th scale and a wire to obtain the track pivots.

使用キット

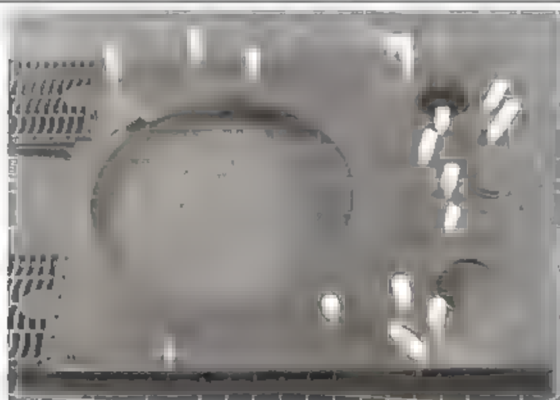
ドイツ重戦車 タイガーI 初期生産型
●発売元／タミヤ●4400円●1/35、約24.2cm●プラキット

ATL-116 金属製履帯 ティーガー1初期 ミラータイプ
●発売元／フリウルモデル●4620円●1/35●金属製パーツ

point:01 取り付け穴をふさぐ
point:03 砲塔天面のディテール変更
point:02 エアフィルターのパイプはシンプルな形状
ライトガード基部天面はフラット
溶接痕は消す
左リアパネル後端の○モールドをオミット

point:01 取り付け穴をふさぐ

『ガルパン』版のティーガーIは車載装備がかなり少なく、キットに設けられている取り付け穴の大半を使用しません。伸ばしランナーを埋め込んですべてふさぎます

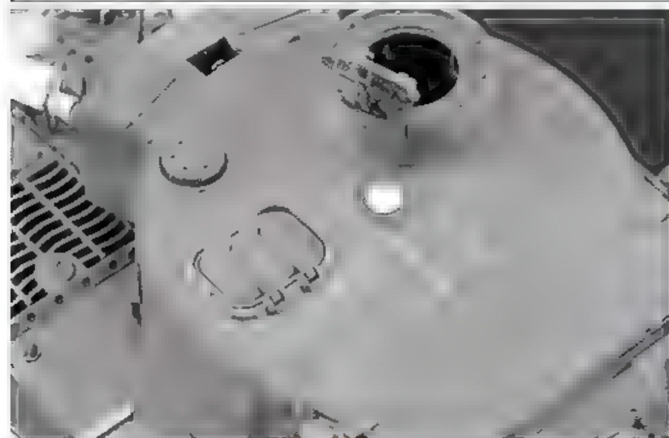


point:02 エアフィルターのパイプはシンプルな形状

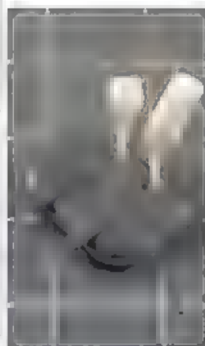
使用キットではエアフィルターのパイプにメッシュホースを使いますが、『ガルパン』版ではこのパイプの表面にディテールがありません。近い径のプラパイプに置き換えて再現しました



point:03 砲塔天面のディテール変更



装填手ハッチは取っ手の位置がキットより少し前なので、伸ばしランナーで基の穴を埋めてから開け直します。また砲塔側のハッチ周りのリベット部分が、実車では凹型ですが『ガルパン』版では凸型です。これも凹部を埋めてからリベットディテールを取り付けて再現します



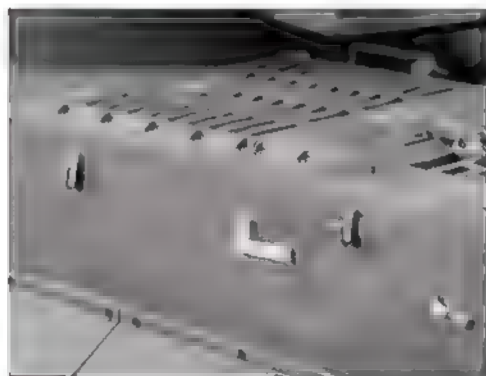


file:005
劇中車製作ポイント

point:05 シャベルラック作り直し
point:07 主砲基部側面のディテール再現
蝶ネジを別キットから流用
point:06 ワイヤーロープラック作り直し

point:04 車体左側面のワイヤーロープラック再現

左側面のワイヤーロープは装備されていませんので、ロープを外した状態のラックを再現します。フックは0.3mmのアルミ板を曲げて製作。前方と後方のディテールパーツは近しい形状にプラ材で製作しています




point:05 シャベルラック作り直し

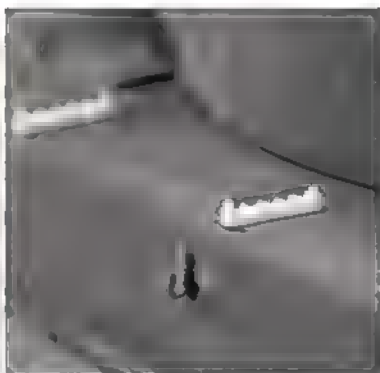
シャベルのラックも空の状態で、またキットの表現よりも足が高く立体的な形状です。プラ板とL字プラ棒で作り直しました



point:06 ワイヤーロープラック作り直し

車体天面両脇のワイヤーロープラックも使われていない状態なので作り直します。1.2mmプラ板に、横並びに1.2mmの穴を開け、中央から切り分ければ作ることができます



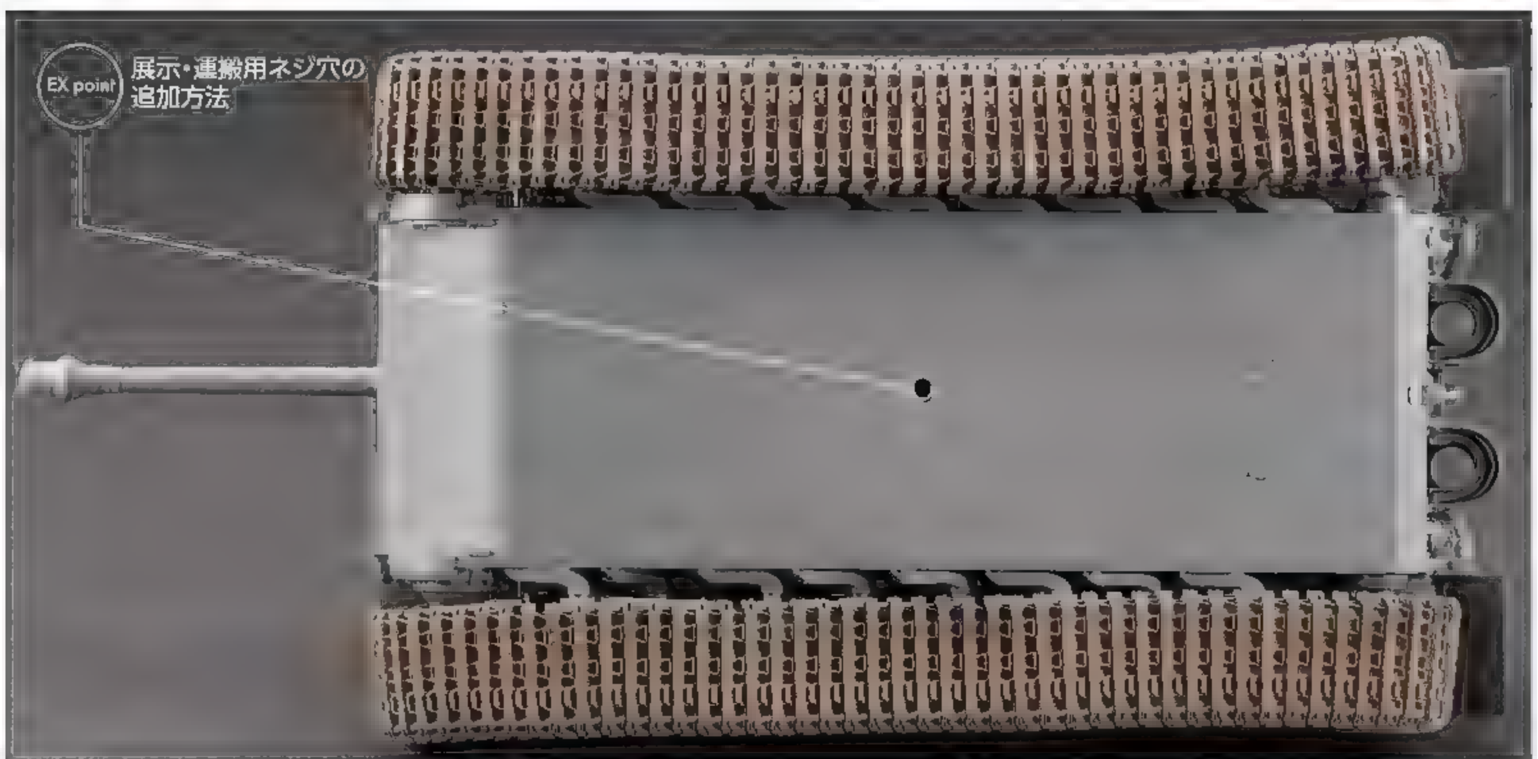


point:07 主砲基部側面のディテール再現

スモークディスチャージャーは空の状態でフチにスリットが入っているので、モデルカステンのⅢ号戦車ディテールセットから流用、加工して再現。その後ろの丸いモールドは実車だと左右非対称の位置ですが、『ガルパン』版では右側の位置が変わり左右対称です。主砲のヒンジ部分は小さな穴が空いているのでピンバイスで彫って再現





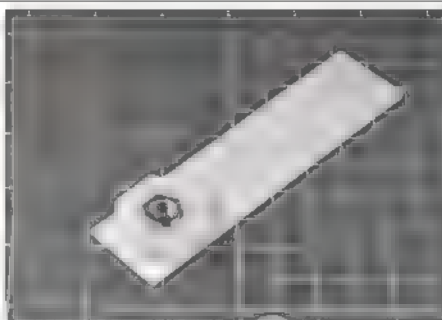


EX point

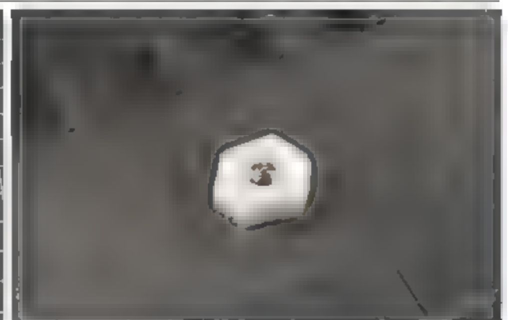
展示・運搬用ネジ穴の追加方法



底面にネジで固定できる穴を開けておくと、展示や運搬時にたいへん便利です。簡単な取り付け方法を解説しておきます。まず3～3.5mmの穴径の六角ナットを、3mm角棒で囲って接着します



余分な角棒を切り落として形を整え、片面にプラ板に貼り付けてフタをします。フタにもネジが通る穴を開けておきましょう



車体側にもネジの通る穴を開け、しっかり接着して完成です。また車体と台の間にネジを通す際、プラパイプを噛ませておくとより強固に固定でき、車体にも負担がかかりません

file:005
劇中車製作ポイント



point:09 車載装備ラックの作り直し

車体前方に積む車載装備も大半が省略されています。今回は留め具などの再現度が非常に高い3Dプリントのディテールアップパーツを使用して再現しました



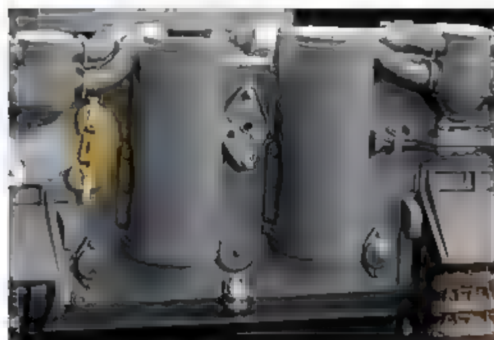
point:10 ジャッキ台の追加

実車の装備品が使われていない代わりに(?)、前方にはジャッキ台が搭載されています。プラ板の積層でサイズやディテールを合わせて製作しました。似た形状のパーツを流用してもよいと思います



point:11 リアパネルのディテール再現

F37パーツは極細プラ棒でディテール変更。マフラー左側のC字シャックルは他のキットから流用しました。下端中央の牽引具にはピントルがあるのでプラ材で再現しています



point:12 工具箱ラックの新造

キットでは工具箱を取り付ける箇所はラックのみで、そのラックの形状も大きく異なります。工具箱の取り付け穴をふさぎつつ、プラ板でラックを新造





FINISH MODEL

完成作例

タミヤ 1/35スケール プラスチックキット
ドイツ重戦車 タイガーI 初期生産型 ほか使用

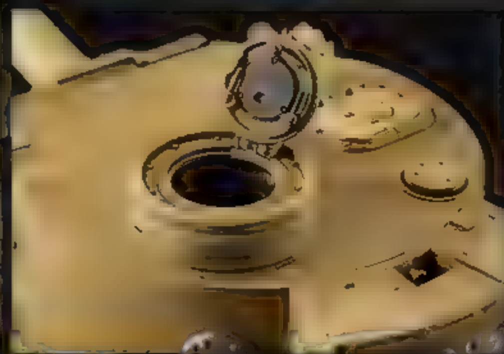
ティーガーI［黒森峰女学園］

製作／山田卓司

▲▶『ガールズ＆パンツァー』における最大の好敵手、そしてもっとも頼もしい味方としてもファンの脳裏に刻まれているであろう黒森峰女学園のティーガーI。幸いなことに実車との大きな相違点もほぼなく、再現はかなりしやすい車輌だ。ティーガーI自体も星の数ほどのキットが発売されているので、車内の作り込みや別のスケールでの製作にチャレンジしてみてもいいだろう

file:005 完成作例





▶まほはティーガーI搭乗中はほとんどキューポラから身を乗り出している」ということで作例もキューポラのハッチを敢えて開状態で製作



▼「ガルパン」版ティーガーIの特徴が車外装備品の少なさ。作例はなるべく劇中に近づけるため留め具なども極力忠実に製作しているが、キットから留め具部分だけを切り出して取り付けていくだけでも雰囲気はかなり近づけられるはずだ





ディテール参考、ディオラマ製作のための劇中ピックアップ

scene:01

『ガールズ&パンツァー』第10話「クラスメイトです!」より

戦車道全国高校生大会、決勝戦開始

大洗女子学園が存続を賭けて臨んだ戦車道全国高校生大会。決勝戦で立ちはだかるは、大会9連覇を果たしている強豪中の強豪、黒森峰女学園だ。試合開始早々、黒森峰は森の中を突っ切ってショートカット。大洗の側面を突いて強襲をしかけた。三式中戦車が偶然Ⅳ号戦車H型を庇う形となり、フラッグ車撃破は免れたものの、この偶然がなければ大洗はこの時点で敗北していたはずである。まほが引用していたハインツ・グデーリアンの言葉どおりであったと言えよう。



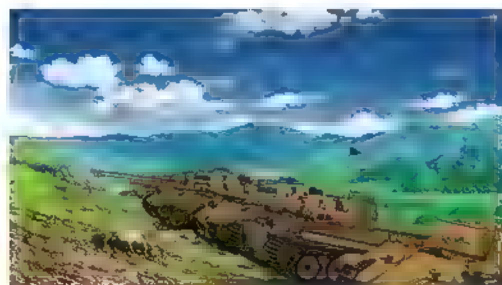


scene:02

『ガールズ&パンツァー』第11話「激戦です!」および第12話「あとには退けない戦いです!」より

大洗の戦略に黒森峰も思わぬ苦戦

多種多様な手を使い、黒森峰の戦力を削りながら市街地を目指す大洗。黒森峰はペースを崩され攻め切ることができない。市街地には超重戦車マウスとⅢ号戦車J型が配置されていたが大洗はこれも撃破、試合のクライマックスは市街地戦となる。積み上がった苛立ちからか、黒森峰のメンバーはまほの指示に反してつぎつぎと分散。大洗の目論見どおり、Ⅳ号とティーガーⅠが1対1の状況となった。







scene:03

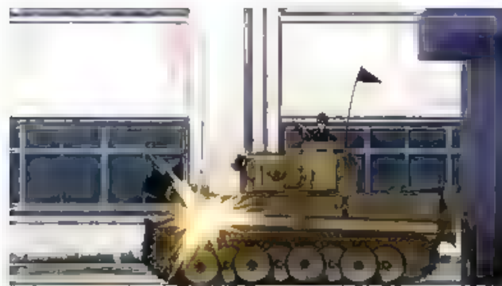
『ガールズ&パンツァー』第12話「あとには退けない戦いです!」より

Ⅳ号VSティーガーⅠ

雌雄を決するフラッグ車対決。戦車性能の不利を抱えながらもⅣ号は善戦を見せる。しかし廃校舎に黒森峰の援軍が迫り、優勢なのはティーガーⅠ。最後の前進で向かってくるⅣ号を迎え撃つ。ティーガーⅠの攻撃をかわし、強引な機動で履帯を引き千切りながら、Ⅳ号がティーガーⅠの背に食らいつく。砲撃の爆発が晴れると、ティーガーⅠはリアパネルを大破させ、大洗の勝利を示す白旗を上げていたのだった。なおティーガーⅠは一騎打ちの最中、とどめ以外にも左側面前方と、正面左側に2発の被弾をしている。



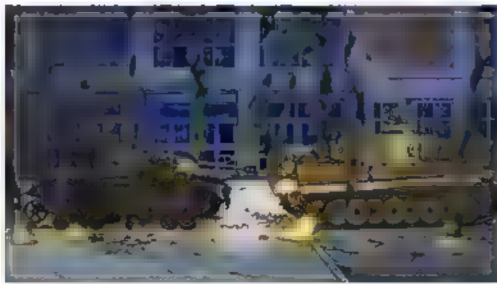












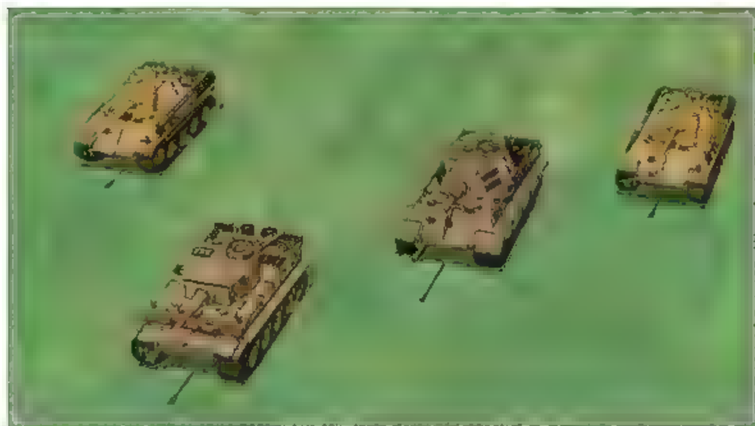


file:005
劇中ピックアップ

scene:04
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

虎に翼、大洗に黒森峰

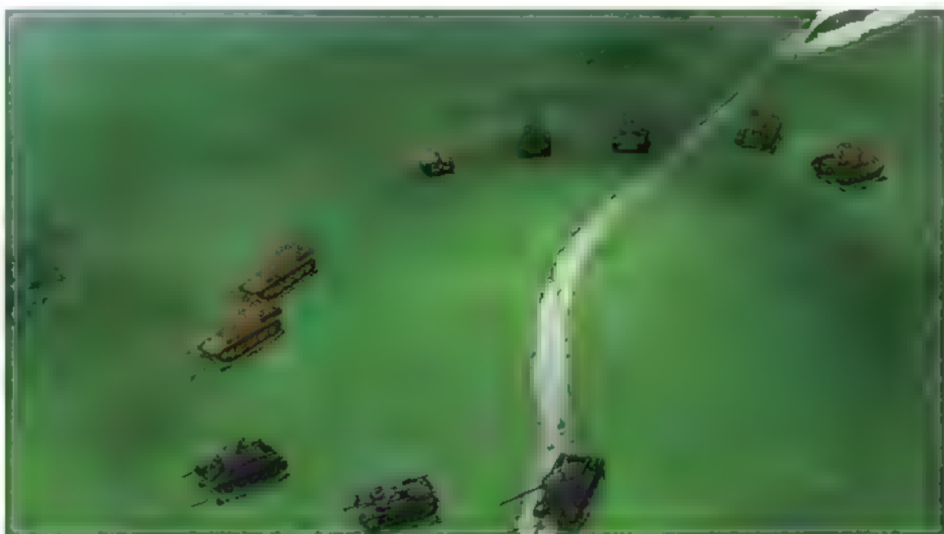
文科省の謀略で絶体絶命のピンチに陥った大洗を救うべく、つぎつぎと加勢する強豪校たち。黒森峰はまほのティーガーI、エリカのティーガーII、小梅たちのパンター2輌の計4輌で援軍に駆け付けた。試合序盤は重戦車編成のひまわり中隊に所属。まほは中隊長として部隊を引っ張った。




scene:05
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

敵の策略により窮地に

まほは敵の思惑を感じながらも、有利になれる高地をひまわり中隊で占領する。しかしまほの予想どおりこれは罠で、あさがお中隊への支援を開始しようとした矢先、謎の巨大な爆発を伴う砲撃を受ける。さらに正面からは敵本隊が進軍中、背後からはアズミ中隊が包囲を完成しつつあり、危機的状況となってしまう。まほは迅速に判断を下し、敵本隊を避けながら正面の坂を下り、もっとも手近なたんぽぽ中隊との合流を決意する。この一連の戦いでパンター2輌ほか計5輌が犠牲となったが、なんとか脱出は成功。試合は遊園地跡にて仕切り直しとなる。

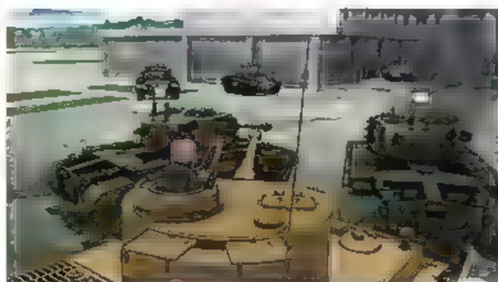





scene:06
『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

プラウダと協力して正門を防衛

遊園地跡に籠城した大洗連合。大学選抜は正門に大洗の注意を引き付け、東通用門から主力部隊の侵入を狙う。まほとエリカ、カチューシャの3人は、園内組の加勢に向かうため正門の囮部隊に打って出、それぞれがパーシングを1輌ずつ撃破。逃亡したチャーフィーを追って園内に戻る。

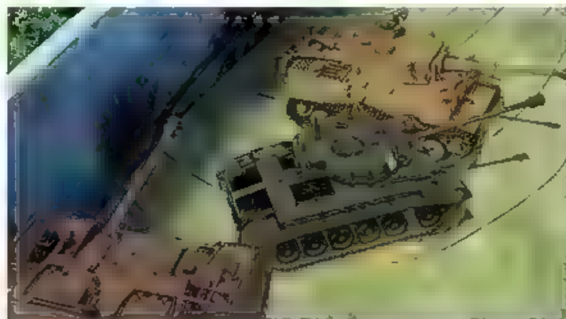



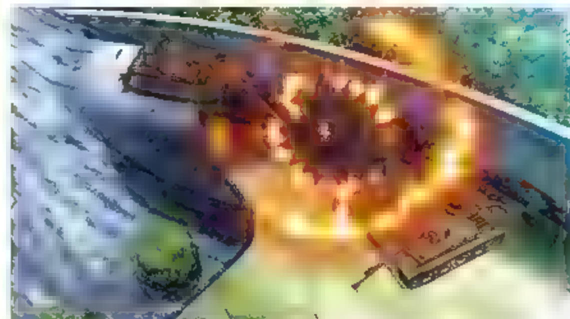

scene:07

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

敵中隊長車2輌を撃破

いよいよ大学選抜との試合も大詰め。最後は中央広場での2対3の戦いとなった。ティーガーIがアズミのパーシングをトンネル内に誘導、車体で出口を塞ぎ、動きが止まったところをIV号が仕留める。さらにメグミのパーシングも、ティーガーIがバイキングのアトラクションをぶつけて体勢を崩し撃破。決着は西住姉妹と島田愛里寿の直接対決となった。



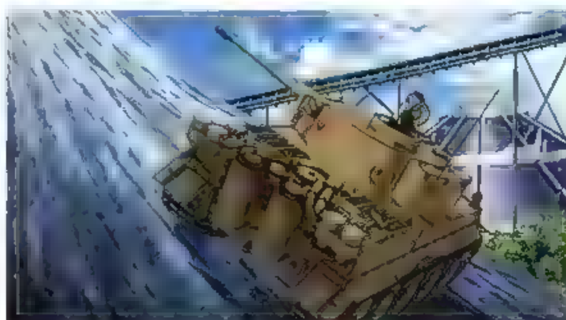


scene:08

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

中央広場の死闘

最強コンビと言ってよい西住姉妹を相手に、愛里寿のセンチュリオンは互角以上の戦いぶりを見せる。中央広場のアトラクションを利用し、破壊しながら激突する3輌。みほは状況打開のための奇策を立案し実行しようとするが、みほが視線を一瞬外した隙をつき、センチュリオンがメリーゴーランドを突き破ってIV号を強襲。センチュリオンに弾かれたティーガーIも体勢を崩して援護できず、センチュリオンの主砲がIV号の背後を捉える。しかし偶然動いていた熊の遊具に愛里寿が気を取られたことで攻撃が遅れ、一瞬早くIV号が離脱に成功する。









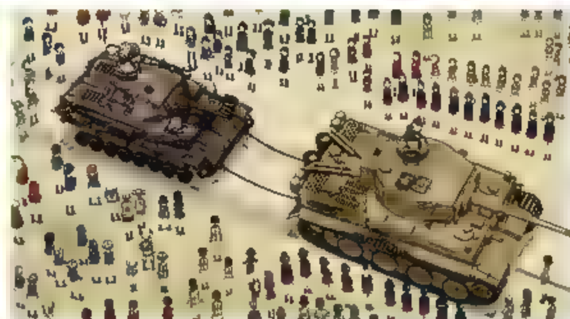
scene:09

『ガールズ&パンツァー 劇場版』より

激戦決着

センチュリオンの乾坤一擲の攻撃が失敗し、互いに様子を伺うように距離を取る西住姉妹と愛里寿。意を決した西住姉妹は、IV号を前に富士山の上から突撃。ティーガーIがIV号に向けて空砲を放ち、その勢いで加速したIV号がセンチュリオンに密着距離まで肉迫、相打ちになりながらもセンチュリオンを撃破する。空砲を撃つときの、妹を心配するまほの表情がとても印象的だ。帰還の際は右の転輪がほぼ無くなり動けないIV号をティーガーIが牽引する。まほとみほの関係を暗に示しているようにも見える一幕である。





KIT CHOICE
製作におすすめのアイテム

ガールズ&パンツァー 劇場版
ティーガーI 黒森峰女学園
●発売元 プラッツ●8580円
●1/35、約18cm●プラキット

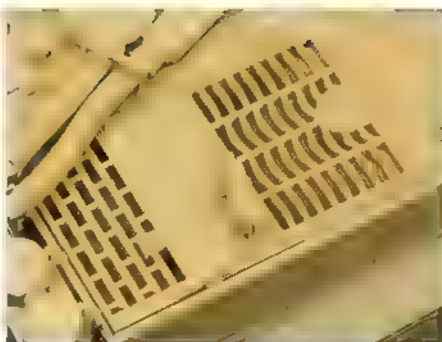


item:01 プラッツ ティーガーI 黒森峰女学園

新しい「GP-38」の型番に改められたプラッツのキット。「GP 6」のティーガーIとはパーツ構成が変更されており、より設定に近い仕様で製作できるようになった。また使わない穴を埋める、一部モールドを削り取るなど、設定形状へさらに近づけるためのガイドも掲載されている。加えてデカールはみほ車のナンバーも収録されており、かなりユーザーフレンドリーな内容となっている







▲ベースがドラゴン製のキットだけにパーツ量はかなりのもの。エンジングリル内部やハッチ裏、砲塔内の乗員用椅子なども再現されている。組み立ては根気よく行っていこう



▶工具類のラックは工具から切り出して貼りつける指示になっており、雰囲気はかなり再現される。車体天面左右のロープラックは未搭載状態のパーツが付属。左側面のロープラックも設定形状とは異なるもののこちらも未搭載状態で組めるようになっている

item:02 タミヤ タイガーI初期生産型

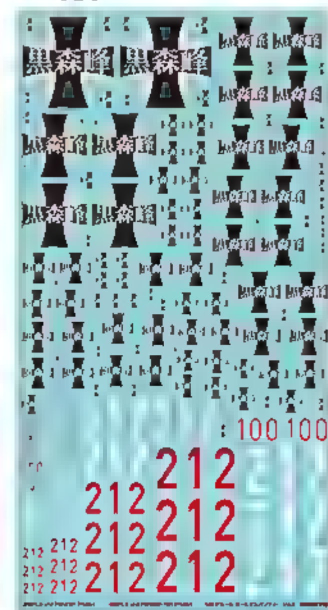
▼タミヤの1/48シリーズ。車載装備の一部が車体と一体成型のため、忠実に再現する場合は削り取るなどそれなりに工作が必要ではあるが、手頃な価格と圧倒的な組みやすさは大きな魅力



ドイツ重戦車タイガーI初期生産型(東部戦線)
●発売元 タミヤ●2200円●1/48、約17.5cm
●プラキット

item:03 モデルカステン MGデカール

▼黒森峰女学園の各車輌に複数のスケールで対応できるデカールセット。ティーガーI以外の車輌もほとんどカバーできる



MGデカール
ガールズ&パンツァー デカールVol.5
●発売元 モデルカステン●2200円

file: 006

巡航戦車 A41 センチュリオン
[大学選抜チーム]



Cruise Tank A41 Centurion

[Hand-Picked University Team]

PLATZ 1/35 scale plastic kit
modeled & described by Takuji YAMADA

file:006
設定画



フロント2



フロント1



リア2



リア1

[スペック]

国籍	イギリス
製造	AEC社
乗員	4名
エンジン	ロールスロイス・ミーティアMk.Ⅳ V型12気筒液冷ガソリン
重量	48.7t
全長	7.67m
全幅	3.37m
全高	2.81m
履帯幅	57.0cm
超壕能力	3.35m
渡渉水深	1.90m
変速機	前進5速後進2速
最高速度	34km/h(路上)
航続距離	96km
主砲	口径76.2mm砲（砲弾 70発）
副武装	ベサ7.92mm機関銃×1
装甲	17~127mm
生産数	4,423輌(シリーズ総計。試作車のA41は16輌、うちベサ機関銃搭載車は6輌)

右側面



左側面





大学選抜チーム マーク

正面

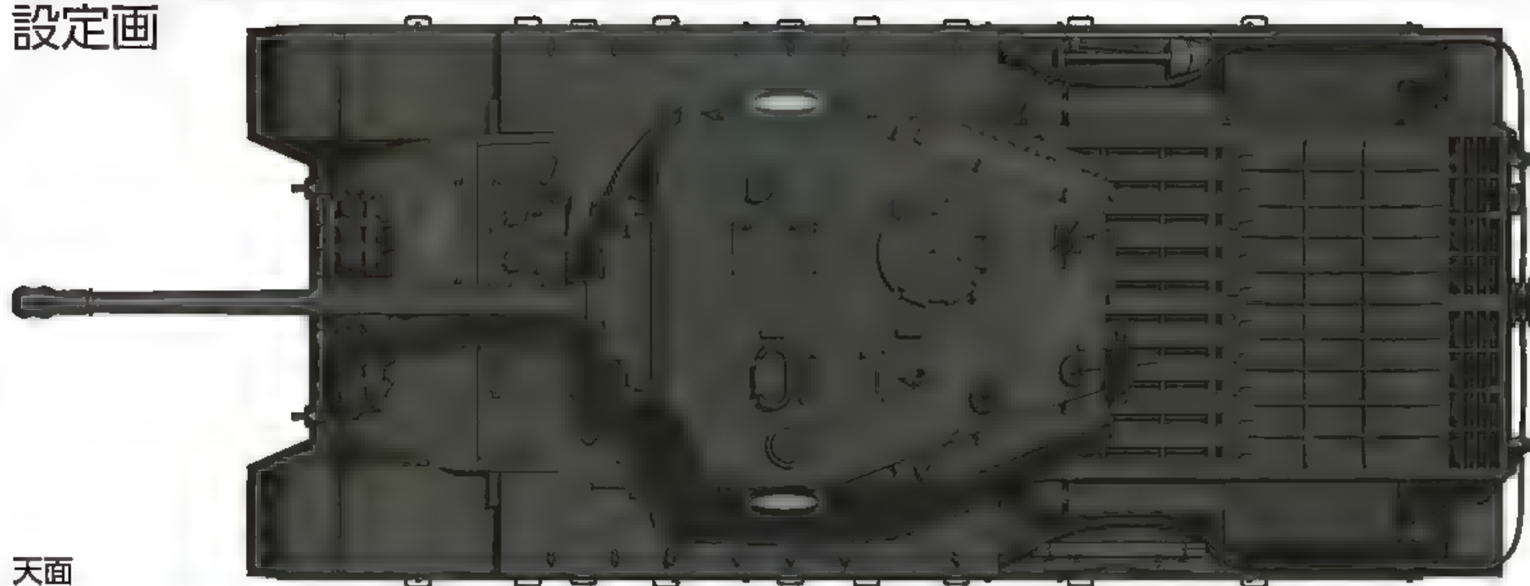
背面

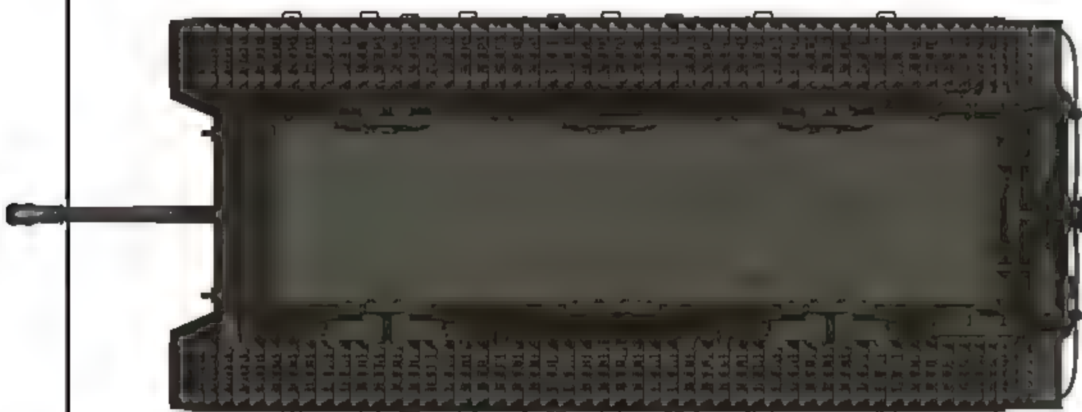


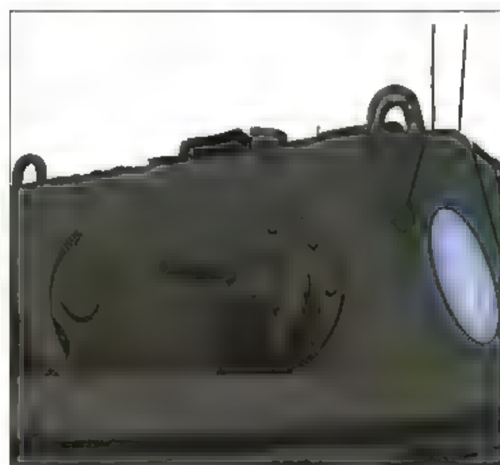


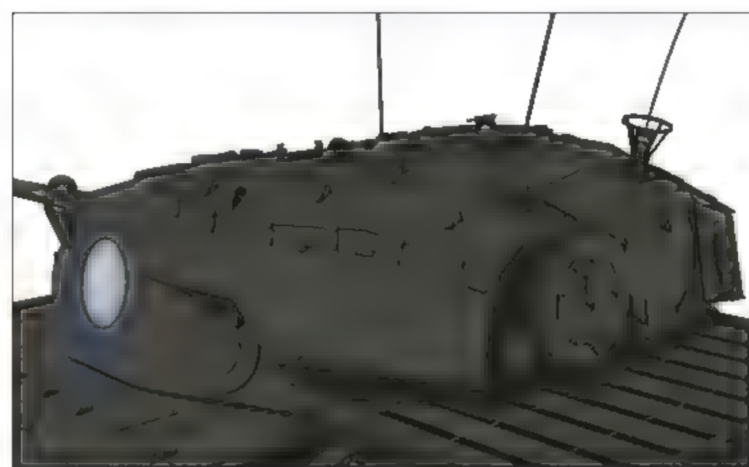
file:006

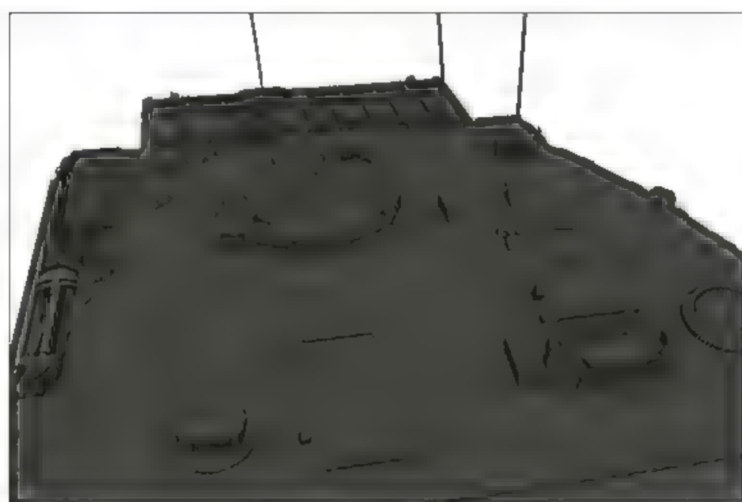
設定画

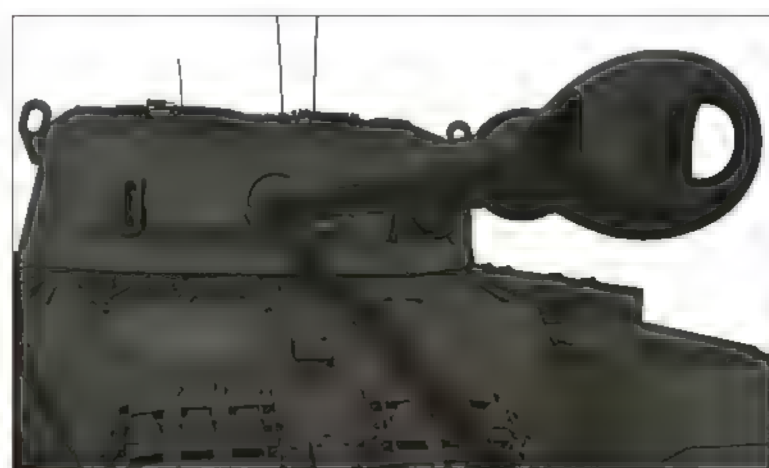

天面

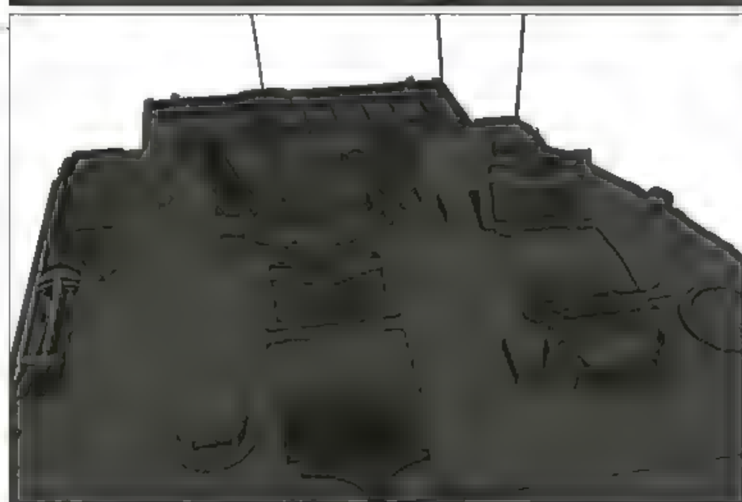

底面

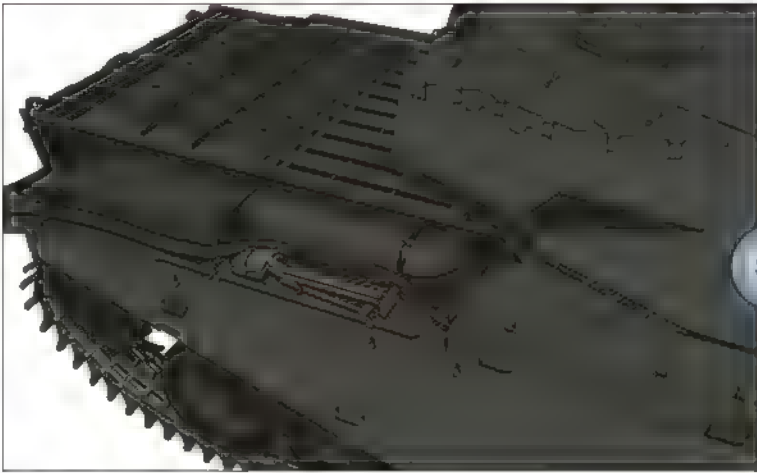

砲塔機銃

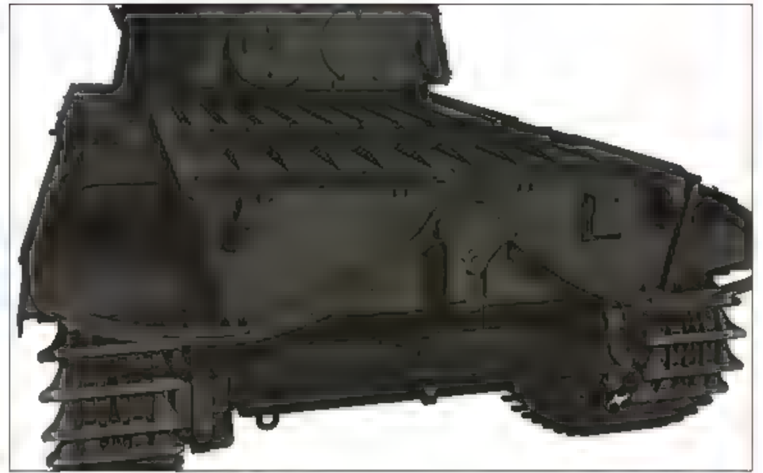

砲塔後方

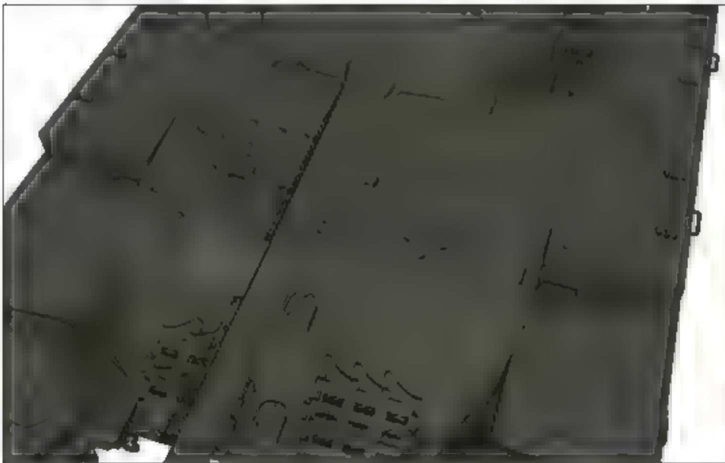
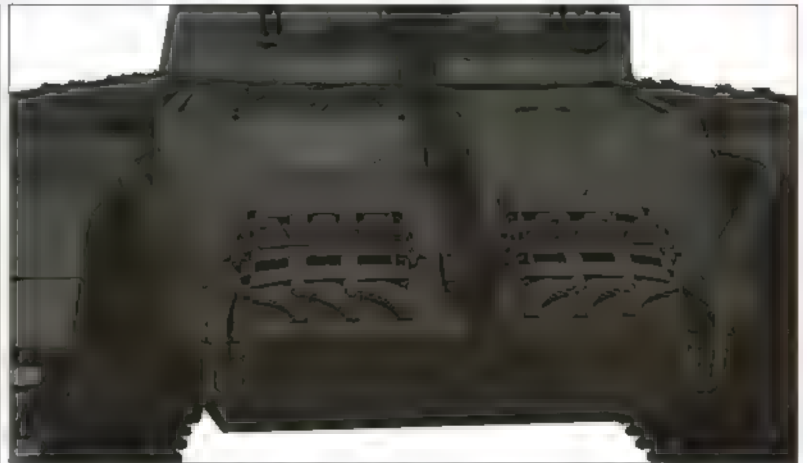


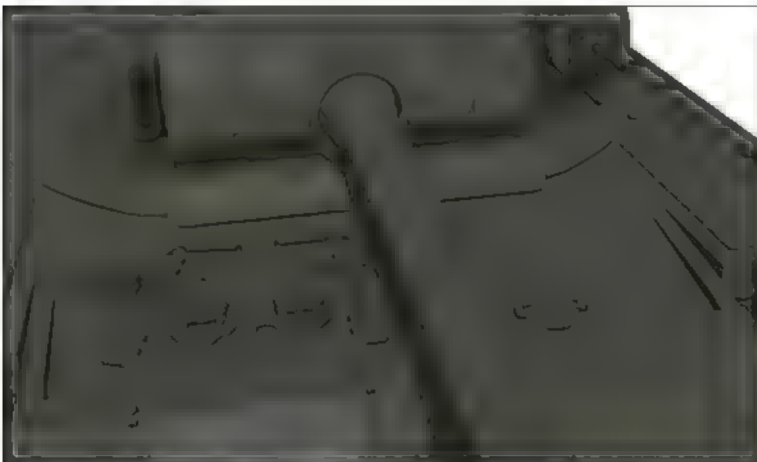
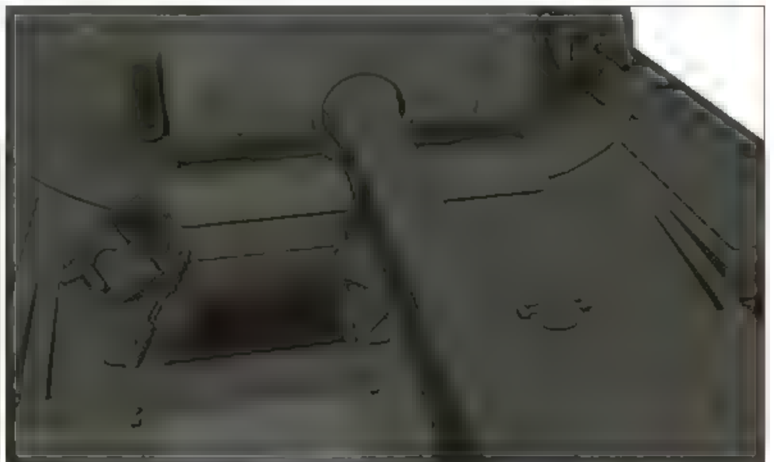

マズルブレーキ

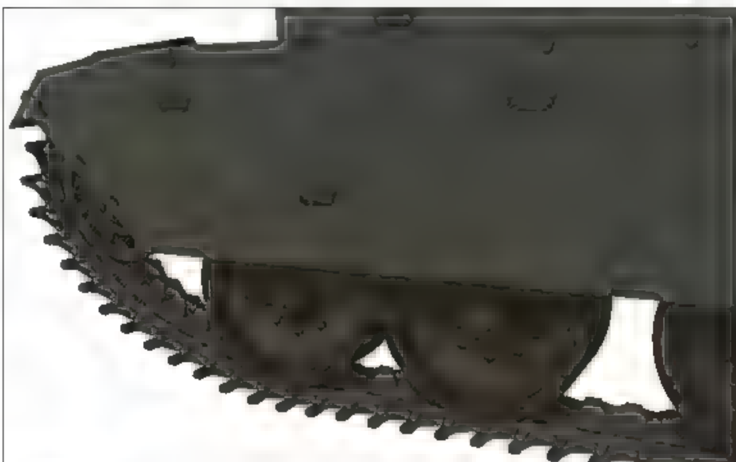

砲塔ハッチ 開／閉


後方車外装備


車体後方



車体前方



車体前方ハッチ 開／閉


誘導輪周辺


起動輪周辺

file:006

劇中車製作ポイント





『ガールズ&パンツァー 劇場版』において、大学選抜チームの隊長車として立ち塞がる巡航戦車A41センチュリオン。『ガルパン』版ではペリスコープほかさまざまなパーツがサイズ、位置など実車と細かく異なっており、完全再現にはそれなりの覚悟が必要である。ベースキットに使用したのはもちろん念願のキット化を果たしてくれたプラッツの公式キット。劇中再現を目指して徹底改修を施した状態をご覧いただきたい。



ガールズ&パンツァー 劇場版 巡航戦車 A41 センチュリオン 大学選抜チーム
●発売元/プラッツ●8690円●1/35、約26cm●プラキット
センチュリオン全シリーズ共通 可動式履帯
●発売元/AFVクラブ●2640円●1/35●プラキット

point:01 リアパネルの改修

リアパネルの上端に4個のノックのようなパーツがあるのでエバーグリーンのプラ材で再現。右側に付けられている備品箱は、キットのものと比べると厚みが薄く正方形に近いのでプラ板箱組みで作り直しました。ワイヤーロープを懸架している中央のラックは実車ではフック型の部品が付けられていますが、『ガルパン』版はシンプルな板状のものになっているのでこれも再現。ワイヤーロープ自体も丸ごと作り替えていますがこれは後述します





point:02 主砲基部周辺の工作

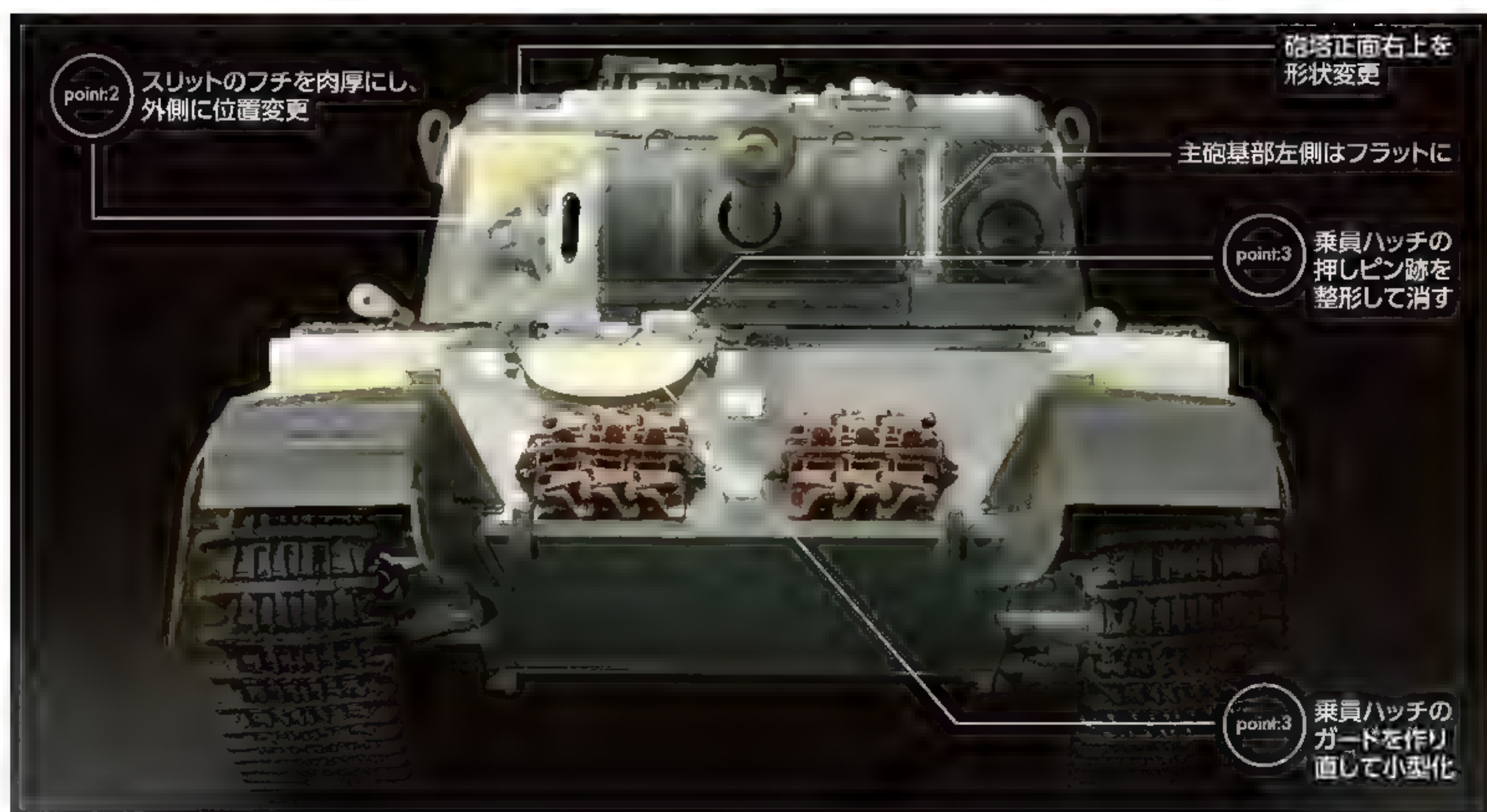
主砲基部の右側は、まず砲塔の角が丸く盛り上がっているのでパテを盛り付けて形状を再現。そのすぐ内側のスリットは実車と比べるとフチが厚く、位置も若干外側にあります。プラ板でフチの厚いスリットを作り直し、位置を調整して埋め込みました。反対の左側にある補強版のような凸モールドは『ガルパン』版では存在しないので、該当のパーツを取り付けず穴を埋めてなだらかに整形。また主砲の付け根に可動ヒンジ部分と思しき○モールドが左右にあるので、プラ板を貼って再現しています



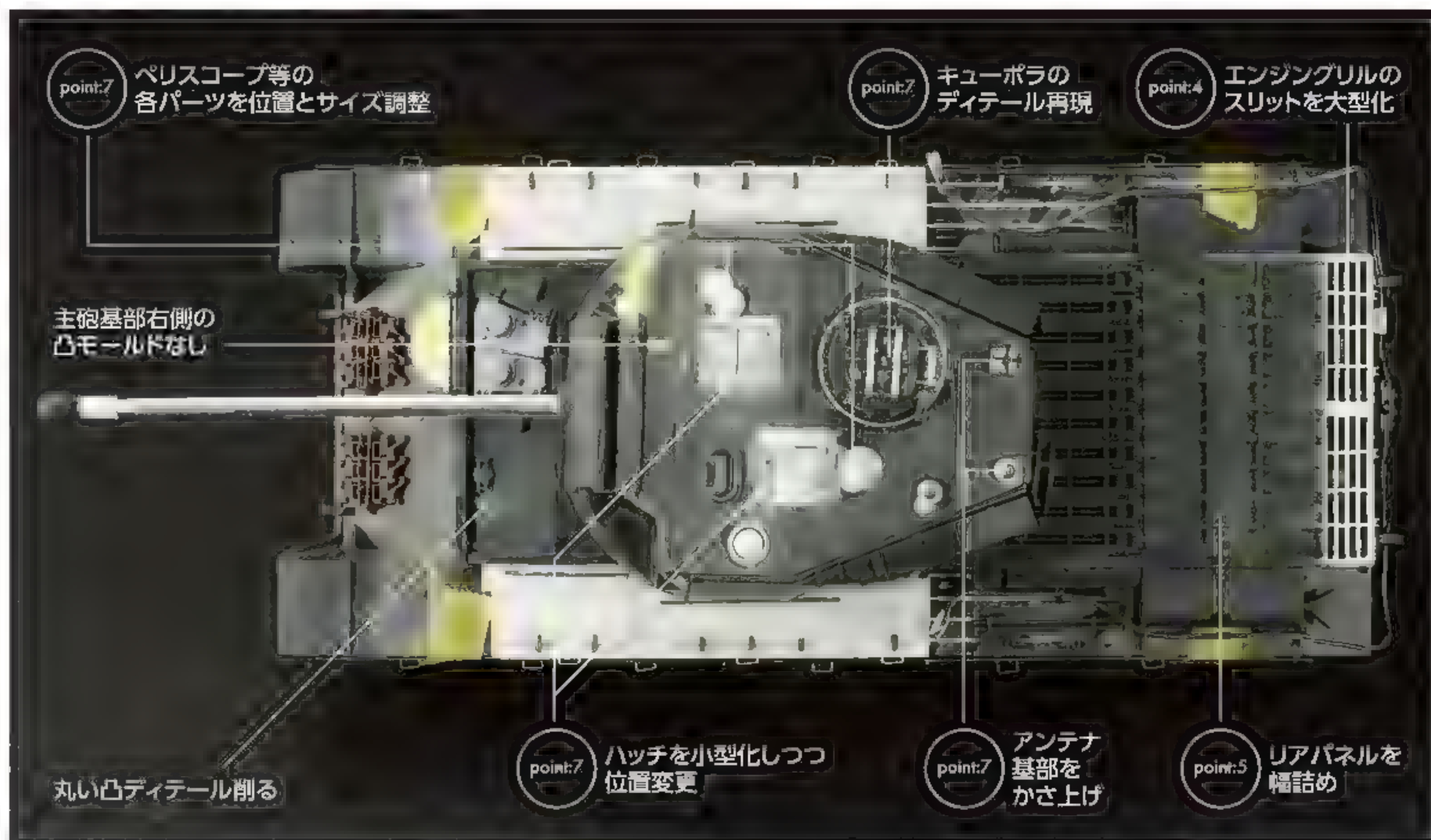
point:03 乗員ハッチ周辺の改修

車体正面右側のハッチは、キットのままだと押しピン跡が表に出てしまうので表面を削って平滑にし整形しています。またその手前に付く扇状のシールドは実車より小ぶりなので透明プラ板で作り直しました。透明になっている箇所はマスキングテープを切り抜いて貼ることで表現しています。





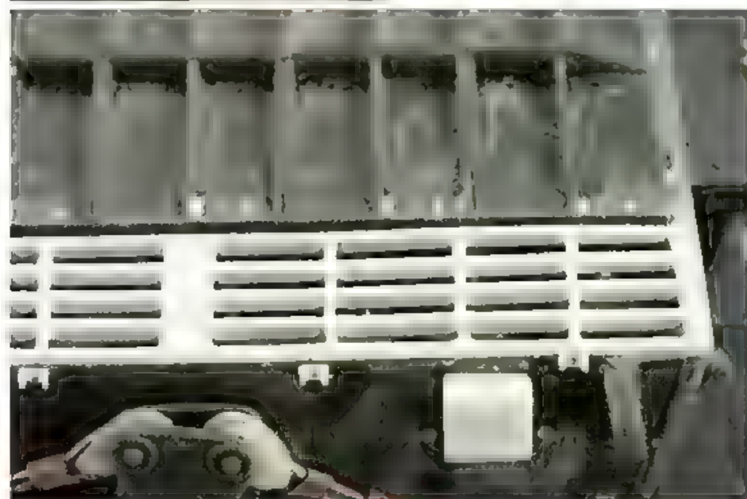
file:006
劇中車製作ポイント



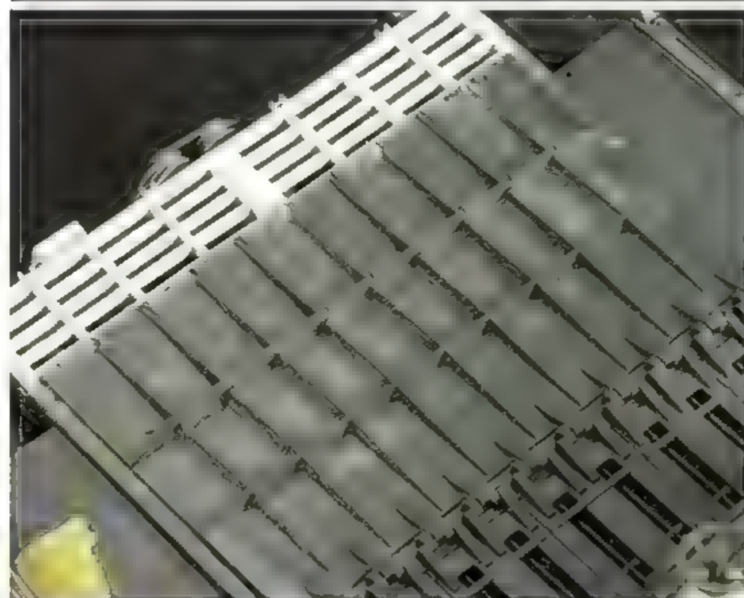
point:04 エンジングリルのスリットを大型化



『ガルパン』版センチュリオンの特徴として、リアパネル後端のスリットが目に見えて大型化しています。1/35相当で印刷した設定画を基に、プラ材で丸ごと新造しました。サイズ感的には前後に2割増し程度になるかと思います。これを取り付けるため、後述するリアパネルの幅詰めも必要となります



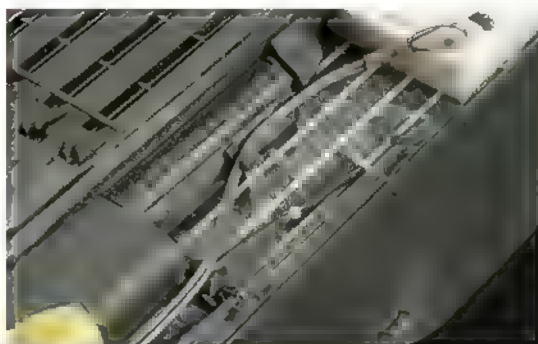
point:05 リアパネルを幅詰め



スリットが幅増しされていますが車体全長は変わっていないので、リアパネルで辻褄を合わせることになります。2本の桁で区切られているような構造ですが、設定画を見ると『ガルパン』版は桁と桁の間の中央部分が短いことが分かります。片方の桁の際で切断し、削って幅詰めを行いました。またスリットのすぐ手前には手すりを取り付ける小さな穴が空いていますが、設定上は存在しないのですべて埋めて整形しています

point:06 ワイヤーロープ作り直し

『ガルパン』版センチュリオンのワイヤーロープは表面がつるっとしており、ターンバックルに金具が噛ませられています。キット付属のものを使わず、鉛製の糸おもりで作り直しました。プラ板と金属線で作った金具に巻き付け、紙を巻いて止めています。またロープとは別ですが、車体左右のフェンダーは表面のリブやリベットがなく、全体的にフラットな形状です。プラ材で凹みを埋めるなどして平らな形状にならしています







point:07 砲塔天面の改修



『ガルパン』版センチュリオンの砲塔天面は、基本のレイアウトこそ実車と変わらないものの位置やサイズがとにかく細かく異なっています。ハッチ、ペリスコープ、ベンチレーターなどはほとんどが小型化しているので、すべて位置変更しつつ作り直しています。また主砲すぐ後ろの小さな凸モールドも『ガルパン』版では存在しないので、パーツを使用せず穴を埋めました



キューポラは向きが実車と逆(上から見てへりが丸い方が前)で、ディテールも異なります。表面のモールドを削り、各種プラ材で再現しました。設定画をよく見て根気よく作業しましょう

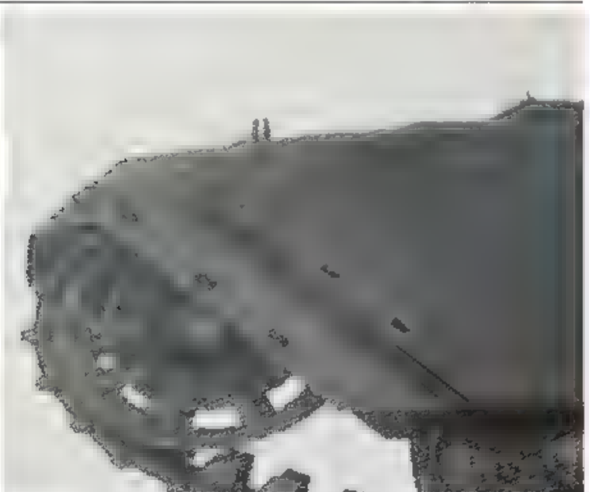


3本のアンテナ基部はキットパーツと大きさに齟齬はないですが、3つとも土台が高くなっています。キットも流用しつつプラ材でかさ上げしました

point:08 フェンダー部分の改修

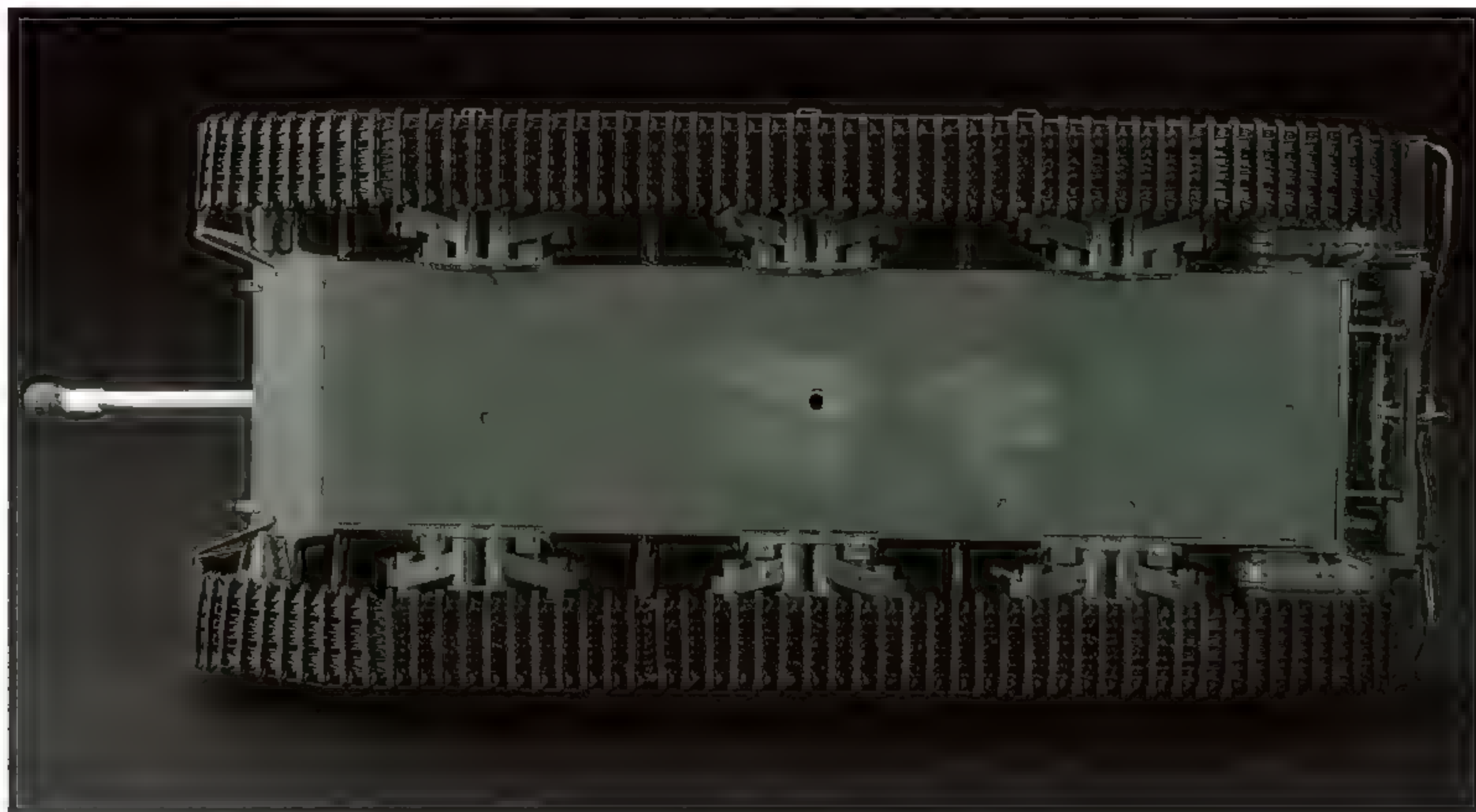
フェンダー先端は実車よりわずかに絞るような形状なのでパーツを削って再現。また何かを取り付けるような横長の穴が空いているので、ピンバイスで開口しています。また純粋なディテールアップとして、フェンダーに複数付いている取っ手を真鍮線に交換しました



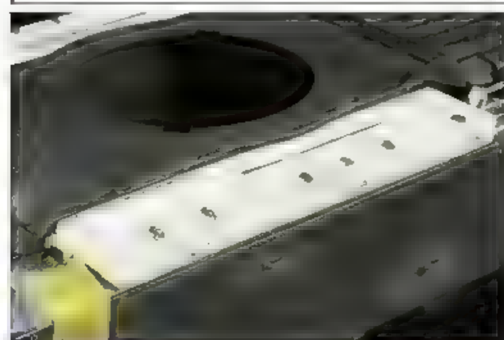


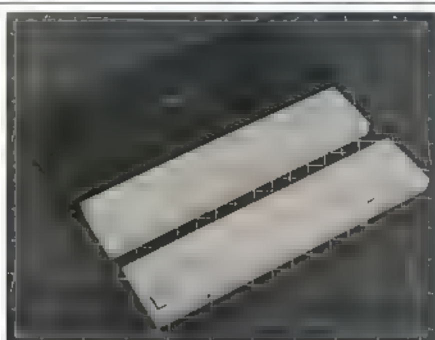
file:006
劇中車製作ポイント





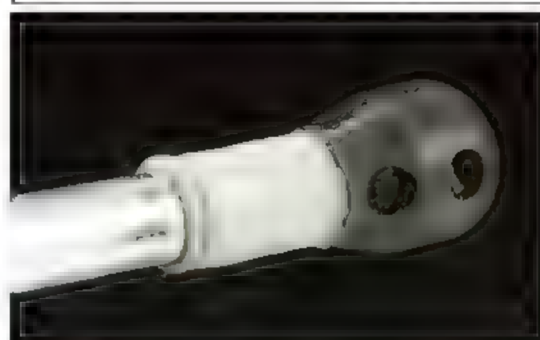
point:09 車体左右の備品箱を小さく作り直し





車体左右のフェンダーに載せている備品箱は実車のものと比べると若干短くなっています。設定画合わせで作り直し、蝶番などはキットから切り落として移植しました。またフタ部分も実車のような面一ではなく1段厚みが付いている点にも注意ですね

point:10 マズルブレーキを延長



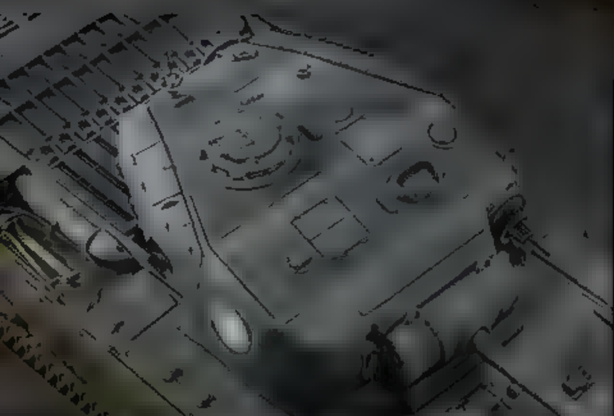
マズルブレーキ後方の筒状部分は実車より長めですので、プラパイプを移植して形状を再現しました。後端部分はリング状になっているのでこれもモールドとして再現しています



プラッツ 1/35スケール プラスチックキット
ガールズ&パンツァー劇場版 巡航戦車 A41
センチュリオン 大学選抜チーム 使用

巡航戦車A41
センチュリオン [大学選抜]

製作／山田卓司

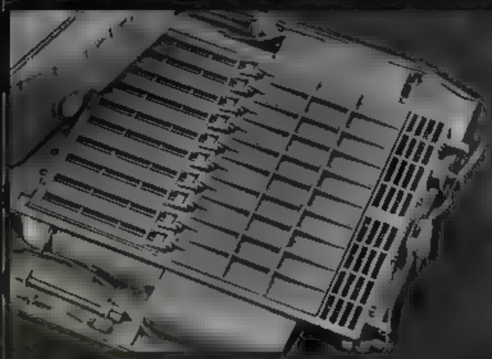


▲ほぼすべてのパーツを小型化させる必要がある砲塔天面。レイアウト自体は実車ほぼそのままであるので、ここは割り切ってキットのままとするのも立派な選択肢になるだろう。キューポラの向きが違う点だけは忘れずに



▲◀2023年時点では『劇場版』のみの登場でありながら、絶大な強さで強烈な印象を残している大学選抜のセンチュリオン。センチュリオンMk.Iがプラモデル化されたことで製作ハードルはかなり下がったものの、劇中再現を目指すとキットからさらなる改修を要し、模型製作においても強敵と言える車輌である。どこまで作り込むかプランを立てて挑みたいところだ

file:006 完成作例



◀若干バランスの異なる機関室天面も攻略ポイントのひとつ。大型化させる必要がある後方グリルは、手間はかかるものの複雑な形状ではない。エバーグリーン製など精度の高いプラ板をチョイスして根気よく工作していこう



▲ワイヤーロープは表面のモールドから留め具部分まで全体が実車と異なる。ここもどこまで再現するかは要検討だ。リアパネルは上側の4つのモールドと、ロープ留めから出ている板状パーツを追加するだけでも再現度はかなり高まる



ディテール参考、ディオラマ製作のための 劇中ピックアップ

scene:01

『ガールズ＆パンツァー 劇場版』より

やってやる やってやる やってやるぜ




大洗女子学園は存続を賭けて、強化選手が集まる大学選抜チームとの試合に臨む。その大学選抜の隊長、島田愛里寿が搭乗するのが巡航戦車A41センチュリオンである。戦車道のレギュレーションである「第二次大戦終了までに設計および試作が完了していた戦車」にぎりぎり収まる車輌で、スペック面では戦車道最強と言っても過言ではない。隊長車ということもあって試合中のセンチュリオンは終盤まで傍観に徹し、愛里寿が部隊指揮を執った。車内設定画が存在しないセンチュリオンだが、車内が映る場面も数カット存在する。



scene:02

『ガールズ＆パンツァー 劇場版』より

喧嘩は売るもの どうどうと

試合終盤、大洗連合の強さを認めた愛里寿は、「おいらボコだぜ」の歌とともにセンチュリオンを始動。西裏門から戦線に参加する。そして園内を巡り、九七式中戦車新砲塔および旧砲塔を計3輌、九五式軽戦車、八九式中戦車、M3リー、ヘッツァー、三式中戦車、CV33、ルノーB1bisの合わせて10輌をすべて必中のワンショットキルで撃破。文句なしに本試合の最多撃破数である。センチュリオンは登場時間こそわずかながら、この一連のシーンによって強烈な印象を残す車輌となっている。

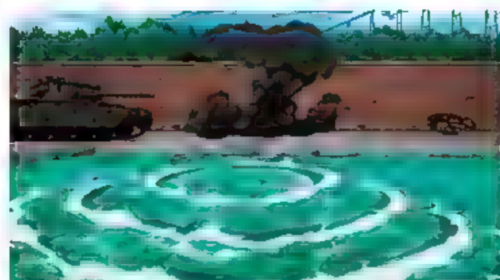













file:006

scene:03

『ガールズ＆パンツァー 劇場版』より

イヤなあいつ（ら）をボコボコに

試合のクライマックスは、中央広場で2対3の最終決戦となった。西住姉妹のⅣ号戦車H型とティーガーⅠのタッグによりアズミとメグミのパーシングが撃破され、状況的には愛里寿側が劣勢に。しかしセンチュリオンは数の不利をものともせず、園内のアトラクションも利用して西住姉妹と互角以上に立ちまわる。車体と砲塔の旋回が完璧に連動しているなど乗員の高い技量も窺え、センチュリオンがあらゆる意味で強敵であると示唆されている。非常に緊迫した応酬が続くシーンである。








scene:04

『ガールズ＆パンツァー 劇場版』より

あの子は呆れ 去ってった？

みほが晒した本当にわずかな隙を突き、センチュリオンはメリーゴーランドをぶち破って突撃。ティーガーを弾き飛ばしつつⅣ号に激突し、反動でその背の急所を捉える。あとは砲撃指示ひとつでⅣ号撃破、となったその瞬間、ボコに似た遊具が愛里寿の視界に入った。それに気を取られたことで攻撃が数瞬遅れ、Ⅳ号は惜しくも離脱、難を逃れる。ここでⅣ号が撃破されていれば均衡が崩れて大洗連合側が危機に陥っていたことは想像に難くなく、大洗はある意味ボコに救われたとも言えるだろう。





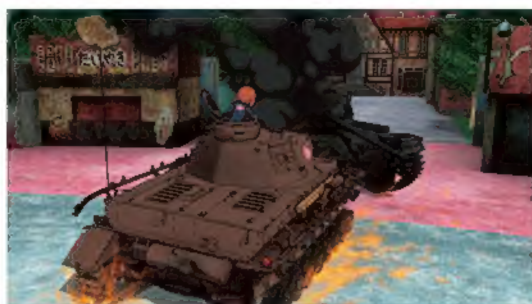
scene:05

『ガールズ＆パンツァー 劇場版』より

ボコり ボコられ 生きていく

幸運に助けられた西住姉妹は中央広場奥の富士山に縦列で陣取り、センチュリオンに最後の突撃を仕掛ける。ティーガーⅠが空砲でⅣ号を急加速させセンチュリオンに肉迫。愛里寿も反応し迎撃したがⅣ号の右転輪を破壊するに留まり、密着状態からⅣ号の砲撃を食らってついに白旗となった。遠景ではあるが、センチュリオンは砲塔左端のベンチレーターから旗が出ているようである。試合の後に愛里寿はみほを称え握手を交わす。そして件の熊の遊具は、ポーランド軍で従軍した熊にちなんで「ヴォイテク」と名付けられ、ボコミュージアムで展示されることになった。






製作におすすめのアイテム



巡航戦車A41センチュリオン エンディングVer. DX ヴォイテク付き
●発売元／ピットロード●6820円
●約14.8cm（センチュリオン）
●塗装済み完成品

item:01 ピットロード センチュリオン エンディングVer. DX





▲DX版にはなんとヴォイテクが付属。脚が可動する。若干デフォルメされているためそのままディオラマ素材として使うのは厳しいが、細部までしっかり造形されており立体資料としての価値は充分すぎるほどある





▲◀センチュリオンMk.Iのプラキット自体が限られたものしかないため、キット以外のアイテムをご紹介。アニメのED映像に出てくるデフォルメキャラクター＆戦車をセットで再現したピットロードのシリーズにセンチュリオンがラインナップされている。専用に造形されているためリアパネルやワイヤーロープの形状も『ガールズ＆パンツァー』版を再現している

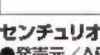
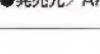
item:02 AFVクラブ センチュリオン Mk.I

▼公式キットの基にもなっているAFVクラブ製のキット。模型としての内容もデカール以外は公式キットと同一である。本書刊行時点では日本国内で現実的に入手できる唯一のMk.Iのキット









▲ディテールがシャープで精密感があり、スミ入れやウェザリングでかなり化けそうな侮れない造形となっている。キューポラに搭乗可能な愛里寿のフィギュアも付属

センチュリオン Mk.I
●発売元／AFVクラブ●9020円●1/35、約26cm●プラキット

GIRLS und PANZER Master Modeling Guide 2

ガールズ&パンツァー マスターモデリングガイド2

HOBBY JAPAN MOOK

[STAFF]

■模型製作・工作解説
山田卓司 Takuji YAMADA

■編集・執筆
宮里章弘 Akihiro MIYAZATO

■撮影
STUDIO R
河橋将貴 Masataka KAWAHASHI(STUDIO R)
岡本学 Gaku OKAMOTO(STUDIO R)
塚本健人 Kento TSUKAMOTO(STUDIO R)
河野義人 Yoshito KOUNO(STUDIO R)

■デザイン
広井一夫 Kazuo HIROI[WIDE]
鈴木光晴 Mitsuharu SUZUKI[WIDE]
三戸秀一 Syuichi SANNOHE[WIDE]
佐藤俊介 Shunsuke SATO[クミタテ・デザイン]

■協力
株式会社アクタス
株式会社バンダイナムコアーツ

ホビージャパンMOOK1311
ガールズ&パンツァー マスターモデリングガイド2
2023年8月31日初版発行

編集人／木村学
発行人／松下大介
発行所／株式会社ホビージャパン
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-15-8
TEL 03-5304-7601(編集)
FAX 03-5304-9112(営業)

印刷所／大日本印刷株式会社

乱丁・落丁(本のページの順序の間違いや抜け落ち)は
購入された店舗名を明記して当社出版営業課までお送りください。
送料は当社負担でお取り替えいたします。
但し、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。

©HOBBY JAPAN
禁無断転載・複製

Printed in Japan
ISBN978-4-7986-3254-4 C9476

©GIRLS und PANZER Projekt
©GIRLS und PANZER Film Projekt
©GIRLS und PANZER Finale Projekt



Medium Tank M4 Sherman
[Saunders University High School]



Medium Tank T-34/85
[Pravda Girls' High School]



Heavy Tank IS-2
[Pravda Girls' High School]



Carro Armato P40 (P40 Heavy Tank)
[Anzio Girls' High School]



Panzerkampfwagen VI Ausf.E
Tiger I (Sd.Kfz.181)
[Kuromorimine Girls' High School]



Cruise Tank A41 Centurion
[Hand-Picked University Team]


9784798632544


1929476031006

ISBN978-4-7986-3254-4

C9476 ¥3100E



ホビージャパンMOOK1311
ガールズ&パンツァー マスターモデリングガイド2

©GIRLS und PANZER Projekt
©GIRLS und PANZER Film Projekt
©GIRLS und PANZER Finale Projekt

定価:3,410円(本体3,100円+税10%)
雑誌68159-11 Printed in Japan